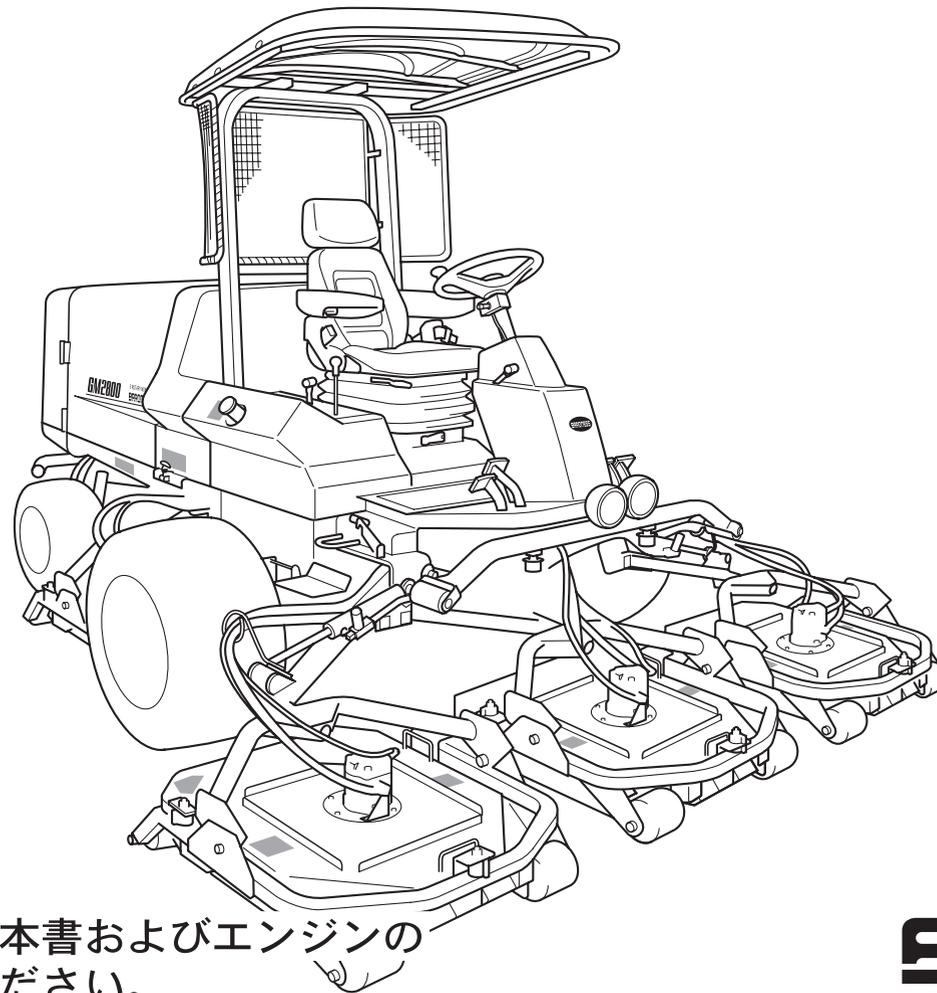


フロント5連ロータリーモア **GM2800** バロネス芝刈機

取扱説明書 & パーツカタログ

2010.6~



“必読” 機械のご使用前に必ず本書およびエンジンの
取扱説明書をお読みください。

BARONESS

目次

▲注意 ごあいさつ	1
はじめに	1
安全について	1
安全管理	1
機械の使用にあたって	1
1. トレーニング	2
2. ▲警告 準備	2
3. 運転時の注意	3
4. 保守と保管	3
バロネス芝刈機を安全に使用するために	4
安全に関する警告について	4
安全な作業をするために必ずお守りください	5
1. ▲警告 一般的な注意事項	5
2. ▲警告 ▲注意 運転する前に	5
3. ▲危険 ▲警告 ▲注意 作業前後の点検や整備をするとき	6
4. ▲警告 運搬するとき	7
5. ▲警告 ▲注意 移動や圃場へ出し入れするとき	8
6. ▲警告 作業をするとき	8
7. ▲危険 ▲警告 ▲注意 作業終了後や格納するとき	9
各部の名称・警告表示ラベル、指示ラベル貼付位置	11
警告表示ラベル、指示ラベルの説明	12
GM2800 の特長	13
仕様	13

取扱説明	14
1. ▲注意 使用前の点検	14
1-1 ▲警告 ロータリーナイフの点検	14
1-2 ▲注意 ラジエータとオイルクーラー、ラジエータカバーの清掃	14
1-3 ▲注意 ラジエータ・冷却水量の点検	14
1-4 エンジンオイルの点検・補給	15
1-5 油圧作動油の点検	15
1-6 エアクリーナの清掃	15
1-7 エンジン周りの点検	16
1-8 タイヤの点検	16
2. 各部の締付	16
3. 各部の操作方法	17
3-1 ▲注意 機械操作について	17
3-2 ▲警告 エンジンを始動する前に	17
3-3 ▲注意 エンジン始動・停止	17
3-4 安全装置について	17
3-5 ▲危険 燃料取扱上の注意	18
3-6 ▲注意 機械を離れるときの注意	18
3-7 ▲注意 駐車ブレーキ	18
3-8 ▲警告 ブレーキペダル	18
3-9 ▲警告 前・後進ペダル	18
3-10 シートの調整	19
3-11 ▲注意 チルトステアリング	19
3-12 操作パネルのスイッチ、レバー	19
3-13 ▲注意 ナイフ回転スイッチ	19
3-14 ▲注意 2WD - 4WD 切換スイッチ	20
3-15 トラクションアシストスイッチ	20

3-16	 警告	ヘッドライトスイッチ	20		
3-17		スロットルレバー	20		
3-18	 注意	モアユニット昇降レバー	20		
3-19	 注意	デフロックスイッチ	21		
3-20		モアロックレバー	21		
4.		各部の計器	21		
4-1		操作パネルの計器類	21		
4-2		タコメータ、アワメータ	21		
4-3		水温計	21		
4-4	 危険	燃料計	22		
4-5		チャージランプ	22		
4-6		サーモスタートランプ	22		
4-7		オイルプレッシャーランプ	22		
5.		刈込み作業	23		
5-1	 注意	刈高の調整	23		
5-2	 注意	刈込み作業	24		
6.		メンテナンス・本体	24		
6-1	 注意	エンジンオイルの交換	24		
6-2	 注意	油圧作動油の交換	24		
6-3		各部油漏れの点検	25		
6-4		各部のグリースアップ	25		
6-5		ヒューズの交換	25		
		■グリースアップ位置	26		
6-6	 危険	バッテリーの点検	27		
6-7	 注意	ボンネットカバー（左右）の開閉	27		
6-8	 注意	シート下カバーの開閉	28		
6-9	 危険	ブレーキの調整	28		
6-10		近接センサ・リレーの作動確認	28		
6-11		燃料の空気抜き	28		
7.		メンテナンス・デッキ	29		
7-1	 警告  注意	ロータリーナイフの研磨とバランス取り	29		
		7-2  注意	ロータリーナイフの交換	29	
8.		メンテナンスの注意	30		
8-1	 注意	メンテナンス上の注意	30		
8-2	 警告	高圧オイルによる被害の防止	30		
8-3		メンテナンススケジュール	31		
9.		各部の調整	32		
9-1		ピストンポンプの中立位置の調整	32		
9-2	 注意	自走できなくなった場合のけん引	32		
10.		長期保管について	32		
		パーツカタログ	34		
		1. フレーム部 A	35		
		2. フレーム部 B	39		
		3. カバー部	41		
		4. 前輪部	43		
		5. 後輪部	45		
		6. ブレーキ部	47		
		7. 前後進ペダル部	49		
		8. エンジン部 A	51		
		9. エンジン部 B	55		
		10. 油圧部 A	59		
		11. 油圧部 B	63		
		12. 油圧部 C	65		
		13. 油圧部 D	67		
		14. 油圧部 E	69		
		15. 油圧部 F	71		
		16. 油圧部 G	73		
		17. 油圧部 H	77		
		18. リフトアーム前部	79		
		19. リフトアーム後部	81		
		20. デッキ部	83		
		21. 付属品部	85		

California Proposition 65

⚠ WARNING ⚠

The engine exhaust from this product contains chemicals known to the State of California to cause cancer, birth defects or other reproductive harm.

ごあいさつ

このたびは、パロネス芝刈機・フロント5連ロータリーモア GM2800 を、お買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書は、ゴルフ場の芝刈をする人向に対して、正しい取扱い方法と調整方法、また点検方法について説明しています。機械をご使用になる前に必ず本書をお読みいただき、内容を十分にご理解の上、ご使用ください。

なお、工場出荷時には十分な試運転、検査を重ねた上で出荷をしておりますが、機械が本来の性能を発揮するためには、取扱い方法や作業前後の点検・調整・給油等の日常の管理が大きく影響します。いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。

ご 注 意

- 本機は型式が順次変わっている場合があります。
本機に関するお問い合わせの際は、必ず型式・製造番号を合せてご通知くださいますようお願いいたします。
- なお、本書記載事項は、予告無しに変更する場合があります。

⚠ 注意 ... 運転について

- ・ この説明書に記載されているマークおよび機械に貼られている警告表示ラベルは、安全確保のための説明が書かれています。操作手順や安全注意事項を注意してお読みいただき、十分ご理解の上、この機械を運転してください。
- ・ マークや説明文はきれいに保ち、無くなったり損傷があった場合には、すぐに新しいものと交換してください。
- ・ なお、本機に貼られているラベルは絶対にはがさないでください。

はじめに

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分にご理解の上、他人に迷惑の掛からない、適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全にご使用いただくことはお客様ご自身の責任です。この説明書にないメンテナンス、整備などは決してしないでください。もし行う場合は専門知識のある要員で、かつ別資料サービスマニュアルを十分理解した要員によって作業をしてください。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店におたずねください。お問合せの際には、必ず製品の型式と機番をお知らせください。

安全について

この製品は、製造時の状態において GEN 規格 EN836:1997（但し所定のラベルの貼付が条件）、による乗用芝刈機の安全基準を満たす製品です。

誤使用や整備不良は負傷や死亡事故につながります。事故を防止するために、以下に示す安全のための注意事項を必ずお守りください。特に危険警告記号のついた事項にご注意ください。危険警告記号は、「注意」「警告」または「危険」の文字と共に表示され、いずれも安全作業のための重要事項を示します。これらを遵守されないと人身事故につながる恐れがありますので、十分にご注意ください。

安全管理

以下の注意事項は、GEN 規格 EN836:1997, ISO 規格 5395:1990 および ANSI B71.4-2004 より指示されているものです。

機械の使用にあたって

芝刈り以外の目的では使用しないでください。その他の目的での使用すると大変危険であり、機械を損傷する原因にもなります。

1. トレーニング

- 取扱説明書などのトレーニング資料を必ずお読みください。各部の操作方法や緊急の停止方法、安全標識などに十分慣れておきましょう。
- 取扱説明書を理解できない場合には、オーナーの責任において、この取扱説明書の内容を十分に説明してください。
- 子供に運転や整備をさせないでください。大人であっても、正しい知識のない人には運転や整備をさせないでください。国や地域が定めている年齢制限を守ってください。
- 周囲に人がいるとき、特に子供やペットがいるときには絶対に作業を行わないでください。
- オーナー、オペレータ、整備士などには事故を防止する責任があり、それぞれの協力によって事故を無くすことができることをいつも忘れないようにしましょう。
- オペレータ以外の人は乗らないでください。
- 本機を運転する人、整備する人すべてに適切なトレーニングを行ってください。トレーニングはオーナーの責任であり、特に以下の点についての確実な理解が必要です。
 - 乗用芝刈機を取り扱う上での基本的な注意点の必要性。
 - 斜面で機体が滑り始めるとブレーキで制御することは非常に難しくなります。斜面で制御不能となるおもな原因は；
 - ・ タイヤのグリップ不足
 - ・ 速度の出しすぎ
 - ・ ブレーキの不足
 - ・ 不適切な機種選定
 - ・ 地表条件（凹凸、凍結、ぬかるみ）特に傾斜角度を正しく把握していなかった

2. 準備

- 作業にふさわしい服装と装備をしてください。ヘルメット、保護メガネ、イヤーマフを着用してください。長髪やダブついた衣服、ネックレスなどは機械の可動部に巻き込まれる恐れがあり危険です。また、裸足やサンダル履きでの運転も危険ですからやめてください。
- 石、玩具、針金など、はね飛ばされて危険なものがないか十分に確認してから作業を開始してください。
- アルコールや薬物を摂取した状態での運転は避けてください。
-  **警告**   燃料は引火性が高いので十分ご注意ください：
 - 燃料容器は規格認可品を使用する。
 - 給油は必ず屋外で行い、作業中は絶対禁煙を厳守する。
 - 給油は作業前に済ませる。エンジン作動中やエンジンが熱いときには絶対に燃料タンクのフタを開けない。
 - 燃料がこぼれた場合にはその場でエンジンを掛けない。離れたところまで車体を押し移動させてからエンジンの始動を行う。またこぼれた燃料が完全に発散するまで火気を近づけない。
 - 燃料タンクや燃料容器のふたは確実にしめる。
- マフラが破損したら必ず交換してください。
- センサ類に不良があれば必ず使用前に修理してください。
- 着席スイッチ、安全スイッチ、安全ガード・カバー類が正しく取付けられ、機能していることを確認してください。これらが故障しているときは必ず修理してから使用してください。

3. 運転時の注意

- 閉めきった場所では一酸化炭素による中毒の危険性がありますので、絶対にエンジンを始動させないでください。
- 作業は日中または十分な照明のもとで行ってください。
- エンジンを始動させる前に、すべての機器がニュートラルになっていること、駐車ブレーキが掛かっていることを確認してください。シートに着座して、エンジンをかけてください。
- 「安全な斜面」はありません。芝生の斜面での作業には特に注意が必要です。転倒を防ぐため：
 - 斜面では急停止・急発進しない。
 - 斜面の走行や小さな旋回は低速で行う。
 - 隆起や穴、隠れた障害物がないか常に注意する。
 - 斜面を横切りながらの作業は、そのような作業のために設計された芝刈機以外では絶対に行わない。
 - マニュアル類に指示があれば、カウンターバランスやホイールバランスを使用する。
- 隠れて見えない穴や障害物に常に警戒を怠らないようにしましょう。
- 道を横断するときや道路の近くでは他の交通に十分注意してください。
- 草・芝地以外ではリール刃の回転を止めてください。
- アタッチメントを使用するときは、排出方向に気を付け、人に向けないようにしてください。また作業中は機械に人を近づけないでください。
- ガードが破損したり、正しく取付けられていない状態のまま運転しないでください。安全装置は絶対に取外さないこと。また、正しく調整した状態でお使いください。
- エンジンのガバナの設定を変えたり、エンジンの回転速度を上げすぎたりしないでください。人身事故、故障の原因となります。
- 運転位置を離れる前に：
 - 平らな場所に移動する。
 - 平らな場所に移動する。
 - PTOの接続を解除し、アタッチメントを降下させる。
 - ギヤシフトをニュートラルに入れ、駐車ブレーキを掛ける。
 - エンジン回転速度をさげる。
 - エンジンを止め、キーを抜き取る。

〔重要〕

- 高負荷で運転した後は、エンジンを停止させる前に5分間程度のアイドリング時間をとってください。
- 刈り込み時以外は、アタッチメントへの駆動を止めてください。
 - 次の場合は、エンジンを止め、アタッチメントへの駆動を解除し、キーを抜き取ってください。
 - 燃料を補給するとき。
 - 刈高を調整するとき。(但し、運転席から調整可能な場合は除く)
 - 詰まりを取除くとき。
 - 機械の点検、清掃、整備などをするとき。
 - 異物を噛み込んだときや、機体が異常な振動をしたとき。
 - エンジンを停止するときにはスロットルを下げておいてください。また、燃料バルブの付いている機種では燃料バルブを閉じてください。
 - カuttingユニットには絶対に手足を近づけないでください。
 - バックするときには、足元と後方の安全に十分な注意を払ってください。また、後方確認がしづらい場合には、誘導者を付けてください。
 - 旋回するとき、道路や歩道を横切るときなどは減速し、周囲に十分な注意を払ってください。また、必ずリール刃の回転は止めてください。
 - 本機をトレーラやトラックに積載するときには十分注意してください。
 - 見通しの悪い曲がり角、植え込みや立ち木などの陰では安全に十分注意してください。

4. 保守と保管

- 機械は平坦な地面に駐車してください。
- 絶対に訓練を受けていない人に機械を整備させないでください。
- 常に機械全体の安全を心掛け、また、ボルト、ナット、ねじ類が十分に締まっているかを確認してください。
- 火災防止のため、エンジンやマフラ、バッテリーの周囲に、余分なグリース、草や木の葉、ホコリなどが溜まらないように注意してください。
- 機械各部が適切に作動しているか常に気を配ってください。締め具や油圧系統の接続部が十分に締まっているかを確認してください。

- 燃料タンクの清掃などが必要になった場合は屋外で作業を行ってください。
- 機械の調整中に指などを挟まれないように十分注意してください。
- 複数のロータリー刃を持つ機械では、1つのロータリー刃を回転させると他のロータリー刃も回転する場合がありますから注意してください。
- 整備・調整作業の前には、必ず機械を停止し、カuttingユニットを止め、駐車ブレーキを掛けエンジンを停止し、念のためにキーを抜いて（ガソリンエンジンの場合には点火プラグコードも外して）ください。また、必ず機械各部の動きが完全に停止したのを確認してから作業を行ってください。
- 火災防止のため、カuttingユニットや駆動部、消音部やマフラ、エンジンなどの周囲に、余分なグリース、草や木の葉、ホコリが溜まらないように注意してください。こぼれたオイルや燃料はふき取ってください。
- 必要に応じ、ジャッキなどを利用して機体を確実に支えてください。
- 部品を取外すときは、スプリングや油圧などの圧力が一気に解放される場合がありますので注意してください。
- 修理を行うときには必ずバッテリーの接続を外して置いてください。バッテリーの接続を外すときにはマイナスケーブルを先に外し、次にプラスケーブルを外してください。取付けるときにはプラスケーブルから接続します。
- ロータリー刃の点検を行うときには必ず手袋を着用、またはロータリー刃を厚い布などでくるんで、怪我をしないように十分注意してください。
- 可動部に手足を近づけないように注意してください。エンジンを駆動させたままで調整を行うのは可能な限り避けてください。
- バッテリーの充電は、火花や火気のない換気の良い場所で行ってください。バッテリーと充電器の接続や切り離しを行うときは、充電器をコンセントから抜いておいてください。また安全な服装を心がけ、工具は確実に絶縁されたものを使ってください。
- 火花や裸火を使用する屋内で本機を保管する場合は、必ず燃料タンクを空にし、火元から十分離してください。
- 閉めきった場所に本機を保管する場合は、エンジンが十分冷えていることを確認してください。
- 機械を保管する際には、カuttingユニットを降下させてください。一番外側の4番、5番モアを上げた状態で保管する場合は必ずラッチを掛けてください。

バロネス芝刈機を安全に使用するために

以下の注意事項は「バロネス芝刈機」を安全に使用していただくために必ずお守りいただきたい事項です。

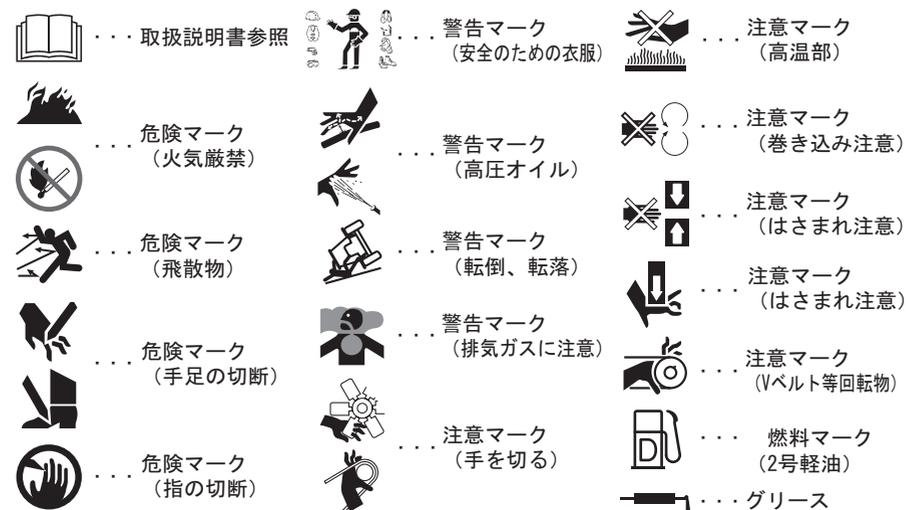
安全に関する警告について

本機には、正しく安全な操作を行っていただくために▲印をつけた警告表示ラベルを貼付しています。

警告表示ラベルは安全上、特に重要な項目を示していますので、警告を必ず守り、安全な操作を行ってください。

警告表示について

- ▲ 危険** …… その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。
- ▲ 警告** …… その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しています。
- ▲ 注意** …… その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのある、または物的損傷の発生が予測されるものを示しています。



安全な作業をするために必ずお守りください

- ここに記載されている注意事項は、安全に関する重大な内容です。必ず守ってください。
 - 記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故、機械の破損をする恐れがあります。
- ※ ご購入された製品によっては、該当しない内容も一部記載していますのでご了承ください。

1. 一般的な注意事項



■ こんなときは、運転しない！

- 過労、病気、薬の影響、その他の理由により、作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 子供（18才未満）や訓練を受けていない人。

※ 守らないと、思わぬ事故をおこす恐れがあります。

■ 作業に適した服装をする

はちまき、首巻き、腰タオルは禁止です。保護メガネ・ヘルメット・滑り止めのついた靴を着用し、作業に適した保護具などを着け、だぶつきのない服装をしてください。

※ 守らないと、機械に巻き込まれたり、滑って転倒する恐れがあります。



■ 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

※ 守らないと、死亡事故や重大な傷害、機械の破損をおこす恐れがあります。

2. 運転する前に



■ 運転者以外に人を乗せない

この機械の乗車定員は1名です。運転者以外に人を乗せないでください。

※ 守らないと、思わぬ事故をおこす恐れがあります。

■ エンジン始動時には必ず運転席に座り、周囲の安全を確認する

エンジン始動時には必ず運転席に座り、シートの位置と周囲の安全を確認してください。

※ 守らないと、思わぬ事故をおこす恐れがあります。

■ 夜間走行・作業の禁止

本機は照明装置を備えていませんので、夜間や視界の悪いときは走行、作業を行わないでください。

※ 守らないと、思わぬ事故をおこす恐れがあります。

■ 寒冷時は暖機運転を実施する

寒冷時は暖機運転を必ず行ってください。

※ 守らないと、機械の性能が十分に発揮できません。



■ マフラの高温に注意

運転中およびエンジン停止直後のマフラは高温ですので、触れないでください。

※ 守らないと、火傷する恐れがあります。

■ 機械の改造禁止

改造をしないでください。

※ 守らないと、事故・ケガ・機械の故障をおこす恐れがあります。

■ 点検・整備を行う

機械を使う前と後には必ず点検・整備を行ってください。

※ 守らないと、事故・ケガ・機械の故障をおこす恐れがあります。

■ 定期点検整備を行う

1年毎に定期点検整備を行い、各部の保守をしてください。特にパワーステアリングのホースは、2年毎に交換し、電気配線は毎年点検してください。

※ 守らないと、整備不良による事故や機械の故障をおこす恐れがあります。



■ ローターリーモアの注意

● 作業やメンテナンス中、回転部は危険ですので、回転部分に手足やものを入れたり、触れたりしないでください。

● 石等の障害物は、ロータリーナイフの損傷、飛散物による事故等の原因になりますので取り除いてから使用してください。万一、障害物がかみ込んだ場合は、エンジンを停止し、駆動部が完全に停止してから取り除いてください。そして、機械の損傷を確認し、壊れている場合は直ちに修理してください。

● 防護カバー、ベルトカバーは、使用者の危険を防止するものです。破損の場合は交換し、所定の位置に必ず付けてください。

■ 燃料漏れに注意

燃料パイプが破損していると、燃料漏れをおこしますので必ず点検してください。

※ 守らないと、燃料に引火して火災をおこす恐れがあります。

■ 燃料キャップをしめ、こぼれた燃料は拭き取る

燃料を補給したときは燃料キャップを確実にしめ、こぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。

※ 守らないと、火災事故をおこす恐れがあります。

■ バッテリ点検時は火気厳禁

バッテリーの点検・充電時は火気厳禁です。

※ 守らないと、バッテリーに引火・爆発して火傷などをする恐れがあります。

■ バッテリ液は身体につけないようにする

バッテリー液を身体や服につけないようにしてください。万一付着したときは、すぐに水で洗い流してください。

※ 守らないと、火傷をしたり、服が破れる恐れがあります。 ■ バッテリの取付け、取外しは正しい手順で行う

バッテリーを取付けるときはプラス（+）側を先に取付け、取外すときはマイナス（-）側から取外します。

※ 守らないと、ショートして火傷や火災事故をおこす恐れがあります。



■ バッテリ液を「下限（LOWER）」以下にしない

バッテリー液は「上限」と「下限」の間にあることを確認し、「下限」以下にしないでください。

※ 守らないと、「下限」以下になったときに容器内の極板接続部がバッテリー液から露出し、エンジン始動時に火花が出て、容器内のガスに引火して破裂する恐れがあります。

■ 高圧オイルに注意

油圧の継手やホースにゆるみや損傷がないかを常に確認し、継手やホースを外す前には、油圧回路内の圧力をなくしてください。

※ 守らないと、高圧オイルは皮膚を突き破ることがあり、傷害事故をおこす恐れがあります。

3. 作業前後の点検や整備をするとき



■ 注油・給油はエンジンが冷めてから行う

エンジン回転中や、エンジンが熱い間は、絶対に注油・給油を行わないでください。

※ 守らないと、燃料などに引火して火災をおこす恐れがあります。

■ 燃料補給時は火気厳禁

燃料補給時は、くわえ煙草や裸火照明は絶対にしないでください。

※ 守らないと、燃料に引火して火災をおこす恐れがあります。



■ 電気部品・コードを必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

※ 守らないと、ショートして、火災事故をおこす恐れがあります。

■ タイヤには、規定の最大空気圧以上に空気を入れない

タイヤに空気を入れる際には、規定の最大空気圧以上に空気を入れないください。

※ 守らないと、タイヤが破裂し、傷害事故をおこす恐れがあります。

■ 排気ガスには十分注意する

閉め切った屋内などではエンジンを始動しないでください。エンジンは風通しの良い屋外で始動してください。やむを得ず屋内で始動する場合は、十分に換気をしてください。

※ 守らないと、排気ガスによる中毒をおこし、死亡事故にいたる恐れがあります。

■ ブレーキ・ハンドルの点検を必ず行う

ブレーキの効きが悪かったり片効きがないように、またハンドルに著しいガタや遊びがないように、点検してください。

※ 守らないと、事故をおこす恐れがあります。

■ マフラ・エンジン周りのゴミは取り除く

マフラやエンジン周辺部、ブレーキ等に草・ゴミ・燃料などが付着していないか、毎日作業前に点検してください。

※ 守らないと、火災事故をおこす恐れがあります。

■ 点検整備中はエンジン停止

点検・整備・修理または、掃除をするときは、必ずエンジンを停止してください。

※ 守らないと、機械の下敷きになるなど、人的事故をおこす恐れがあります。

■ 点検整備は過熱部分が十分冷めてから行う

マフラやエンジンなどの過熱部分が十分に冷めてから、点検整備を行ってください。

※ 守らないと、火傷をする恐れがあります。

■ 点検整備は平坦で安定した場所で行う

点検整備は交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で車輪止めをして行ってください。

※ 守らないと、機械が横転するなど、思わぬ事故をおこす恐れがあります。

■ カバー類は必ず取付ける

点検・整備などで取外したカバー類は、必ず取付けてください。

※ 守らないと、機械に巻き込まれて、人的事故をおこす恐れがあります。

■ 目的に合った工具を正しく使用する

点検整備に必要な工具類は、適正な管理をし、目的に合った工具を正しく使用してください。

※ 守らないと、整備不良で事故をおこす恐れがあります。

4. 運搬するとき



■ あゆみ板の上では、惰性運転はしない

坂道やあゆみ板の上での走行は、十分注意して行ってください。

※ 守らないと、転落などの事故をおこす恐れがあります。

■ 強度・長さ・幅の十分あるあゆみ板を使用する

積み込み、積み降ろしをするときは、平坦で交通の安全な場所で、トラックのエンジンを止め、動かないようにサイドブレーキを掛け、車止めをしてください。使用するあゆみ板は、幅・長さ・強度が十分あり、スリップしないものを選んでください。

※ 守らないと、転落などの事故をおこす恐れがあります。

■ 登るときは前進、降りるときは後進で行う

トラックに積み込むときは前進で、降りるときは後進で行ってください。

※ 守らないと、バランスを崩し、転落などの事故をおこす恐れがあります。

■ ロープでトラックに確実に固定する

トラックに乗せて移動するときは、駐車ブレーキを掛け、強度の十分あるロープ等でトラックに機械を固定してください。

※ 守らないと、荷台から機械が転落したりして、事故をおこす恐れがあります。

5. 移動や圃場へ出し入れするとき



■ 一般道路走行禁止

本機は、特殊自動車の型式認定を取得していませんので、一般道路は走行出来ません。

※ 守らないと、道路交通法違反により罰せられます。

■ 周囲の安全を確認して、ゆっくりと発進する

周囲の安全を確認してからエンジンを始動し、急発進しないようにゆっくり発進してください。

※ 守らないと、人的事故をおこす恐れがあります。

■ 移動時は路肩に注意

溝のある道路や両側が傾斜している道路では、路肩に十分注意してください。

※ 守らないと、転落事故をおこす恐れがあります。

■ 急な発進・停止・旋回やスピードの出し過ぎ禁止

発進・停止はゆっくりと行ってください。旋回するときは、十分スピードを落としてください。また傾斜地、凸凹道やカーブの多い場所では、十分スピードを落としてください。

※ 守らないと、転倒・転落事故や、機械の破損をおこす恐れがあります。

■ 溝を渡るときはあゆみ板を使用する

圃場に入るとき、溝を渡るとき、軟弱な場所を通るときは、必ずあゆみ板を使用してください。あゆみ板は、幅・長さ・強度が十分あり、スリップしないものを使用してください。

※ 守らないと、スリップや転倒による事故をおこす恐れがあります。



■ 暖機運転中は駐車ブレーキを掛ける

※ 守らないと、機械が自然に動きだし、事故をおこす恐れがあります。

■ 高速走行時、急激なブレーキ、ハンドル操作はしない

※ 守らないと、転倒・転落事故をおこす恐れがあります。

6. 作業をするとき



■ 人や物をウェイト代わりにしない

ウェイト代わりに人や物を載せないでください。

※ 守らないと、傷害事故をおこす恐れがあります。

■ 保護具は必ず着用する

保護メガネ・ヘルメット・滑り止めのついた靴を必ず着用してください。

※ 守らないと、傷害事故をおこす恐れがあります。

■ 作業機の下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。

※ 守らないと、作業機が下がったときに、人的事故をおこす恐れがあります。

■ 作業前に、圃場内にある石等の障害物を取り除く

※ 守らないと、事故・ケガ・機械の故障をおこす恐れがあります。

■ 急な発進・停止・旋回やスピードの出し過ぎ禁止

発進・停止は、ゆっくりと行ってください。旋回をするときは、十分スピードを落としてください。

※ 守らないと、転倒・転落事故や、機械の破損をおこす恐れがあります。

■ 傾斜地の移動・作業は特に慎重に行う

傾斜地や凸凹のあるところでは機械のバランスが悪くなります。十分スピードを落として、ゆっくりと移動や作業を行ってください。

※ 守らないと、転倒・転落事故や、機械の破損をおこす恐れがあります。

■ モアの点検は必ずエンジン停止

芝生・石等の噛み込みでロータリーナイフの異常を発見したときは、必ずエンジンを停止して点検・調整を行ってください。

※ 守らないと、巻き込まれ事故をおこす恐れがあります。

■ 子供を近づけない

子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

※ 守らないと、人的事故をおこす恐れがあります。

■ 異常な振動が出たら、直ちに点検・修理を行う

異常な振動が出たら直ちにエンジンを停止し、原因を調べて修理を行ってください。

※ 守らないと、事故・ケガ・機械の故障をおこす恐れがあります。

■ モアユニットの排出口には人を近付けないこと

草や埃が飛び出します。砂・石なども飛び出すことがあります。また、カバー類は必ず装着してください。

※ 守らないと、人的事故をおこす恐れがあります。

■ わき見、手放し運転はしない

※ 守らないと、人的・物的事故をおこす恐れがあります。

■ 機械から離れるときは機械を平坦地に置き、エンジンを停止する

機械から離れるときには平坦で安定した場所に機械を置き、エンジンを停止し、必ず駐車ブレーキを掛け、車輪止めをしてください。また、作業機は地面に接地してください。

※ 守らないと、機械が動きだし、事故をおこす恐れがあります。

■ 運転者以外に人を乗せない

この機械の乗車定員は1名です。運転者以外に人を乗せないでください。

※ 守らないと、思わぬ事故をおこす恐れがあります。

〔重要〕

■ 長時間または高負荷の作業をした後は、エンジンを停止させる前に5分程度のアイドリング時間をとること

※ 行わないとターボチャージャーにトラブルが発生する恐れがあります。

■ 傾斜地作業注意事項

地面は平坦ではなく、凸凹や石等があり機械傾斜角度が急に大きくなる場合が考えられますので、15度以上の傾斜地または転倒やスリップの危険がある場所では、絶対に機械を運転しないでください。

- ・ 傾斜地では、作業前に穴、岩石、木の根（その他の不法投棄物）等を取り除き、それらが無いことを確認してから十分気をつけて作業を行ってください。
- ・ 傾斜地での作業は、等高線に沿って行い、旋回は傾斜角度のゆるい所で行ってください。

7. 作業終了後や格納するとき



■ 注油・給油はエンジンが冷めてから行う

エンジン回転中やエンジンが熱い間は、絶対に注油・給油を行わないでください。

※ 守らないと、燃料などに引火して、火災をおこす恐れがあります。

■ ラジエータが熱いときはキャップを開けない

ラジエータが過熱しているときには、絶対にラジエータキャップを開けないでください。

※ 守らないと、熱湯が吹き出し、火傷する恐れがあります。

■ シートは機械が十分冷めてから掛ける

機械にシートを掛ける場合は、マフラやエンジンが十分冷めてから掛けてください。

※ 守らないと、火災事故をおこす恐れがあります。

■ バッテリーの取付け、取外しは正しい手順で行う

バッテリーを取付けるときはプラス（+）側を先に取付け、取外すときはマイナス（-）側から取外します。

※ 守らないと、ショートして火傷や火災をおこす恐れがあります。



■ 点検整備は平坦で安定した場所で行う

点検整備は交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、車輪止めをして行ってください。

※ 守らないと、機械が転倒するなど、思わぬ事故をおこす恐れがあります。

■ マフラ・エンジン周りのゴミは取り除く

マフラやエンジン周辺部、ブレーキ等に、草・ゴミ・燃料などが付着していないか、毎日作業後に点検してください。

※ 守らないと、燃料などに引火して火災をおこす恐れがあります。

■ 電気部品・コードを必ず点検する

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎日作業後に点検してください。

※ 守らないと、ショートして火災をおこす恐れがあります。

■ 長期保管時はバッテリーとキーを外す

長期間使用しないで格納する場合は、バッテリーを取外し、キーを抜き取り保管してください。

※ 守らないと、事故をおこす恐れがあります。

■ 高圧オイルに注意

油圧の継手やホースにゆるみや損傷がないかを常に確認し、継手やホースを外す前には、油圧回路内の圧力をなくしてください。

※ 守らないと、高圧オイルは皮膚を突き破ることがあり、傷害事故をおこす恐れがあります。



■ 点検整備中はエンジン停止

点検・整備・修理または、掃除をするときは、必ずエンジンを停止してください。

※ 守らないと、機械の下敷きになるなど、人的事故をおこす恐れがあります。

■ カバー類は必ず取付ける

点検・整備などで取外したカバー類は、必ず取付けてください。

※ 守らないと、機械に巻き込まれて、人的事故をおこす恐れがあります。

■ 点検整備は過熱部分が十分冷めてから行う

点検整備はマフラやエンジンなどの過熱部分が十分に冷めてから行ってください。

※ 守らないと、火傷をする恐れがあります。

■ 電磁コイル部分は高圧洗浄禁止

電磁コイル部分は直接高圧洗浄しないでください。

※ 守らないと、コイルが腐食してショートする恐れがあります。

● 定期的に BARONESS 正規代理店でエンジンの回転速度検査を受け、安全性と精度を確認しておきましょう。

● 大がかりな修理が必要になったとき、補助が必要なときは BARONESS 正規代理店にご相談ください。

● 常に安全に、最高の性能でお使いいただくため、交換部品やアクセサリは BARONESS 純正品をお求めください。他社の部品やアクセサリをご使用になると BARONESS 社の製品保証を受けられなくなる場合がありますので、ご注意ください。

● 無断で改善した場合は、使用しないこと。

■ 音圧レベル

この機械は、EC 規制 98/37/EC およびその改訂に定める手順に則して同型機で測定した結果、オペレータの耳の位置での連続聴感補正音圧レベルが 88dB (A) 相当であることが確認されています。

■ 音響レベル

この機械は、EC 規制 2000/14/EC に定める手順に則して同型機で測定した結果、音響レベルが 105dBA/lpW であることが確認されています。

■ 振動レベル

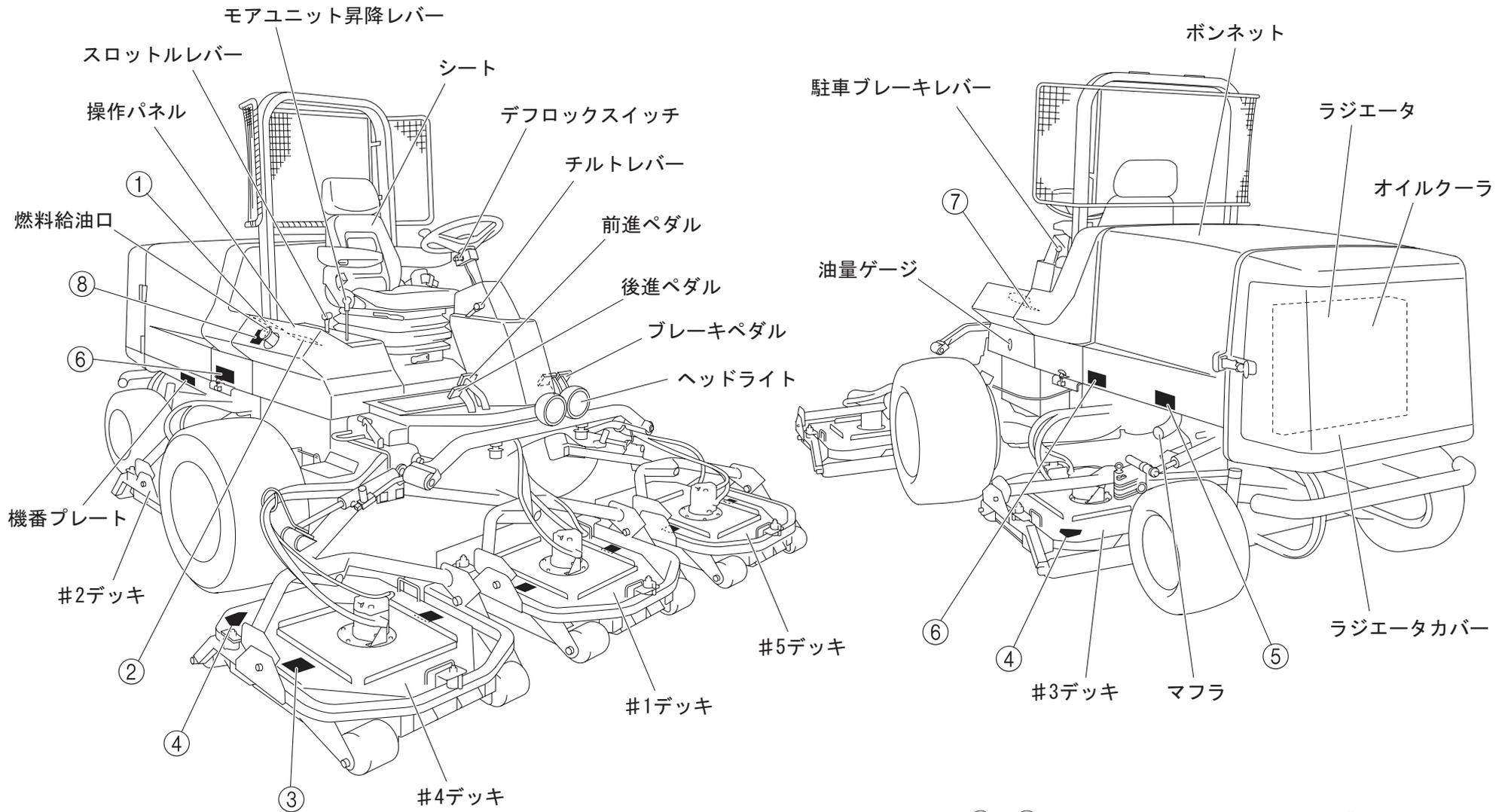
腕および手

この機械は、ISO5349 規定に則して同型機で測定した結果、手・腕部の最大振動レベルが 2.5m/s² 未満であることが確認されています。

全身

この機械は、ISO2631 規定に則して同型機で測定した結果、全身の最大振動レベルが 0.5m/s² であることが確認されています。

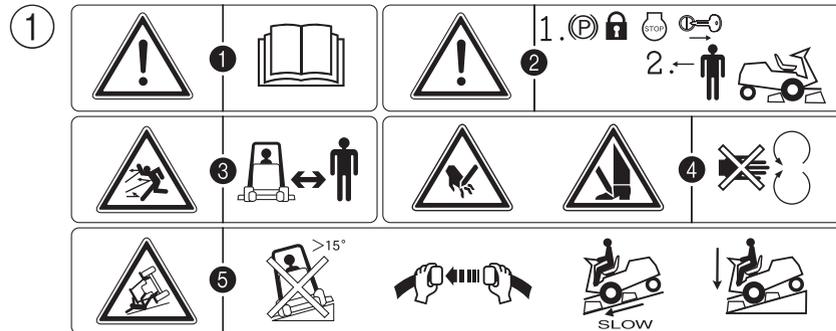
各部の名称・警告表示ラベル、指示ラベル貼付位置



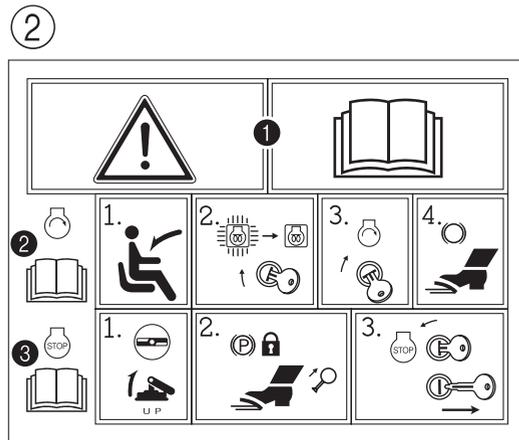
※ ①～⑧の警告表示ラベル、指示ラベルの詳細につきましては次ページを参照してください。

警告表示ラベル、指示ラベルの説明

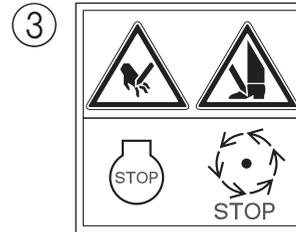
危険な部分の近くには見やすい位置に、警告表示ラベルと指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



- ① ⚠️ 警告 : 取扱説明書をお読みください。
- ② ⚠️ 警告 : 駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止し、エンジンキーを抜いてから機械を離れてください。
- ③ ⚠️ 危険 : 飛散物 — 作業員以外は機械から安全な距離を保つようにしてください。
- ④ ⚠️ 危険 : 手足を切る — 稼働部品に近づかないでください。
- ⑤ ⚠️ 危険 : 転倒 — 15度以上の傾斜の斜面での作業は転倒の危険があります。斜面を降りるときはシートベルトを着用し、モアを下げて低速で走行してください。



- ① ⚠️ 警告 取扱説明書をお読みください。
- ② エンジン始動手順 (取扱説明書をお読みください)
 - ① 着席する
 - ② キーを「グロー」位置に回し、サーモスタートランプが消えるのを待つ。
 - ③ 「START」位置に回す。
 - ④ ブレーキペダルを踏んで駐車ブレーキを解除する。
- ③ エンジン停止手順
 - ① (取扱説明書をお読みください)
 - ② ナイフ回転スイッチを切る。
 - ③ 駐車ブレーキを掛ける。キーを「STOP」位置に回して抜き取ります。



⚠️ 危険 : 手足を切る

回転を停止し、エンジンを停止しないとケガをする危険があります。



⚠️ 危険 : 手を切る

刃が回転しているときは機械から離れてください。



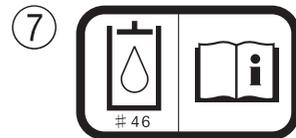
⚠️ 注意 : 高温

火傷するので触らないでください。



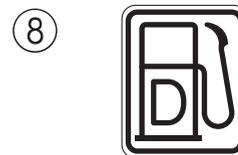
⚠️ 注意 : 挟まれ

挟まれる場合があります。



油圧オイルマーク

取扱説明書をお読みください。



燃料マーク

2号軽油を使用してください。

GM2800 の特長

- 5基の27インチロータリーモアデッキをそれぞれ単独に配置させることにより、280cmの広い刈幅でありながら、アンジュレーションの追従性が良く、地面をカジルことなく作業ができます。
- 大排気量ディーゼルトーボエンジンを搭載し、大型ホイールモータと独自の油圧回路の採用により、傾斜地や法面でも余裕のある作業ができます。
- 左右独立の大口径ディスクブレーキ採用により、木の周り、バンカー周りでの旋回も難なくこなせ、その場旋回も可能です。
- 5基のデッキすべてが起き上がり、メンテナンス性が向上しました。
- 刈高調整は調節カラーの抜差しで簡単に行うことができます。

仕様

型	式	GM2800		
駆	動	方	式	4輪駆動
機 械 寸 法	全	長	370cm	
	全	幅	300cm (移動時230cm)	
	全	高	230cm (ハンドル165cm)	
	ホ イ ー ル ベ ー ス		172cm	
総	質	量	2,000kg	
速 さ	2	駆	0~16km/h	
	4	駆	0~9km/h	
車 輪	前	輪	29×14.00-15	
	後	輪	20×12.00-10	
エ ン ジ ン	型	式	クボタV2003M-T 立形水冷4サイクルターボチャージャー付ディーゼル	
	シ リ ン ダ 数		4	
	総 行 程 容 積		1.999L (1,999cm ³)	
	定 格 出 力		Gross 41.7kW (56.7PS) / 2,600rpm	
回 転 速 度		1,425~2,800rpm (無負荷時) (※1)		
バ ッ テ リ		105D31R		
刈	高	20~91.5mm		
刈	幅	280cm		

(※1) 出荷時のエンジン最高回転速度は 2,600rpm

取扱説明

1. 使用前の点検

注意 ● 機械を始動する前には、必ず下記事項の点検を行ってください。

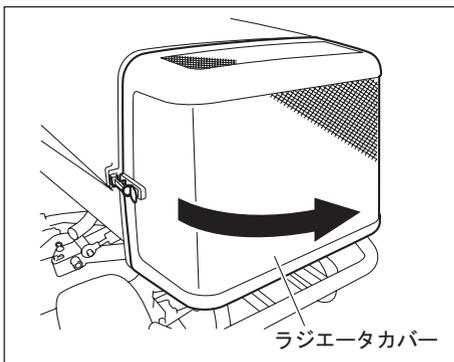
1-1 ロータリーナイフの点検

ロータリーナイフが破損していないか、取付用のボルトがゆるんでいないか確認してください。破損している場合は「7-2 ロータリーナイフの交換」を参照の上、すぐに交換してください。ボルトがゆるんでいる場合は、増締を必ず行ってください。

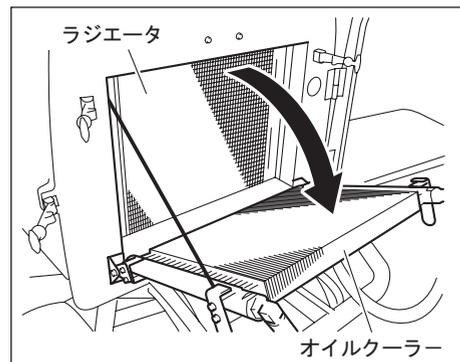
警告 ● バランスのくずれたロータリーナイフを使用すると、振動が出て非常に危険であり、機械破損の原因になりますので、必ずナイフを交換してバランスをとってください。

1-2 ラジエータとオイルクーラ、ラジエータカバーの清掃

ラジエータやオイルクーラ、ラジエータカバーにホコリが付着している場合は、必ず取り除いてください。またホコリの多い所での作業では、早めに取り除いてください。



ラジエータカバー



オイルクーラ

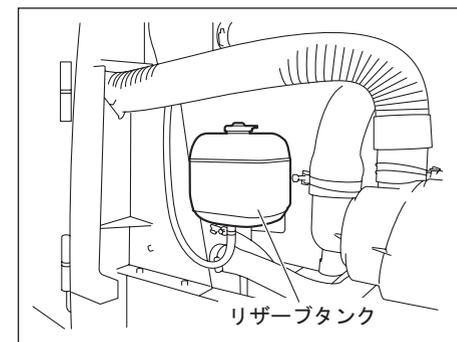
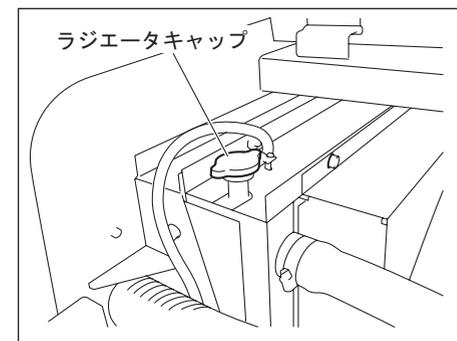
注意 ● 清掃をしないとエンジンのオーバーヒート、焼付きの原因となります。また油圧機器の故障の原因にもなります。

1-3 ラジエータ・冷却水量の点検

注意 ● 点検は、エンジンが冷えているときに行ってください。ラジエータのキャップは加圧式になっております。エンジンが過熱した状態でラジエータのキャップを外しますと、「高温の蒸気が吹き出して、火傷をする恐れ」があります。水温が下がり、圧力が下がってからキャップに厚手の布等を当て、徐々に左へ回してゆるめ、取外してください。



- ・ リザーブタンクの水位が「FULL」と「LOW」の間にあることを確認してください。
- ・ 冷却水が「LOW」の線より下の場合は、リザーブタンクのキャップ部から「FULL」の線まで補給してください。なお、リザーブタンクの冷却水が無い場合は、ラジエータのキャップ部からも口元まで補給してください。
- ・ 通常の点検では、ラジエータのキャップを開けないでください。
- ・ 減った冷却水の補給は必ずきれいな水をご使用ください。
- ・ 冬になる前に冷却水を排出するか、ロングライフクーラントを混入してください。
- ・ 排水は、本機左側にあるドレンプラグで行ってください。



JIS 規格品 ロングライフクーラント (LLC) 濃度と凍結温度の関係

凍結温度	LLC濃度 (容量%)
-10℃まで	20%
-15℃まで	30%
-20℃まで	35%
-25℃まで	40%

※ 本機の冷却水容量は約 12L です。(リザーブタンクを含む)

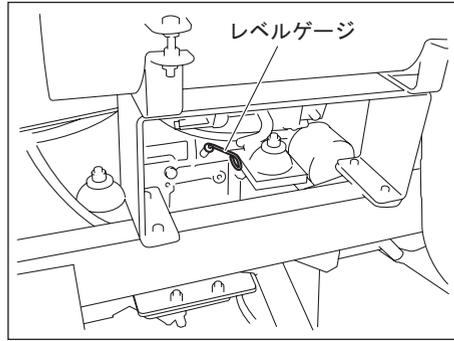
1-4 エンジンオイルの点検・補給



エンジンを水平状態にして、オイルレベルゲージをいっぱいに差込んでオイルの量を調べてください。上限と下限の間であれば適量です。

オイルが不足している場合は補給し、汚れている場合は交換してください。

オイルレベルの点検は、エンジンを停止して、「10～20分後」に行ってください。エンジンオイルの入過ぎは、エンジンの破損、事故の原因となりますのでご注意ください。



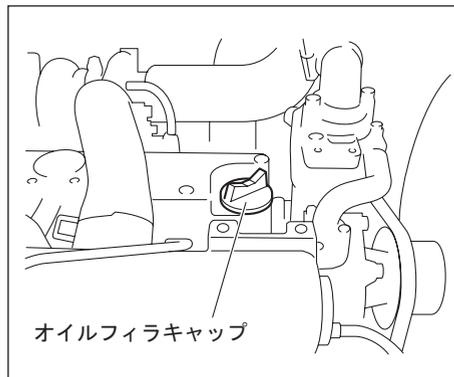
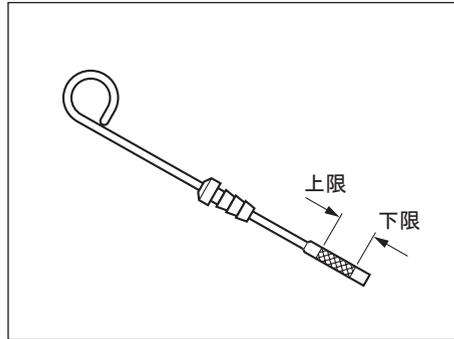
エンジンオイルの補給はオイルフィラより行ってください。

補給したエンジンオイルは、オイルパンに下がるまである程度時間を要します。補給してから「10～20分後」に、オイルの量を再度点検してください。

※ 絶対に異なった種類のエンジンオイルを混ぜないでください。

※ エンジンオイルはAPI サービス分類のCD級以上で、ご使用の環境（気温）に合わせたSAE粘度のオイルを使用してください。

※ エンジンオイル容量は約10Lです。



1-5 油圧作動油の点検

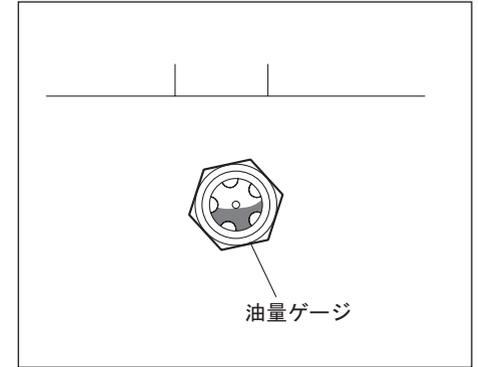
機械を水平にし、モアを上げた状態にします。

油量ゲージの中心まで作動油が入っているか常に点検し、少ないときは補給してください。

作動油の補給はシェルテラス 46 相当品を使用してください。

※ 絶対に異なった種類の作動油を混ぜないでください。

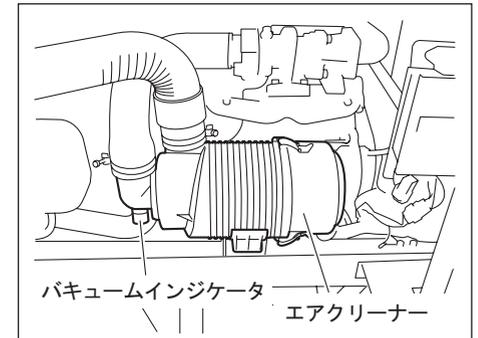
※ タンク容量は約44Lです。



1-6 エアクリーナの清掃

点検はバキュームインジケータで行ってください。

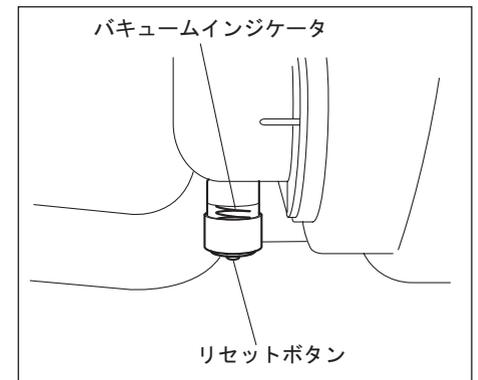
エアクリーナのエレメントが汚れてくるとバキュームインジケータに赤いリングが見えてきますので、エレメントを取外し清掃を行ってください。



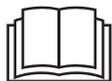
エアクリーナのエレメントが汚れていると、エンジン不調の原因となります。汚れている場合は、エレメントを傷つけないように、注意して軽く叩くか、内側からエアを吹きつけて清掃してください。

エアクリーナエレメントは200時間毎に交換してください。

清掃後はエレメントを装着し、リセットボタンを押してください。



1-7 エンジン周りの点検



エンジンの取扱いについては、エンジン取扱説明書を参照してください。



- 1) 燃料系の部品は、ひび割れや漏れがないかを確認し、必要があれば交換してください。
- 2) マフラの中や周りに、草や葉および可燃物が付着している場合は、エアを吹きつけて清掃してください。

1-8 タイヤの点検

タイヤの空気圧、亀裂、損傷、異常磨耗を調べてください。

空気圧	
前 輪	150kPa (1.5kgf / cm ²)
後 輪	140kPa (1.4kgf / cm ²)

2. 各部の締付

各部には、ボルト止めが多く使用されており、初めのうちは使用しますと、ボルト・ナット等にゆるみが出る場合がありますので、必ず増締めを行ってください。

適正締付トルクN・m (kgf・cm)

呼び径	一般ボルト 強度区分4.8	調質ボルト 強度区分10.9
M6	7~9 (71.38~91.77)	14~18 (142.76~183.55)
M8	14~19 (142.76~193.74)	28~38 (285.52~387.49)
M10	29~38 (295.71~387.49)	58~76 (591.43~774.97)
M12	52~67 (530.24~683.20)	104~134 (1,060.49~1,366.40)
M14	70~94 (713.79~958.52)	140~188 (1,427.58~1,917.04)
M16	88~112 (897.34~1,142.06)	210~260 (2,141.37~2,651.22)
M18	116~144 (1,182.85~1,468.37)	280~340 (2,855.16~3,466.98)
M20	147~183 (1,498.96~1,866.05)	370~450 (3,772.89~4,588.65)

3. 各部の操作方法

3-1 注意 機械操作について

機械を操作する前に、各 부품の操作状態が良好であり、特にブレーキ、タイヤ、ステアリング、及びモアに異常がないか確認してください。

どのような場合にも、緊急停止ができるような速さで運転してください。

作業地域内の障害物は取り払い、運転者あるいは周囲の人がケガをしないようにしてください。

3-2 警告 エンジンを始動する前に

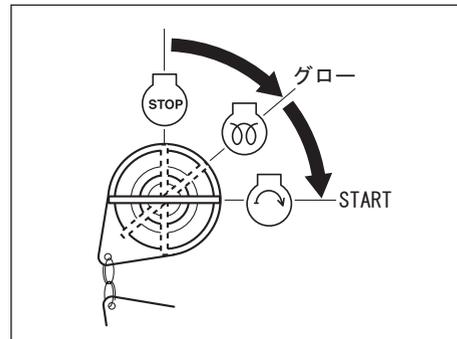


- 機械の周囲に人や障害物がないか安全を確認してください。
- カバー類が正しい位置にあり、損傷していないか確認してください。
- 適切な換気装置のない建物内では始動しないでください。

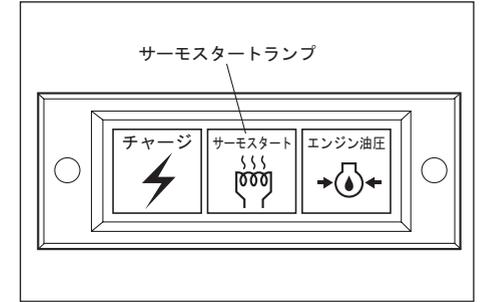
3-3 エンジン始動・停止

● 始動手順

- 1) シートに座ってください。
- 2) 左右のブレーキペダルをペダルレバーで連結し、両方のブレーキペダルを踏んで、駐車ブレーキレバーを引き上げ、駐車ブレーキをかけてください。
- 3) ナイフ回転スイッチを「停止」の位置にしてください。
- 4) スロットルレバーを少し手前に引いてください。
- 5) キーを右に回し「グロー」の位置にするとサーモスタートランプが点灯し、ディーゼルエンジンの燃焼室が余熱されます。



- 6) サーモスタートランプが消えたら速やかにキーを「START」の位置へ回すと、スタータが回転し、エンジンが始動しますので、キーから手を離してください。



- 7) チャージランプとエンジン油圧ランプが消えるのを確認してください。もし消えないときは、エンジンを止めて点検整備を行ってください。

注意

- 変速ペダルに足を置かないでください。本機が動き、大変危険です。
- エンジン回転中はファンベルト、プーリー等回転部には触れないでください。
- スタータの操作は最長 15 秒です。それでも始動しないときは 30 ~ 60 秒間バッテリーを休止させ、消耗を防いでください。



● 停止手順

- 1) ナイフ回転スイッチを「OFF」の位置にしてください。
- 2) 駐車ブレーキを掛けてください。
- 3) スロットルレバーを「LOW」の位置に戻してください。
- 4) キーを左に回し「STOP」の位置にすれば停止します。

3-4 安全装置について

本機にはエンジンの始動・停止に対する安全装置が装着されています。

- エンジンを始動するときは、以下の 3 つの条件が必要です。
 - a. シートに座る
 - b. 駐車ブレーキをかける
 - c. ナイフ回転スイッチを「停止」にする

- エンジンをかけたままでシートから離れる場合は、駐車ブレーキをかけた状態でないとエンジンが停止します。

3-5

危険 燃料取扱上の注意

- 燃料給油時は火気厳禁です。すべての裸火とタバコを消してください。
- 燃料の補給は屋外で、エンジンを停止し、エンジンを十分に冷やしてから行ってください。
- 火災を防ぐため、機械は常にきれいに保ち、ゴミの堆積、グリース、オイルの付着がないようにしてください。
- こぼれた燃料は、きれいに拭き取ってください。

3-6

注意 機械を離れるときの注意

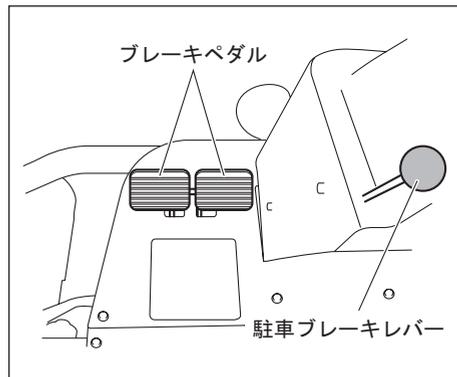
- 1) 機械を平らな所に停止させ、駐車ブレーキをかけてください。
- 2) ナイフ回転スイッチを「OFF」の位置にして、モアを完全に降してください。
- 3) エンジンを停止します。
- 4) キーを抜いてから離れてください。
- 5) ブレーキの効きがあまいときには、車輪止めを使用し固定してください。

注意

- 傾斜地での駐車は、絶対にしないでください。

3-7 駐車ブレーキ

駐車ブレーキはフロントカバーの左側にあります。左右のブレーキペダルをペダルレバーで連結し、両方のブレーキペダルを踏んで、駐車ブレーキレバーを引き上げ、駐車ブレーキをかけてください。駐車ブレーキを解除するにはブレーキペダルを再度踏み込みます。

**注意**

- 絶対に駐車ブレーキを解除してから走行してください。ブレーキや油圧機器を傷めます。

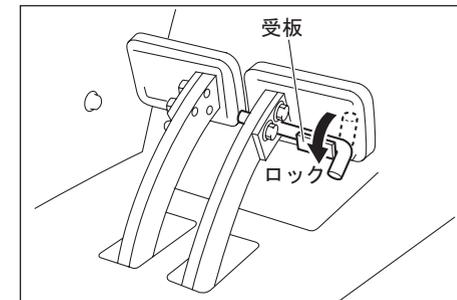
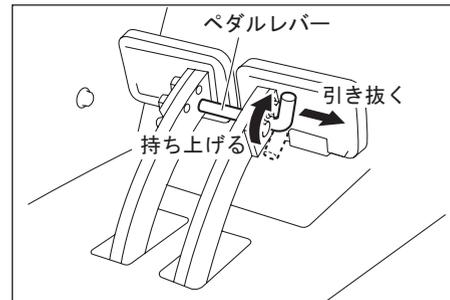
3-8

ブレーキペダル

左右独立のブレーキペダルの採用により作業時の旋回性能、斜面での走行性能を高めています。旋回時に旋回する側のブレーキを踏むと小さな半径で旋回することができます。また、斜面で山側の前輪がスリップする場合には山側のブレーキを踏むと、谷側の車輪のトラクションが増加し安定して走行できます。

〈連結タイプから独立タイプへの変更の仕方〉

- 1) ペダルレバーを持ち上げ右ブレーキペダルから引抜いてください。
- 2) ペダルレバーを左ブレーキペダルにある受板にロック状態にしてください。

**警告**

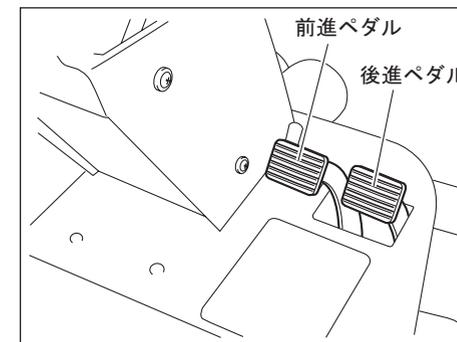
- 作業時以外はブレーキペダルを連結してください。連結せずに使用すると転倒事故をおこす恐れがあります。
- ブレーキを踏んで小さい半径で旋回する場合は芝、地面の状態を十分に把握して行ってください。芝を傷つける恐れがあります。



3-9

前・後進ペダル

2ペダル方式を採用しています。前進させるには、内側のペダルを踏み、後進させるには、外側のペダルを踏み込みます。ペダルの踏み込み量により速さが変化します。ペダルから足を離すと、機械は自動的に停止します。

**警告**

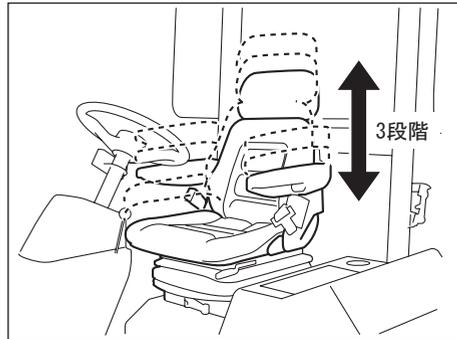
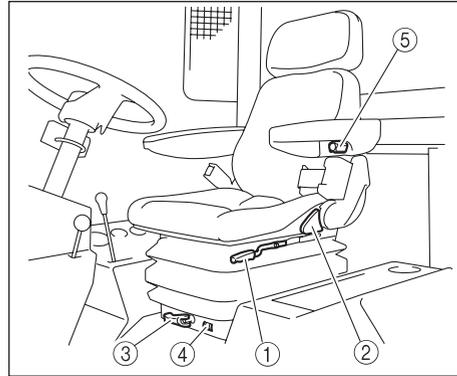
- 公道での走行は法律の関係でできません



3-10 シートの調整

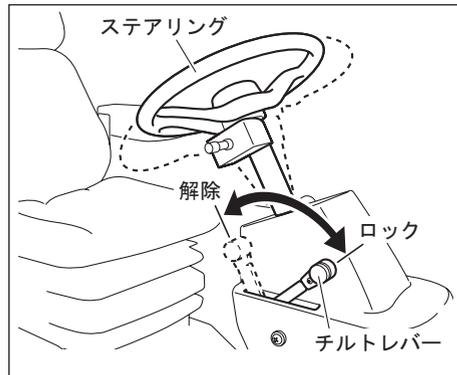


- ①のレバー操作でシートを前後に調節できます。
- ②のレバー操作で背もたれの角度調節ができます。
- ③のハンドルを回すことによりシートのスuspensionの固さを調節できます。④の目盛で確認しながら調節してください。(50 ~ 130kg)
- ⑤のノブを回すことによりアームレストの角度調整ができます。
- シート全体を持上げることでシートの高さが 三段階に調整できます。



3-11 チルトステアリング

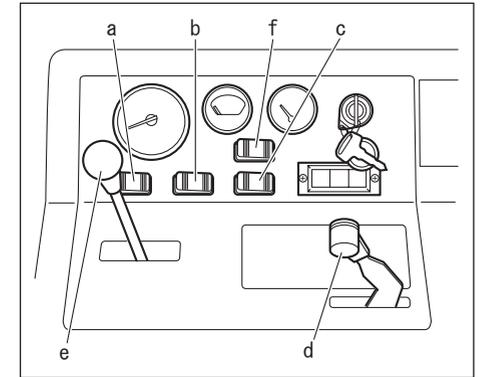
ステアリングの角度を調整することができます。
チルトレバーを手前に引くとロックが解除され、ステアリングの調整ができます。ハンドル角度を決めてチルトレバーを前方に押し再度ロックしてください。



- ロックは確実に行ってください。走行中に緩むと大変危険です。

3-12 操作パネルのスイッチ、レバー

- a. ナイフ回転スイッチ
- b. 2WD-4WD 切換スイッチ
- c. ヘッドライトスイッチ
- d. スロットルレバー
- e. モアユニット昇降レバー
- f. トラクションアシストスイッチ

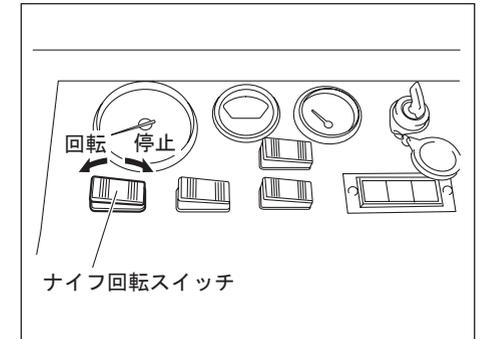


3-13 ナイフ回転スイッチ

ナイフ回転スイッチを「ON」側に倒すとロータリーナイフが回転し、「OFF」側に倒すとロータリーナイフの回転は停止します。

また、モアが上がった状態ではナイフは回転しません。

※ナイフ回転スイッチが「ON」のときは2WD-4WD 切換スイッチに関係なく4輪駆動「4WD」になります。



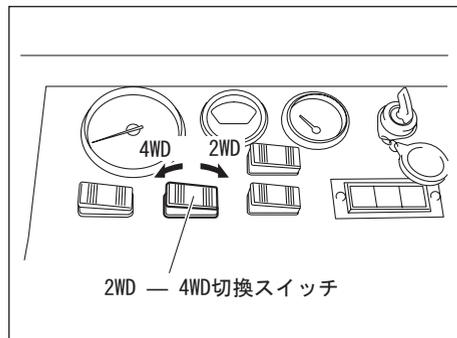
- ナイフ回転スイッチは、刈込み作業直前に入れ、それ以外の場合は、必ず「OFF」にしてください。
- 機械の周囲に人がいないことを確認してから操作してください。



3-14 2WD - 4WD 切換スイッチ

2WD-4WD 切換スイッチは操作パネルにあります。スイッチを「2WD」側に倒すと2輪駆動（前輪駆動）、「4WD」側に倒すと4輪駆動になります。

※ナイフ回転スイッチが「ON」のときは2WD-4WD 切換スイッチに関係なく4輪駆動「4WD」になります。



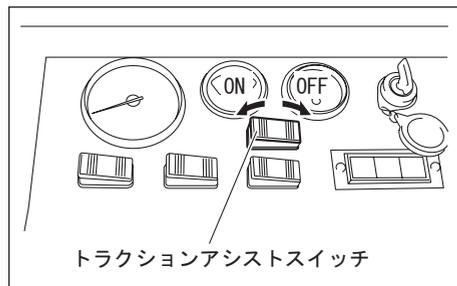
注意

- 傾斜地では必ず4WDを使用してください。
- 移動時にはナイフの回転を停止させ、モアを上昇させてください。
- 傾斜やアンジュレーションを含め、道路及び地面の状態に配慮して機械の運転をしてください。

3-15 トラクションアシストスイッチ

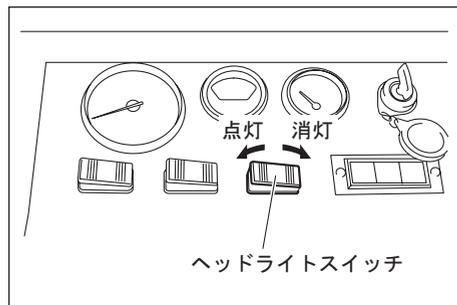
スイッチを「ON」にすると、デッキをフローティングさせ、登坂性能を高めめます。

※「ON」の状態ではアンジュレーションの多い場面で使用すると追従性が悪くなる場合があります。



3-16 ヘッドライトスイッチ

スイッチを「ON」にすると、ヘッドライトが点灯し、「OFF」にすると消灯します。



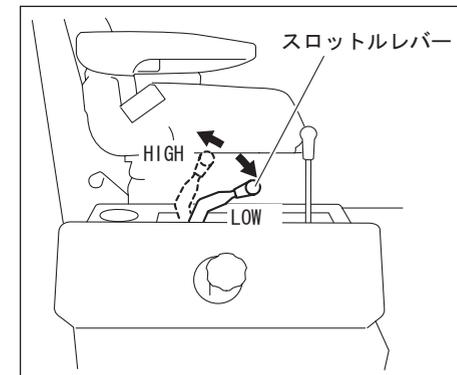
警告

- ヘッドライトは補助灯です。夜間や視界の悪いときは走行、作業を行なわないでください。

3-17 スロットルレバー

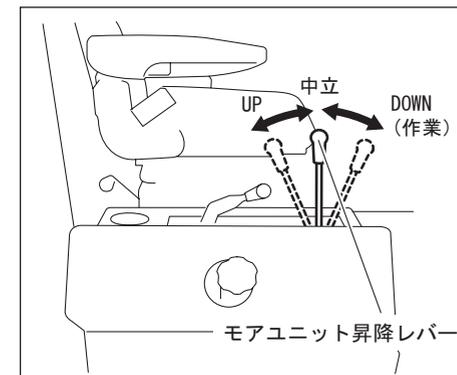
スロットルレバーは上に引上げる（HIGH）とエンジン回転速度が高くなり、下げる（LOW）とエンジン回転速度は低くなります。

※出荷時のエンジン最高回転速度は2,600rpmです。



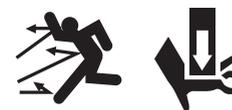
3-18 モアユニット昇降レバー

レバーは中立位置に戻りますが、「DOWN」側に倒すとデッキは下降し、「UP」側に倒すとデッキは上昇します。ナイフ回転スイッチが「ON」の状態でもデッキを上げるとナイフの回転は停止します。



注意

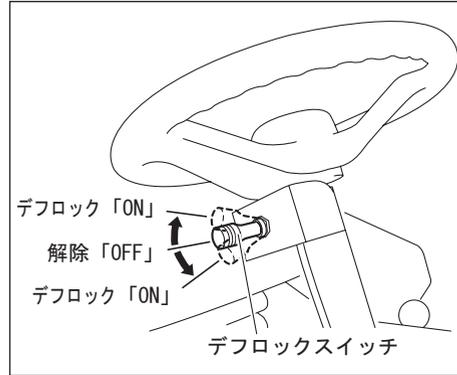
- 昇降レバーの操作は、機械の周囲に人、障害物がないか安全を確認してから操作してください。



3-19 デフロックスイッチ

ハンドルの下、右側についています。前輪左右のデフロックを操作するスイッチです。

スイッチを上側または下側に倒すと前輪がデフロック状態になります。スイッチを離すとスイッチは中立に戻り、デフロックは解除されます。

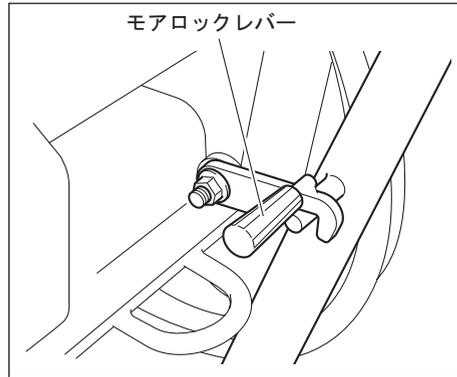


注意 ● デフロックの操作は必要なとき以外は絶対に行わないでください。油圧機器が故障をおこす恐れがあります。

3-20 モアロックレバー



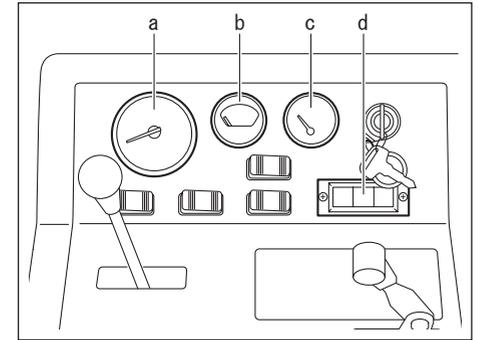
#4、#5 モアデッキを上げた状態で保管する場合はモアロックレバーを掛けてください。



4. 各部の計器

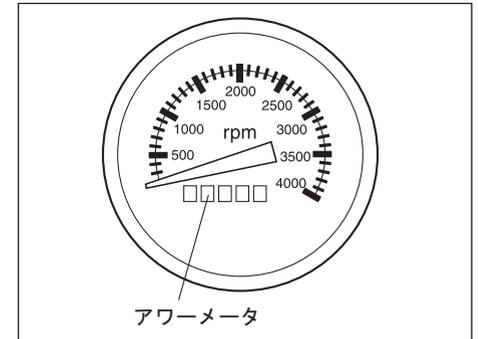
4-1 操作パネルの計器類

- a. タコメータ、アワーメータ
- b. 水温計
- c. 燃料計
- d. パイロットランプ
 - ・チャージランプ
 - ・サーモスタートランプ
 - ・オイルプレッシャーランプ (エンジン油圧)



4-2 タコメータ、アワーメータ

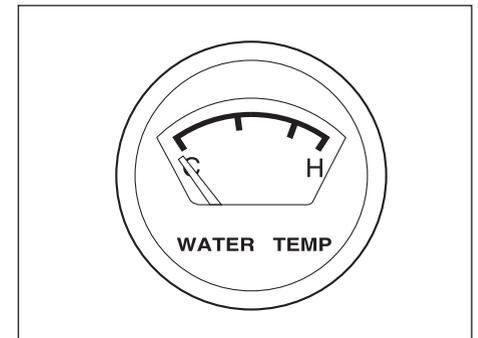
エンジンの回転速度と総運転時間を示します。定期点検、整備はこの時間数に基づいて実施してください。



4-3 水温計

運転中に水温計が「H」付近まで上昇した場合は、オーバーヒート状態です。エンジンを無負荷にしてアイドリング状態で5分間運転した後、エンジンを止めて点検・整備をしてください。

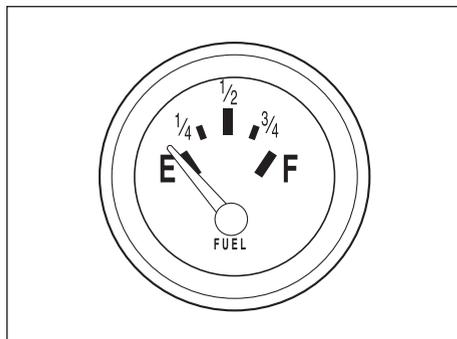
● 水温が 115°Cになるとブザー（断続音）がなります。



4-4 燃料計

燃料タンク内の燃料の量を示す計器です。燃料ゲージがE (EMPTY) に近づいたら早めに燃料 (軽油) の補給を行ってください。

燃料タンクには約 51L 入ります。



⚠ 危険

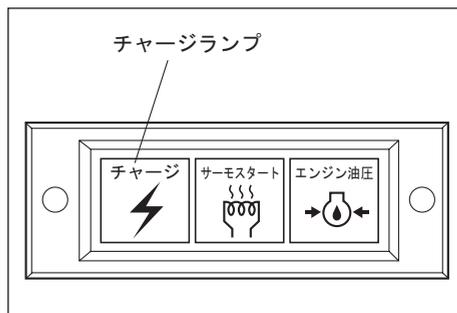
- 燃料タンクに燃料を入れすぎないでください。作業中にあふれ、火災の原因となります。
- ガソリンは絶対に入れないでください。



4-5 チャージランプ

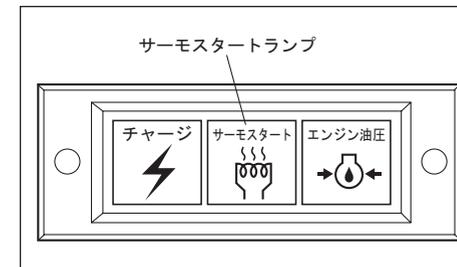
キースイッチが「ON」の位置で点灯します。

エンジンが始動し、正常に充電されると消灯します。運転中に点灯した場合は、すぐエンジンを止めて点検・整備してください。



4-6 サーモスタートランプ

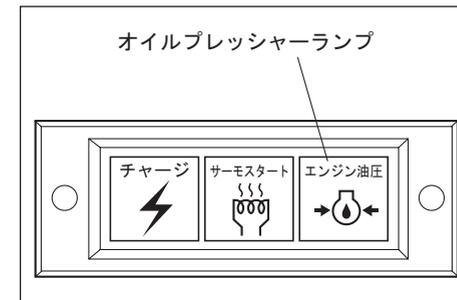
3-3 エンジンの始動・停止を参照してください。



4-7 オイルプレッシャーランプ

キースイッチが「ON」の位置で点灯します。

エンジンが始動し、オイルが循環し始め正常な圧力になると消灯します。運転中に点灯した場合は、すぐエンジンを止めて点検・整備してください。



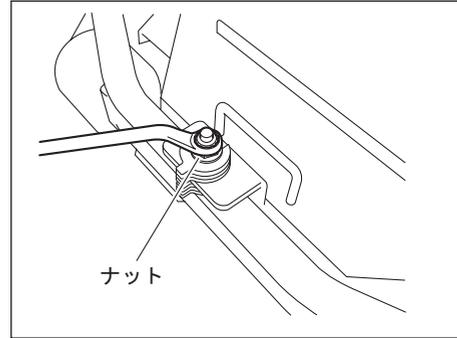
5. 刈込み作業

5-1 刈高の調整

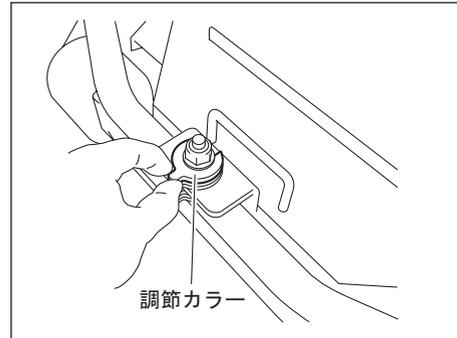
駐車ブレーキを確実にかけ、デッキを全て降ろしエンジンを止め、キーを抜いてから作業してください。

1. 調節カラーによる刈高の調整 (1 デッキにつき3箇所)

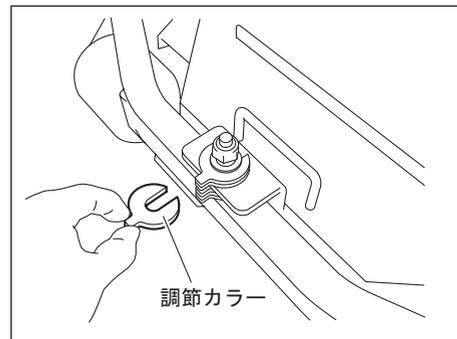
1) 調節カラーを止めているナットを3箇所ともゆるめる。



2) 刈高表を参考に調節カラーの枚数を変更する。

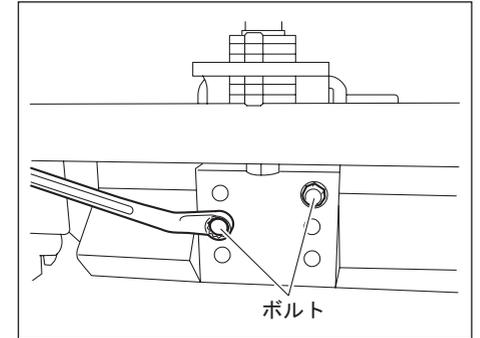


3) 3箇所のカラーの調節が終わったら全てのナットを確実に締める。

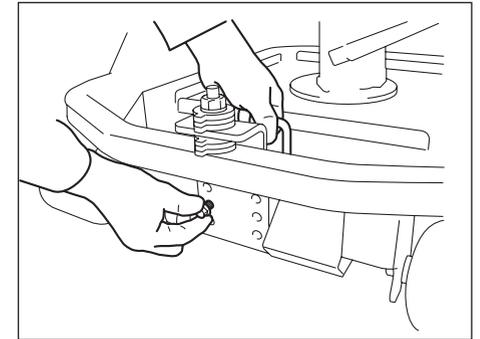


2. 刈高調節板による刈高の調整 (1 デッキにつき3箇所)

1) 刈高調節板とロータリーデッキを止めているボルト (計6本) を緩める。

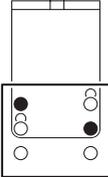
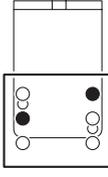
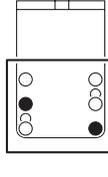
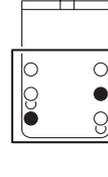


2) 刈高表を参考に1箇所ずつロータリーデッキの取っ手で持ち上げながら、孔位置を変更し仮止めする。



3) 3箇所の仮止めが終わったら全てのボルトを確実に締める。

■ 刈高表 (調節範囲20.0~91.5mm)

調節カラー				
0枚	20.0mm	30.0mm	45.5mm	55.5mm
1枚	26.0mm	36.0mm	51.5mm	61.5mm
2枚	32.0mm	42.0mm	57.5mm	67.5mm
3枚	38.0mm	48.0mm	63.5mm	73.5mm
4枚	44.0mm	54.0mm	69.5mm	79.5mm
5枚	50.0mm	60.0mm	75.5mm	85.5mm
6枚	26.0mm	66.0mm	81.5mm	91.5mm

- ⚠ 注意**
- 一度に刈る芝の長さは30mm以内にしてください。
 - また、芝丈の1/3以上は刈らないようにしてください。
- ※出荷時の刈高は48mmに設定してあります。

5-2 刈込み作業

- 1) スロットルレバーを引き上げてエンジン回転速度を MAX (2,600rpm) にしてください。(3-17 参照)
- 2) モアロックレバーを解除してください。(3-20 参照)
- 3) モアユニット昇降レバーを「DOWN」側に倒し、モアデッキを降ろしてください。(3-18 参照)
- 4) ナイフ回転スイッチを「ON」側にし、ナイフを回転させてください。(3-13 参照)
- 5) 前進ペダルを踏み込んで、作業を始めてください。

※その後はモアデッキの昇降に連動してナイフも回転・停止します。

注意



- 必ず作業条件にあった速さで作業してください。
- ナイフ回転はロータリーデッキの位置を感知して「入」、「切」していますので、モアデッキが上がりきらないうちにモアユニット昇降レバーの操作をやめるとナイフ回転が停止しない場合がありますので注意してください。

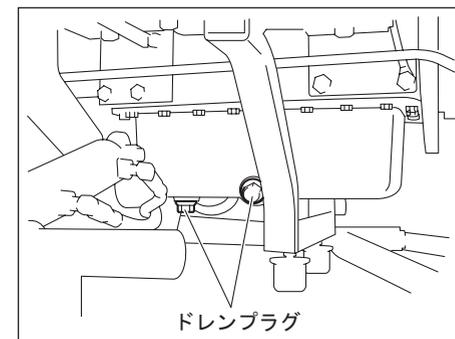
6. メンテナンス・本体

6-1 エンジンオイルの交換



エンジンの取扱いについては、エンジン取扱説明書を参照してください。

- 1) オイル交換は、最初 50 時間使用して交換し、その後は 100 時間毎に交換してください。
- 2) エンジン底部にあるドレンプラグを外して汚れたエンジンオイルを抜取ります。エンジンが暖かいうちに行くと完全にオイルを排出することができます。



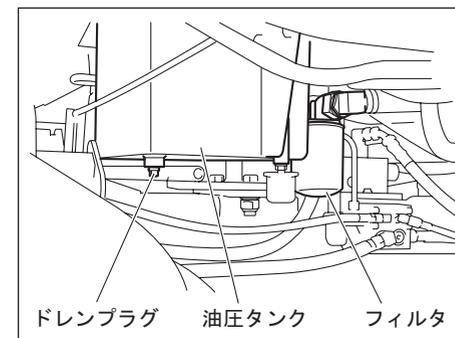
注意



- エンジンオイルは SAE 粘度 API サービス分類の CD 級以上を使用してください。
- 長時間運転した直後はエンジンオイルが高温になっており、ドレンプラグを外すときに火傷をしますので、少し時間をおいてから交換してください。

6-2 油圧作動油の交換

- 1) 油圧作動油の交換は最初 100 時間使用して交換し、その後は 1 年又は 500 時間の短いほうで交換してください。
- 2) フィルタは、作動油交換時に合わせて交換してください。
- 3) 油圧タンク底部にあるドレンプラグを外して、汚れた作動油を抜き取ります。



- 4) 作動油が、乳化または透明度が悪くなったときはすぐに交換してください。
 5) 作動油補充は、シェルテラス 46 相当品をお使いください。
 ※ 油圧タンク容量は約 44L です。

注意

● 長時間運転した直後は油圧作動油が高温になっており、ドレンプラグを外すときに火傷をしますので、少し時間をおいてから交換してください。



6-3 各部油漏れの点検



油圧ホースの金具、ポンプ、シリンダ等についている油圧金具などは 50 時間ぐらい使用すると、締付け部のゆるみ等で油が漏れることがありますので、増締めをしてください。

※油圧タンクにはレベルセンサが取付けてあります。
 作動油が約 2L 減るとブザー（連続音）が鳴ります。

6-4 各部のグリースアップ

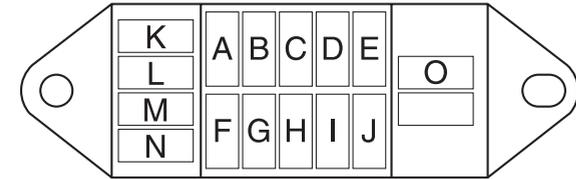
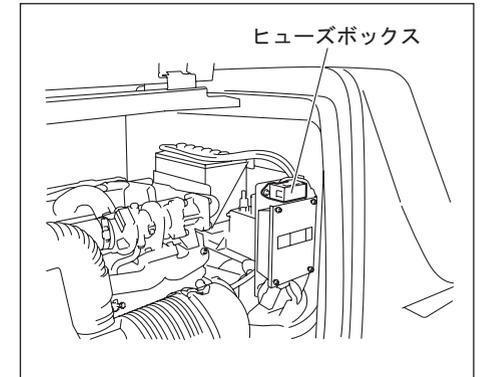
次にあげる場所に、グリースニップルが取付けてありますので、50 時間毎にグリースアップしてください。

後輪関係			⑩	#2リフトアーム	1ヶ所
①	ピボット	1ヶ所	⑪	#2旋回金	1ヶ所
②	キングピン	2ヶ所	⑫	#3リフトアーム	1ヶ所
ペダル部			⑬	#3旋回金	1ヶ所
③	ブレーキペダル	2ヶ所	⑭	#4リフトアーム	2ヶ所
④	ブレーキ金	1ヶ所	⑮	#5リフトアーム	2ヶ所
⑤	前進ペダル	1ヶ所	⑯	#1後ローラー	2ヶ所
⑥	後進ペダル	1ヶ所	⑰	#2後ローラー	2ヶ所
⑦	ポンプアイドルレバー	1ヶ所	⑱	#3後ローラー	2ヶ所
⑧	ポンプ中立レバー	1ヶ所	⑲	#4後ローラー	2ヶ所
リフトアーム関係			⑳	#5後ローラー	2ヶ所
⑨	#1リフトアーム	2ヶ所	㉑	各モアシリンダ	2~3ヶ所

※グリースアップ位置は次ページ参照

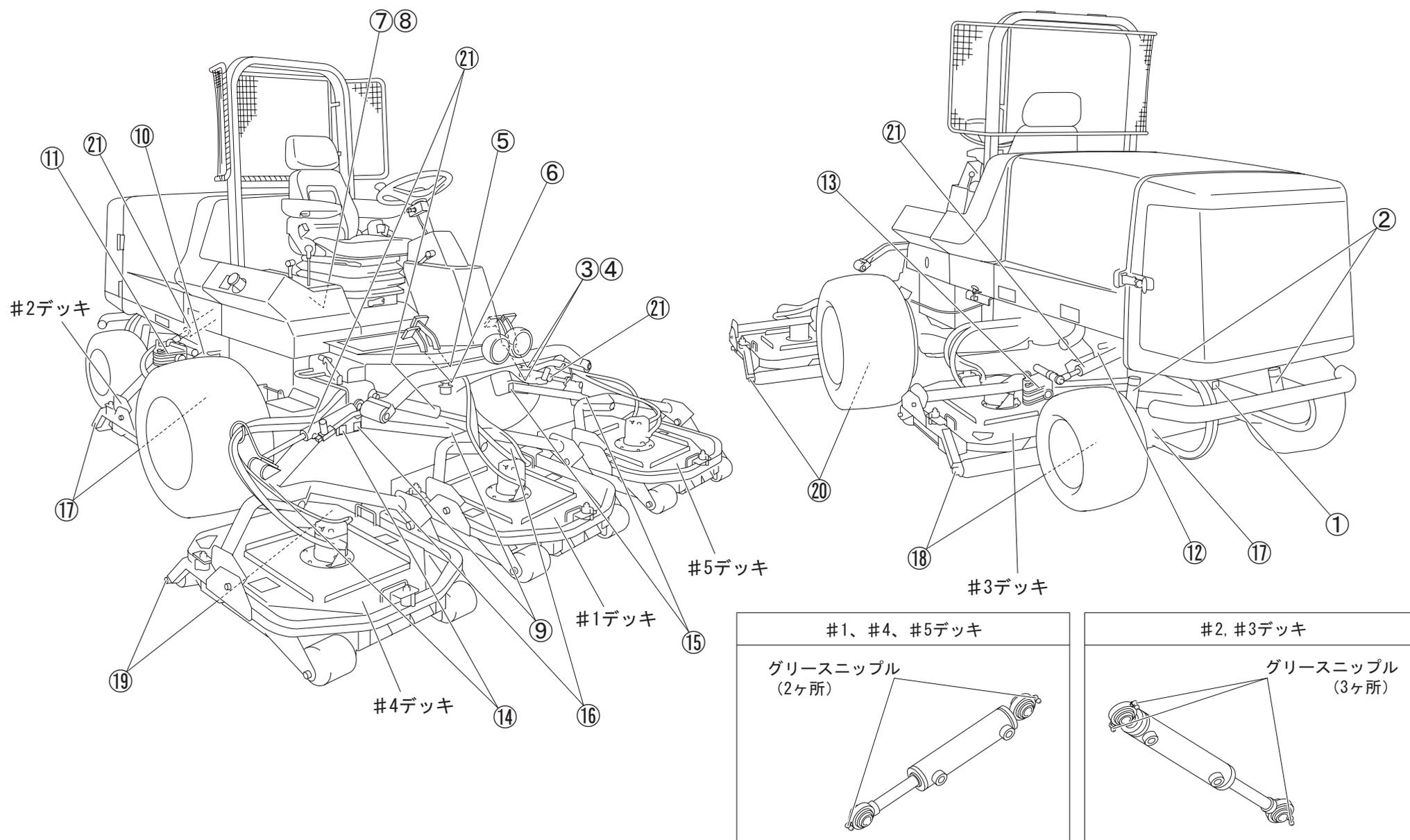
6-5 ヒューズの交換

- 1) ヒューズボックス
 ヒューズボックス内にスペアヒューズ、交換工具が付属されています。規定容量のものと交換してください。ヒューズは自動車用ミニヒューズです。
- 2) ヒューズブルリンク
 ヒューズブルリンクのヒューズ容量は 50A です。

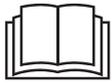


A	5A	タイマー
B	5A	グローランプ
C	5A	タコメータ、燃料計、水温計、チャージランプ オイルプレッシャーランプ、水温ブザー、作動油ブザー
D	15A	リレーボックス1、デフロック、アシストスイッチ
E	15A	リレーボックス2、2WD-4WD切換 #4、5近接SW
F	-	
G	5A	タイマー
H	5A	オルタネータ
I	5A	燃料ポンプ、セーフティリレー、停止ソレノイド
J	5A	リレー（セルモータ）
K	5A	スペア
L	5A	
M	15A	
N	15A	
O	ヒューズ抜き用具	

■ グリースアップ位置

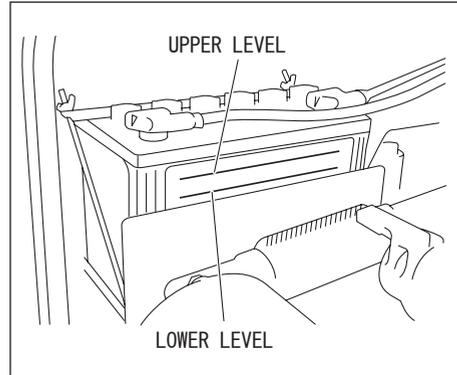


6-6 バッテリーの点検



バッテリーの取扱いについては、バッテリー取扱説明書を参照してください。

水で湿らせた布で液面線の周囲を清掃し、液面が「UPPER LEVEL」（最高液面線）と「LOWER LEVEL」（最低液面線）の間にあることを確認してください。液面が「UPPER LEVEL」と「LOWER LEVEL」間の半分以下に低下している場合は、ただちに「UPPER LEVEL」まで精製水を補水してください。



⚠ 危険

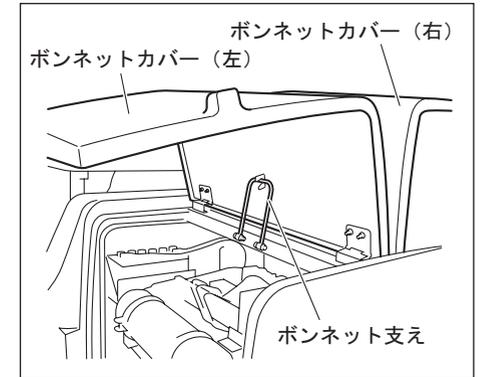


- バッテリーの点検や充電時は火気厳禁です。また、バッテリー液は希硫酸ですので身体や車体に付けないでください。もし付着した場合は直ちに水でよく洗い、特に目に入ったときや飲み込んだ場合は、速やかに医師の治療を受けてください。
- バッテリーからケーブルを外すときはマイナス（-）側から外し、取付けるときはプラス（+）側から取付けてください。逆にすると工具等が機体に接触した場合ショートして火花が生ずる恐れがあります。
- バッテリーケーブルを接続するときはプラスとマイナスを間違えないようにしてください。もし間違えた場合、バッテリーやバッテリー電装品を損傷させます。（赤色ケーブルはプラス側です。）
- バッテリーの清掃に乾いた布を使うと静電気が発生し引火・爆発する恐れがあります。

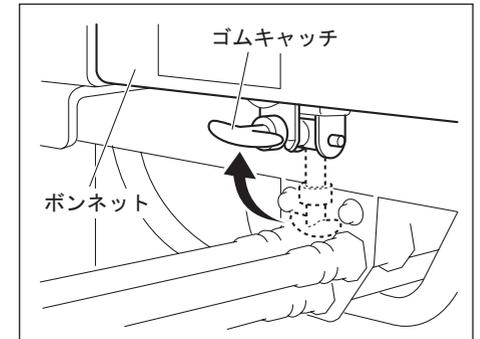
6-7 ボンネットカバー（左右）の開閉

ゴムキャッチを外し、ボンネットを引上げてください。

ボンネット支えをカバー内側の受金に引っ掛け、ボンネットが閉じないことを確認し、手を離してください。



閉じるときはボンネット支えを受金から外し、ゆっくりと下げてゴムキャッチをはめてください。



⚠ 注意

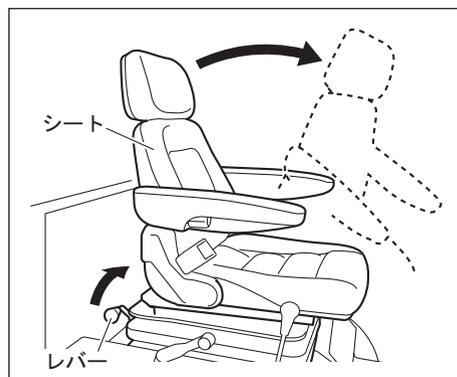


- ボンネットを閉めるときに手をはさまないように注意してください。
- 風が強い場所ではボンネットを開けないでください。

6-8 シート下カバーの開閉

開けるときはチルトステアリングを一番立てた状態にし、シートの前後調整を一番後ろにします。

シートの後にあるレバーを上には上げるとロックがはずれますので、シートを前に倒しカバーを開けてください。閉じるときはゆっくりと下げてください。



注意 ● 閉めるときに手をはさまないように注意してください。

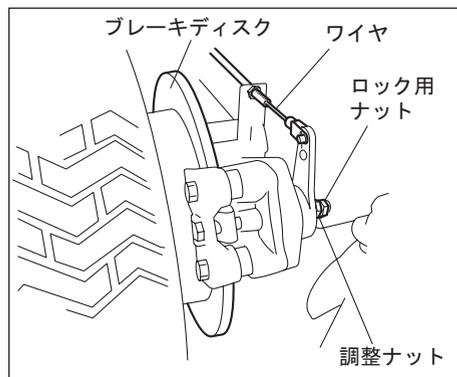


6-9 ブレーキの調整

ブレーキディスクとパッドの隙間が大きくなり、ブレーキの効が悪くなってきたら隙間調整 をしてください。

調整はロック用ナットを緩め、調整用ナットを締めこんでいくと隙間が小さくなります。適正な隙間に調整したら確実にロック用ナット を締めてください。

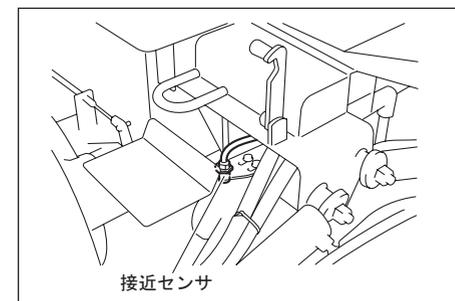
微調整はワイヤで行えます。必ず左右のブレーキの効きが同じになるように調整してください。



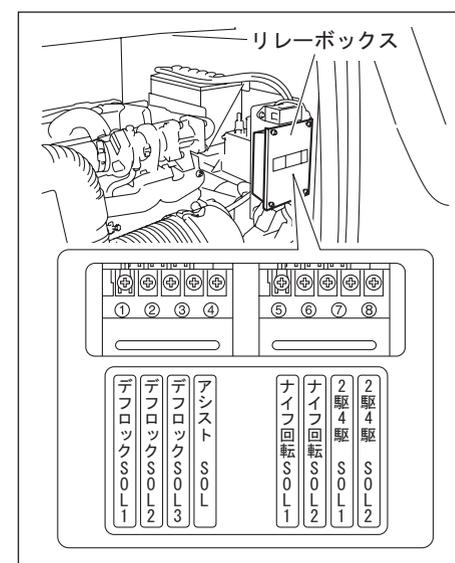
危険 ● 隙間が小さすぎると発熱し火災の原因になります。
● 左右のブレーキの効きが違うと、思わぬ事故をおこす恐れがあります。

6-10 近接センサ・リレーの作動確認

- ・ 近接センサは2個あります。
#4、#5 モアデッキの上昇と下降の位置を検出し、ナイフの回転・停止を行います。
- ・ 作動しているときは、リレーボックス内の赤色のLED (④⑤) が点灯します。



1. ①②③はデフロックバルブを「ON」にしたときに点灯します。
2. ④はトラクションアシストスイッチが「ON」のときに点灯します。
3. ⑤⑥はナイフ回転スイッチが「ON」になり、モアデッキが降りているときに点灯します。
4. ⑦はナイフ回転スイッチが「ON」になったときに点灯し、4 駆になります。
5. ⑧は2WD-4WD 切換スイッチが「4WD」になったときに点灯し、4 駆になります。

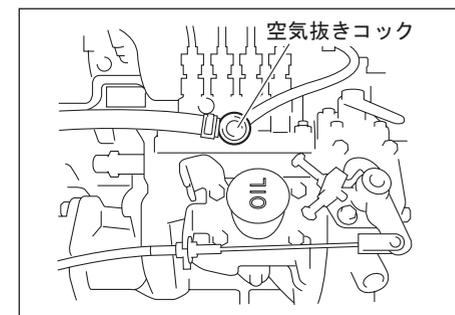


6-11 燃料の空気抜き

自動エア抜きのため、空気抜きの操作は不要です。

※空気抜きコックは、常に全開の状態で使用してください。

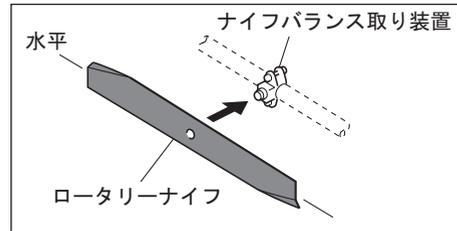
閉じた状態で使用すると、エンジンの原因になります。



7. メンテナンス・デッキ

7-1 ローターナイフの研磨とバランス取り

- 1) ローターナイフの研磨は刃先をグラインダーで研磨してください。
- 2) 研磨後、ナイフバランス取り装置でよく左右バランスを取ってから、使用してください。
- 3) バランス取りは、バランス取り装置を適当な場所に取り付けていただき、ロータリーナイフをバランス取り装置にはめ込んで、左右バランスを取ってください。



警告

- ローターナイフはバランスが崩れたまま使用すると、振動が出て機械が破損します。



注意

- ナイフを研磨するときは、保護メガネをし、手袋をつけて作業してください。



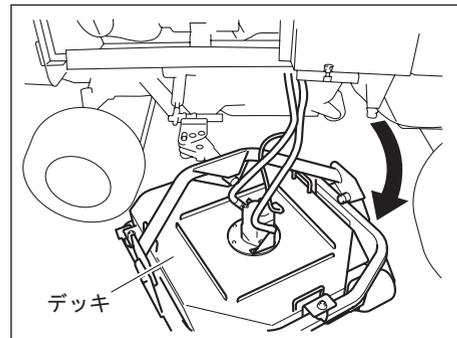
7-2 ローターナイフの交換



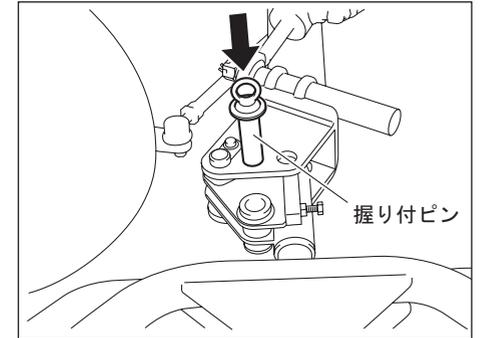
駐車ブレーキを確実にかけ、デッキを全て降ろしエンジンを止め、キーを抜いてから作業してください。

1. # 2、# 3 デッキを起こす

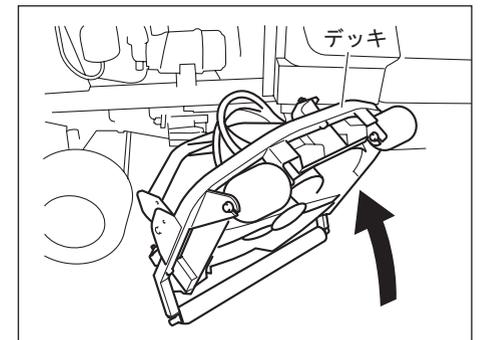
- 1) 握り付ピンを抜き、デッキを横にずらします。



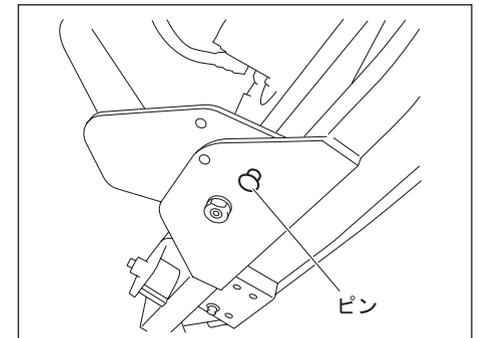
- 2) メンテナンス用の固定孔に握り付ピンを差込みます。



- 3) エンジンをかけ、デッキを上げます。
- 4) エンジンを切って、キーを抜きます。

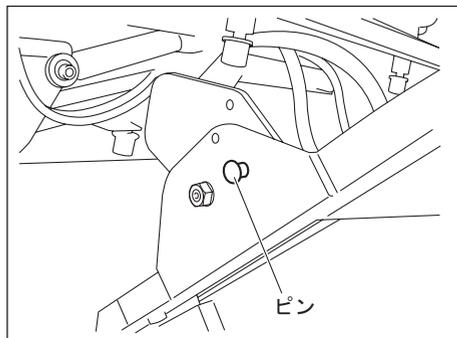
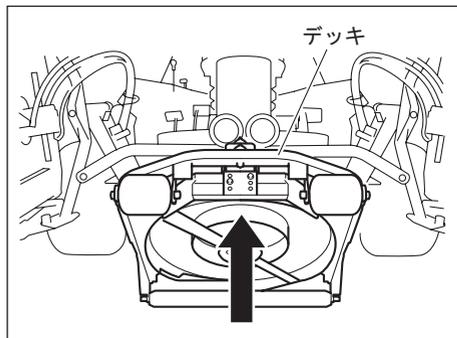


- 5) デッキを前方より持ち上げ、ピンを図の位置にさして固定します。



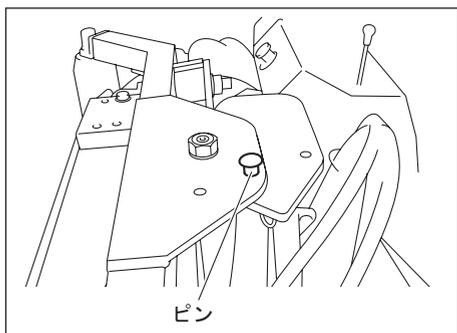
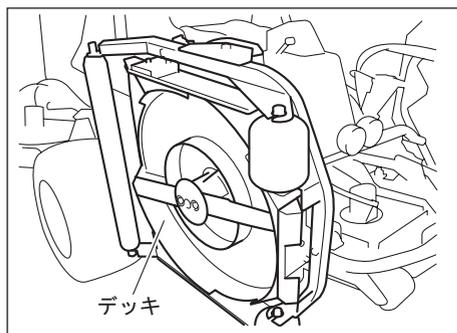
2. #1 デッキを起こす

1) デッキを前方より持ち上げ、ピンを図の位置にさして固定します。



3. #4、#5 デッキを固定する

1) ピンを図の位置にさしてデッキを固定します。



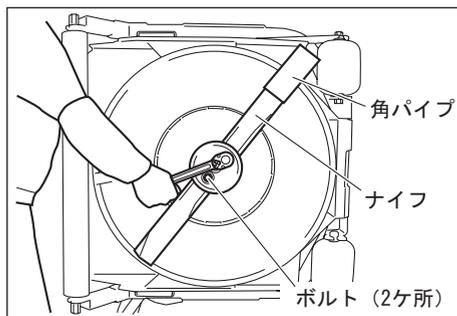
4. ナイフを外す

1) 付属工具の角パイプを使い、ナイフが回らないように固定しナイフ取付ボルト（2本）を外します。

5. ナイフを取付ける

1) 外した逆の手順で取付けます。

6. 作業終了後、ピンを元の位置に戻します。



※ ナイフ取付ボルトの締付トルクは 104 ~ 134 N・m (10.4 ~ 13.4kgf・m) です。



注意

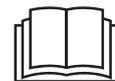
- モア部のベアリング、オイルシール類は1シーズンごとに交換してください

8. メンテナンスの注意

8-1



注意 メンテナンス上の注意



- 実施するメンテナンスを熟知してから行ってください。
- メンテナンスは平坦で乾燥したきれいな場所で行ってください。
- 機械の作動中は、給油やメンテナンスをしないでください。
- 駆動・作動部分には、手足を近づけないでください。
- 駆動・作動部分のメンテナンスは手足が巻込まれないように十分に注意して行ってください。
- すべての駆動を断ち、各コントロールを操作して圧力を解除してください。
- 全部品は、良い状態で正しく取付けてください。
- 損傷部品は、直ちに修理または交換してください。
- 磨耗損傷部品は、必ず交換してください。
- 機械の改造はしないでください。整備上の必要部品は、安全確保のため純正部品を使用してください。
- ゴミやグリース、オイルの付着は取除いてください。
- 電気系統のメンテナンスをする前には、必ずバッテリーのマイナス (-) 配線を外してください。
- 機体を上げたまま作業するときには、安全で確実なサポートをしてください。
- 廃油、部品交換等で不要になった部品などの破棄については各地域の法律に従って処分してください。



8-2



警告 高圧オイルによる被害の防止



- 高圧オイルが皮膚に吹付けられると重大な損傷がおきます。
- 高圧ライン・ホース・継手を外す前に圧力を逃がしてください。
- 運転を始める前にすべての継手の締め金具を確認してください。
- 漏れの点検には、小さな厚紙を使ってください。もし、高圧オイルが皮膚に吹付けられたら2~3時間以内に必ず医師の手当てを受けてください。

8-3 メンテナンススケジュール

◆ メンテナンス等に必要な工具は、目的に合ったものを使用してください。

	メンテナンス作業	使用前	50H 毎	100H 毎	200H 毎	500H 毎	6ヶ月毎
エンジン	エンジンオイルの点検	○					
	エンジンオイルの交換		○(初回)	○			
	オイルフィルタの交換		○(初回)	○			
	ラジエータ、オイルクーラ、ラジエータカバーの清掃	○					
	冷却水の点検	○					
	エアクリーナの点検・清掃	○					
	エアクリーナエレメントの交換					○	
	ファンベルトの点検	○					
	バッテリー液の点検						○
	フューエルフィルタの交換						○
本体	タイヤの点検	○					
	燃料の点検	○					
	油圧作動油の点検	○					
	油圧作動油の交換				○(初回)	○	
	オイルフィルタの交換				○(初回)	○	
	ブレーキの点検	○					
	各部の油漏れ	○					
	各部のゆるみ損傷の点検	○					
	ロータリーナイフの点検	○					
	グリースアップ			○			
ゴミ等の除去	○						

〈メンテナンススケジュールに関する規定値〉

エンジンオイル容量	MAX : 9.7L MIN : 7L	API サービス分類 CD 級以上
冷却水容量	全容量 12L	リザーブタンク 1L 含む
タイヤ空気圧 (標準タイヤ)	前輪 150kPa (1.5kgf/cm ²)	
	後輪 140kPa (1.4kgf/cm ²)	
燃料タンク容量	約 51L	JIS2 号軽油
油圧タンク容量	約 44L	シェルテラス 46 相当品

〈エンジン、油圧関係の主な消耗部品一覧〉

エンジン関係

部品	コード番号
オイルフィルタエレメント	PF16414-3243-0
エアクリーナエレメント	PFR1401-4227-0
ファンベルト	PF17112-9701-0
燃料フィルタカートリッジ	PF15221-4317-0
バッテリー	K3600000180

油圧関係

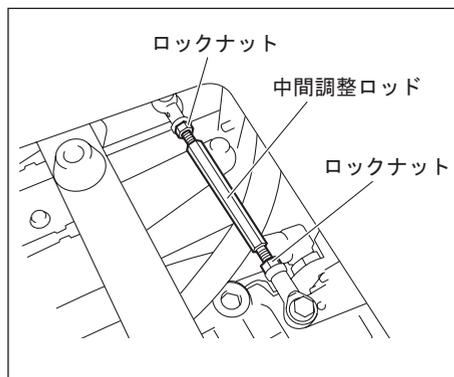
部品	コード番号
油圧フィルタカートリッジ	K3410000030
サクシオンフィルタ	K3413000040

9. 各部の調整

9-1 ピストンポンプの中立位置の調整



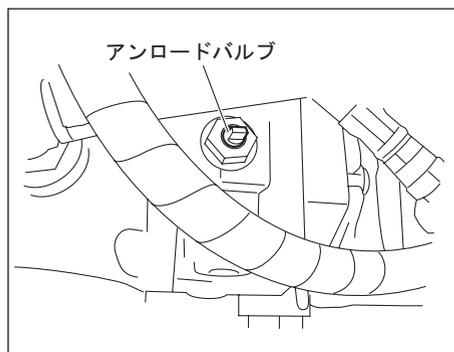
- 1) 本機をジャッキアップし、安定の良い台に乗せて前・後輪を浮かせます。
- 2) シートを上に上げます。
- 3) エンジンを始動、高速回転にし、2WD-4WD 切換スイッチを「2WD」に入れます。
- 4) 前輪が前進方向に回転する場合は、ロックナットを緩め、中立調整ロッドを縮める方向に回します。後進方向に回転する場合は、中立調整ロッドを伸ばす方向に回します。前輪が止まる位置を見つけ、ロックナットを締付けます。



9-2 自走できなくなった場合のけん引



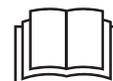
- 1) エンジンがかかっているときは、エンジンを止めてください。
- 2) 駐車ブレーキをかけ、車輪止めをしてください。
- 3) 2WD-4WD 切換スイッチを「2WD」に入れます。
- 4) シートを上に上げます。
- 5) 油圧ポンプ横にあるアンロードバルブを 90 度回転させます。



注意

- けん引するときは十分注意して低速で行ってください。
- エンジンを始動するときは、必ずアンロードバルブを戻してから始動してください。

10. 長期保管について



詳細は、エンジン・バッテリー取扱説明書を参照してください。

1. 泥や草屑、油汚れ等をきれいに落としてください。
2. エンジンオイル、クリーナ・エレメントを点検交換してください。
3. 各注油箇所に、グリース注入と塗布、注油をしてください。 
4. 燃料タンク内の燃料を抜いてください。
5. タイヤの空気圧を標準よりやや高めにし、湿気から守るために板の上に乗せてください。
6. ボルト・ナットの緩み、脱落を点検してください。もし緩み、脱落があれば増締めや補修をしてください。
7. その他各部の不具合箇所、塗装のはげ落ちた箇所は整備してください。
8. 雨のかからぬ乾燥した所に格納してください。
9. バッテリーは本機から取外してください。本機に取付けたまま保管する場合は、アース側（マイナス側）を取外してください。

フロント5連ロータリーモア **GM2800** バロネス芝刈機

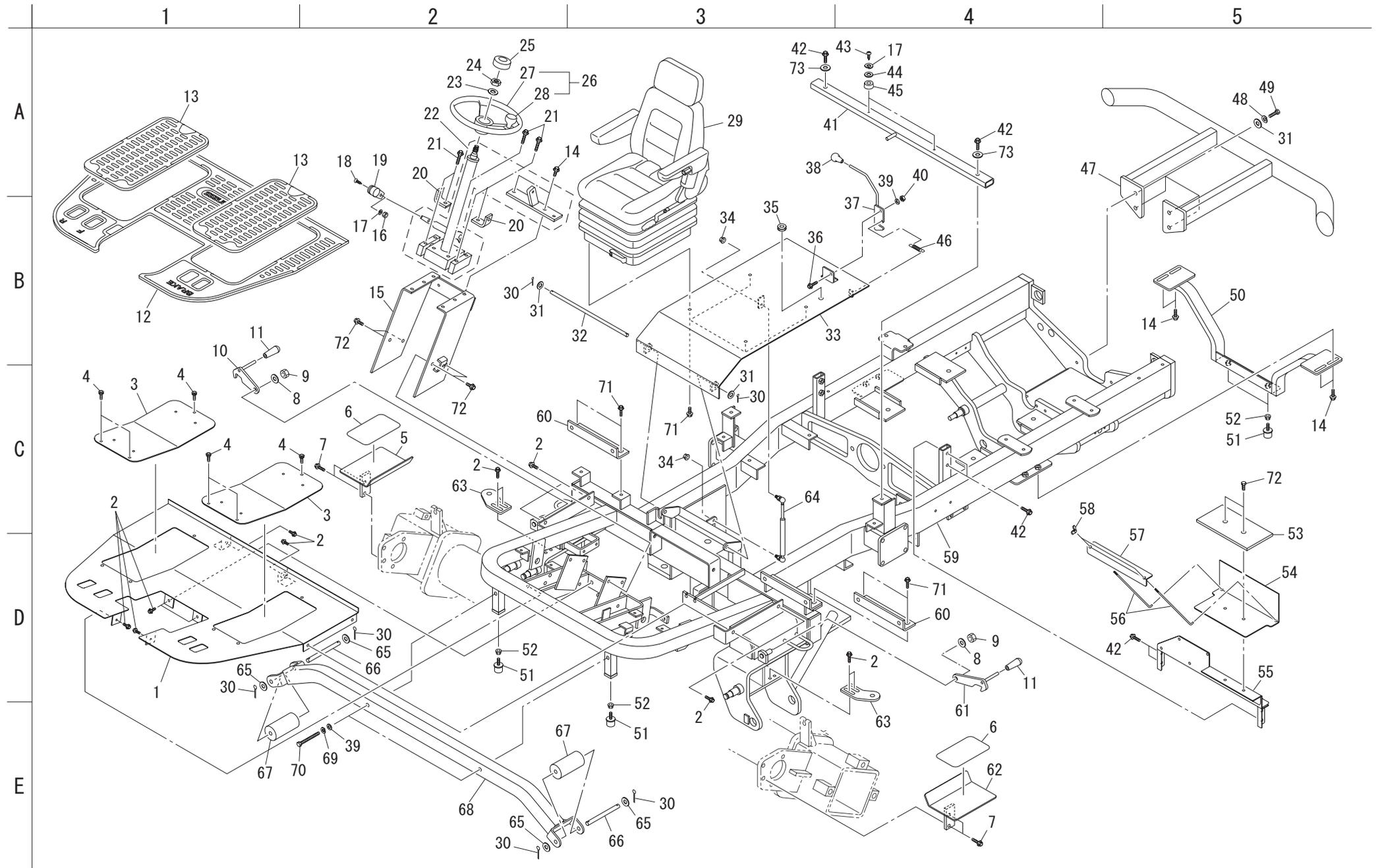
パーツカタログ

☆部品注文について

本パーツ表の部品は電算機にて管理しておりますが、誤送の原因ともなりますので、部品注文の際は必ずカタログ番号、コード番号、部品名称でご注文ください。

(例) カタログ番号	コード番号	部品名称	数量
1-5	GM2800-0624ZD	ステップ右	1

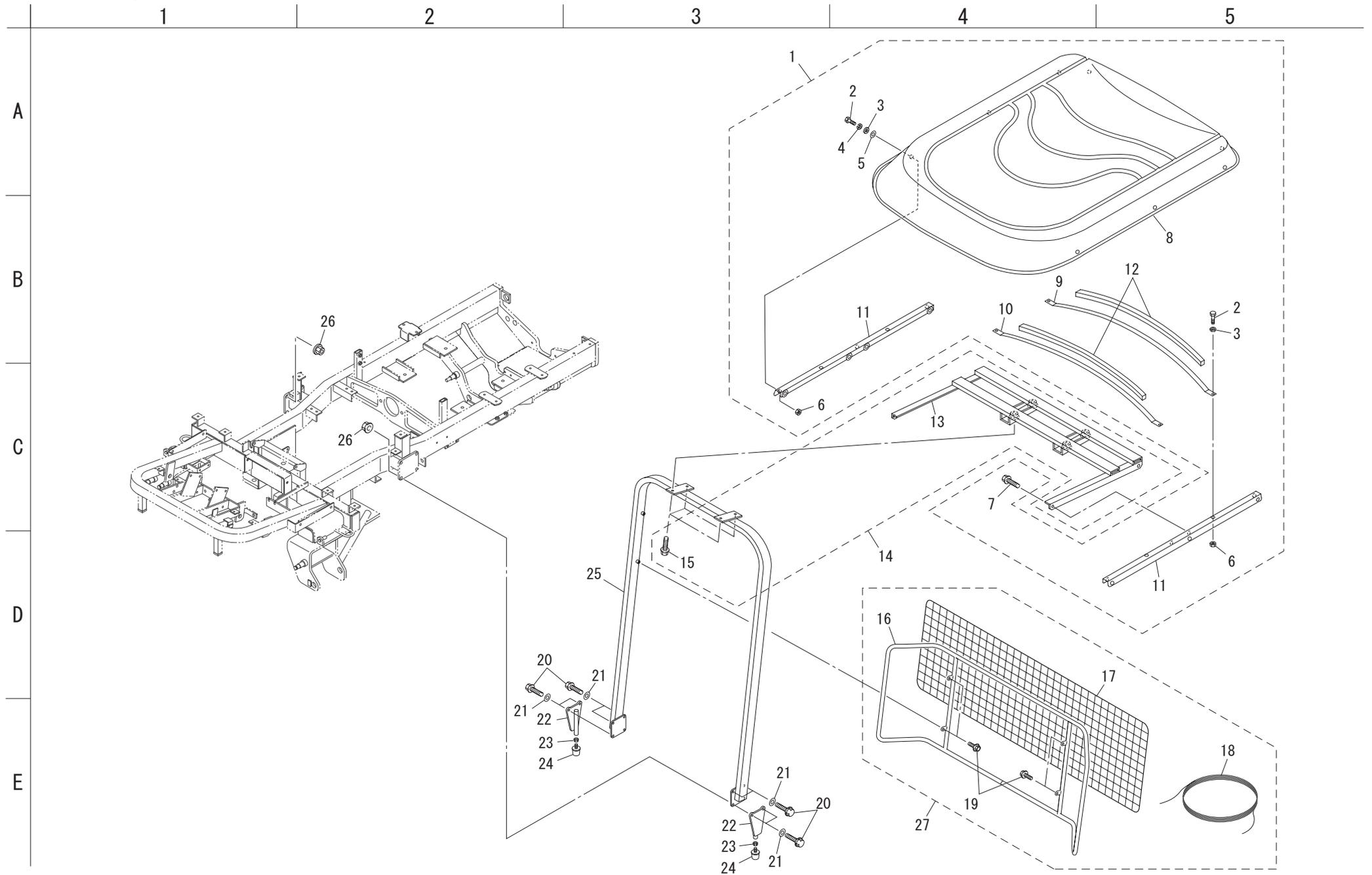
1. フレーム部 A



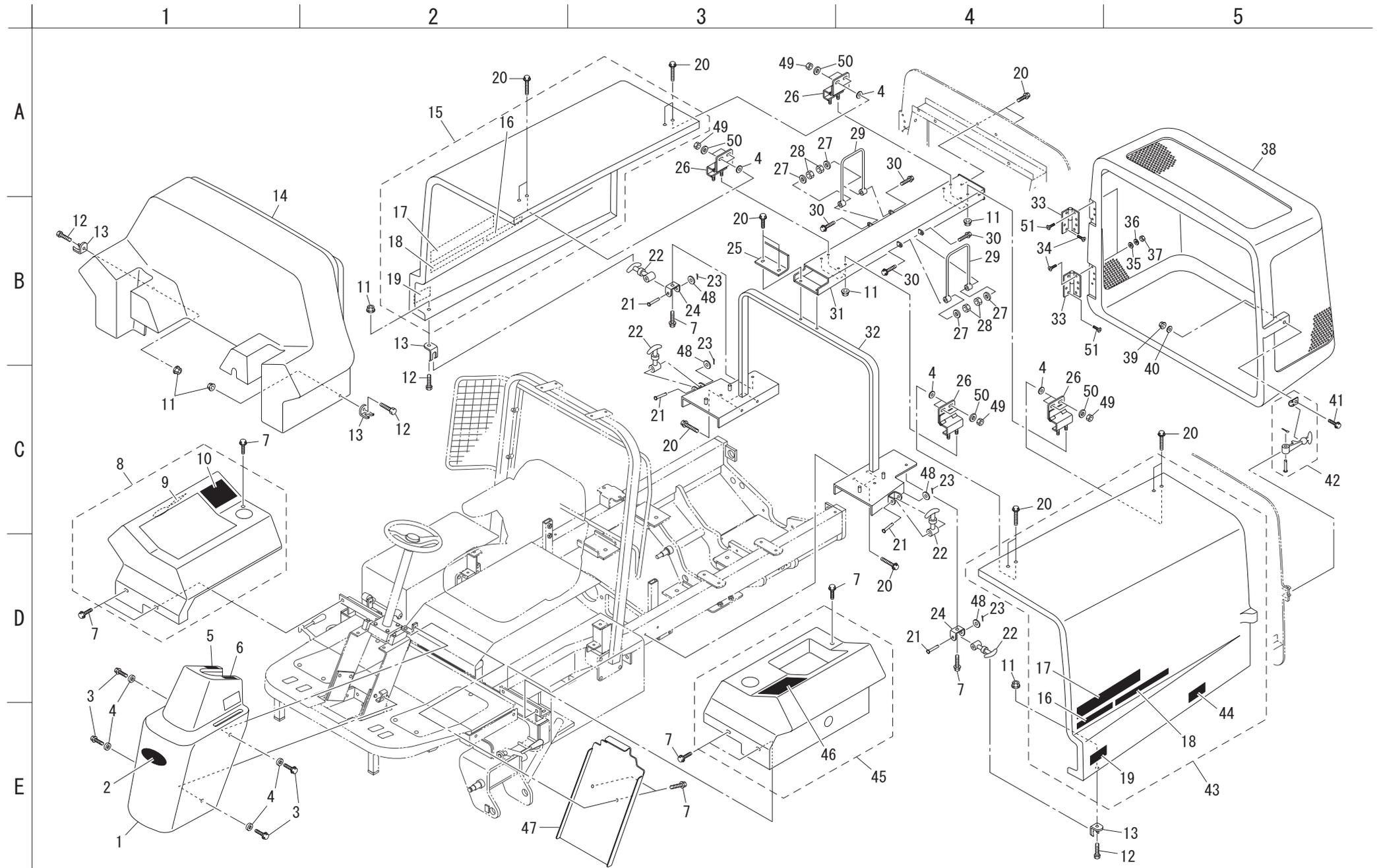
カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
1-1	LM2700-0620AD	ステップ	1	
1-2	K0021080152	8 フランジ付ボルト 15	14	
1-3	LM2700-0621AD	ステップカバー	2	
1-4	K0062080122	8 六角穴付ボタンボルト 12	6	
1-5	GM2800-0624ZD	ステップ右	1	
1-6	K4400000030	ペダルシート 100170	2	
1-7	K0021120302	12 フランジ付ボルト 30	4	
1-8	K0210140002	14 さらばね L	2	
1-9	K0145140002	14U ナット P1.5	2	
1-10	GM2800-0621AD	# 4 ロックレバー	1	
1-11	K1300000110	9 握り黄 22	2	
1-12	GM2800-0630A0	ステップゴム大	1	
1-13	LM2700-0629A0	ステップゴム小	2	
1-14	K0021100202	10 フランジ付ボルト 20	8	
1-15	LM2700-0602ZD	ハンドル取付金	1	
1-16	K0100050002	5 ナット	1	
1-17	K0200050002	5S ワッシャー	3	
1-18	K0042050082	5 + 丸小ねじ 8	1	
1-19	K1301000150	スロットルレバー握り	1	
1-20	LM2700-0931ZD	フロントカバー取付金	2	
1-21	K0021100502	10 フランジ付ボルト 50	8	
1-22	K1730000060	チルト式ステアリングコラム	1	
1-23	K0200140002	14S ワッシャー	1	
1-24	K0103140002	14 ナット P1.5	1	
1-25	K1310000130	ゴムキャップ	1	
1-26	K1710000070	ステアリングノブ付 V027220-0000	1	
1-27	K1710000080	ステアリング V027220-0101	1	
1-28	K1710000090	ノブ Ass'y V027220-0200	1	
1-29	K1700000250	サドル DS85H/90	1	
1-30	K0300032222	3.2 割ピン 22	6	
1-31	K5000120002	12 ワッシャー	6	
1-32	LM2700-0609Z2	12 両孔付軸 333	1	
1-33	GM2800-0606ZD	シート取付金	1	
1-34	K0151080002	8 フランジ付ナット	2	
1-35	K0910000020	ゲロメット C30NG79H	1	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
1-36	K0000100202	10 ボルト 20	1	
1-37	LM2700-0607ZD	レバー	1	
1-38	K1300000040	9 握り黒 35.5	1	
1-39	K5000100002	10 ワッシャー	3	
1-40	K0144100002	10U ナット	1	
1-41	LM2700-0608AD	シート受金	1	
1-42	K0021100302	10 フランジ付ボルト 30	6	
1-43	K0042050152	5 + 丸小ねじ 15	2	
1-44	K5000050002	5 ワッシャー	2	
1-45	K4039000130	ゴム足 TK-3220	2	
1-46	K1030000098	1.6U フックバネ 1266.8	1	
1-47	GM2800-0617ZD	バンパー	1	
1-48	K0200120002	12S ワッシャー	4	
1-49	K0010120302	12 調質ボルト 30	4	
1-50	GM2800-0620ZD	後部デッキストッパー	1	
1-51	K4049050000	ゴムストッパー KI-50	4	
1-52	K0151100002	10 フランジ付ナット	4	
1-53	K4035000140	バッテリー防振ゴム	1	
1-54	GM2800-0603ZD	バッテリー台	1	
1-55	GM2800-0602ZD	バルブ取付金	1	
1-56	GM2800-0605ZD	バッテリー抑えロッド	2	
1-57	GM2800-0604ZD	バッテリー抑え金	1	
1-58	K0140060002	6 ちょうナット	2	
1-59	GM2800-0601AD	フレーム	1	
1-60	GM2800-0627ZD	カバー取付金	2	
1-61	GM2800-0622AD	# 5 ロックレバー	1	
1-62	GM2800-0623ZD	ステップ左	1	
1-63	LM2700-0625ZD	スイッチ取付板	2	
1-64	K3381000010	ガススプリング G25	1	
1-65	K5000140002	14 ワッシャー	4	
1-66	GM2800-0629Z2	ローラー軸 155	2	
1-67	GM2800-0628Z0	ゴムローラー 120	2	
1-68	GM2800-0614ZD	アームガイド	1	
1-69	K0200100002	10S ワッシャー	2	
1-70	K0003101002	10 ボルト 100	2	

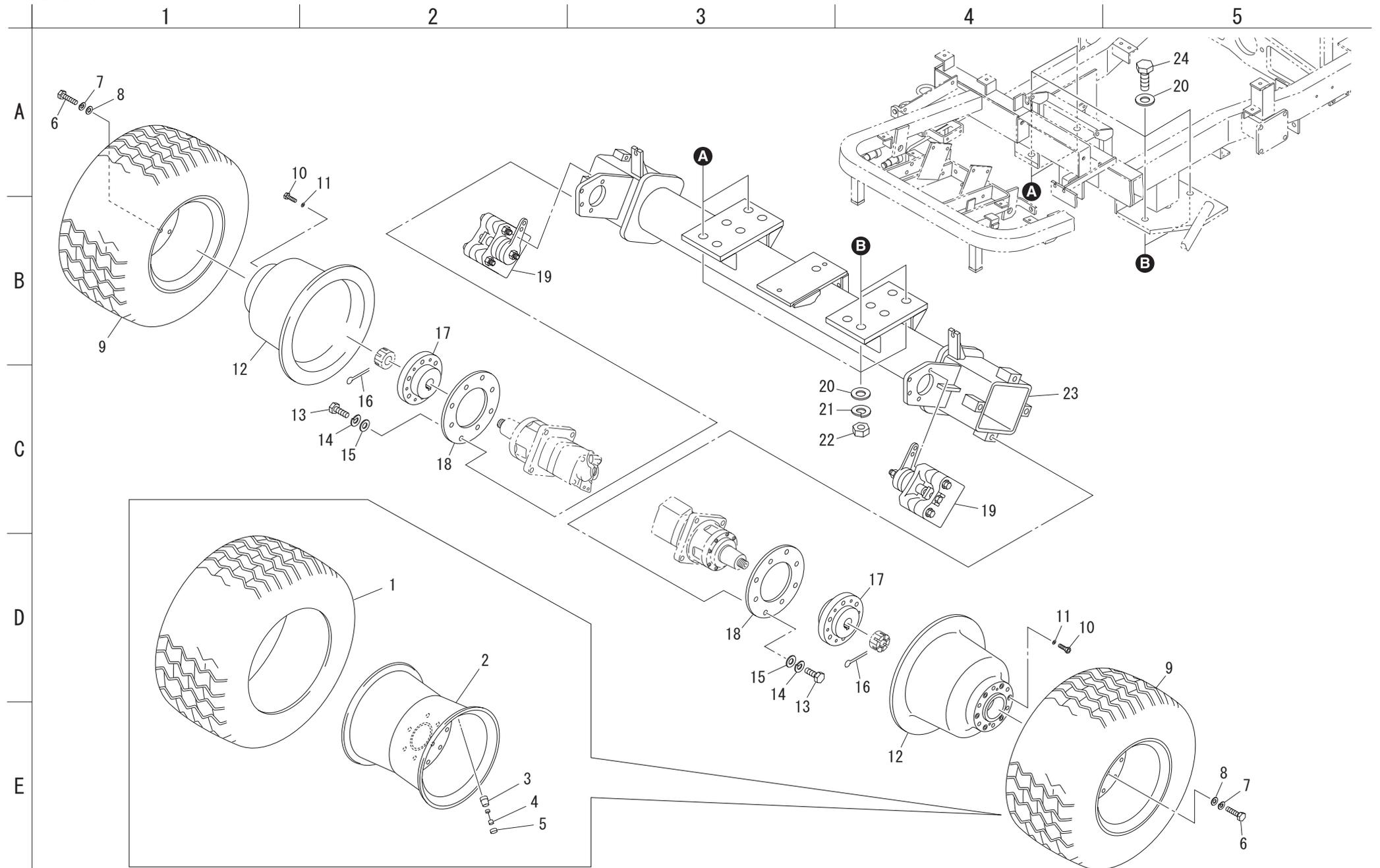
2. フレーム部B



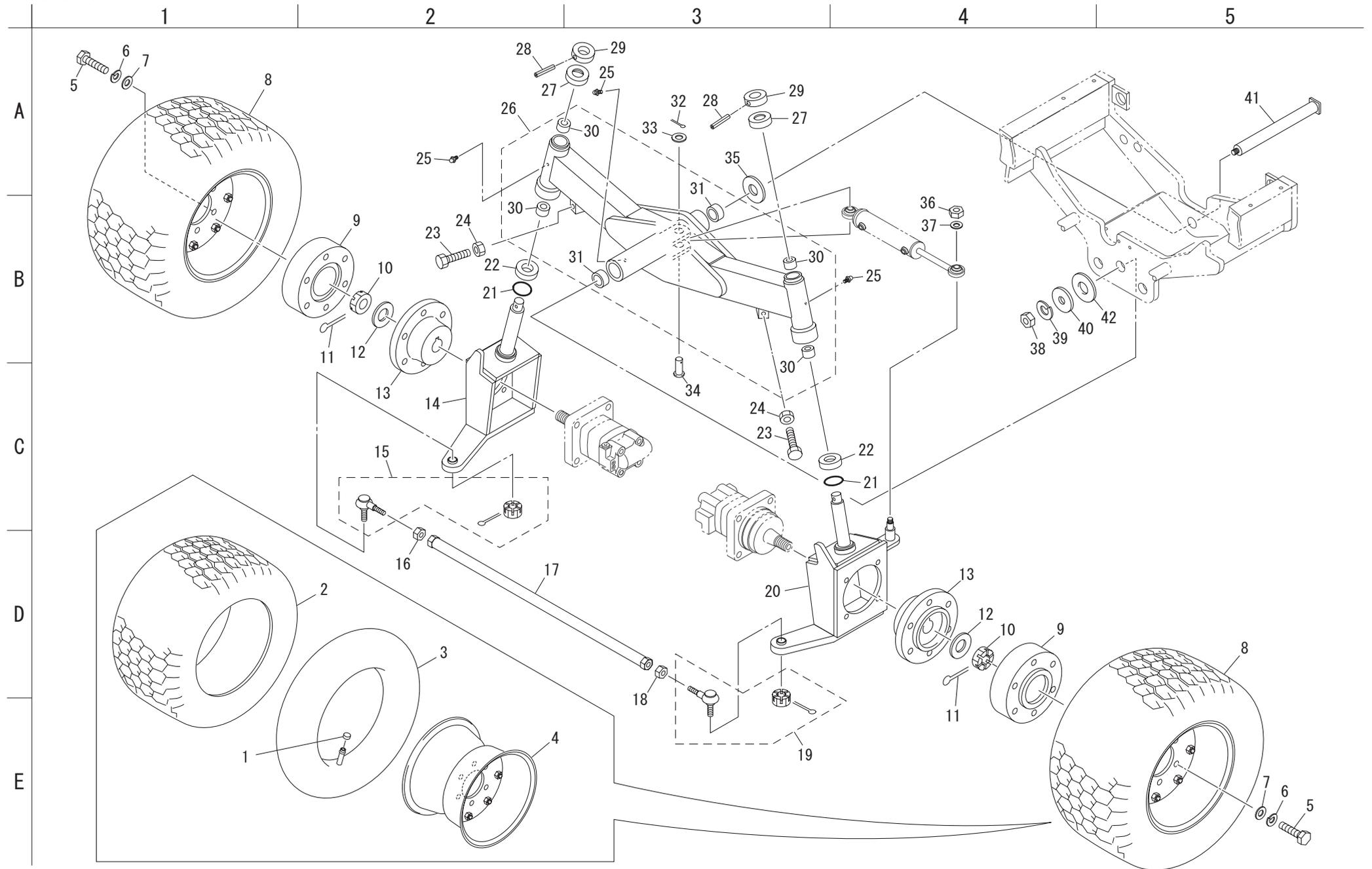
3. カバー部



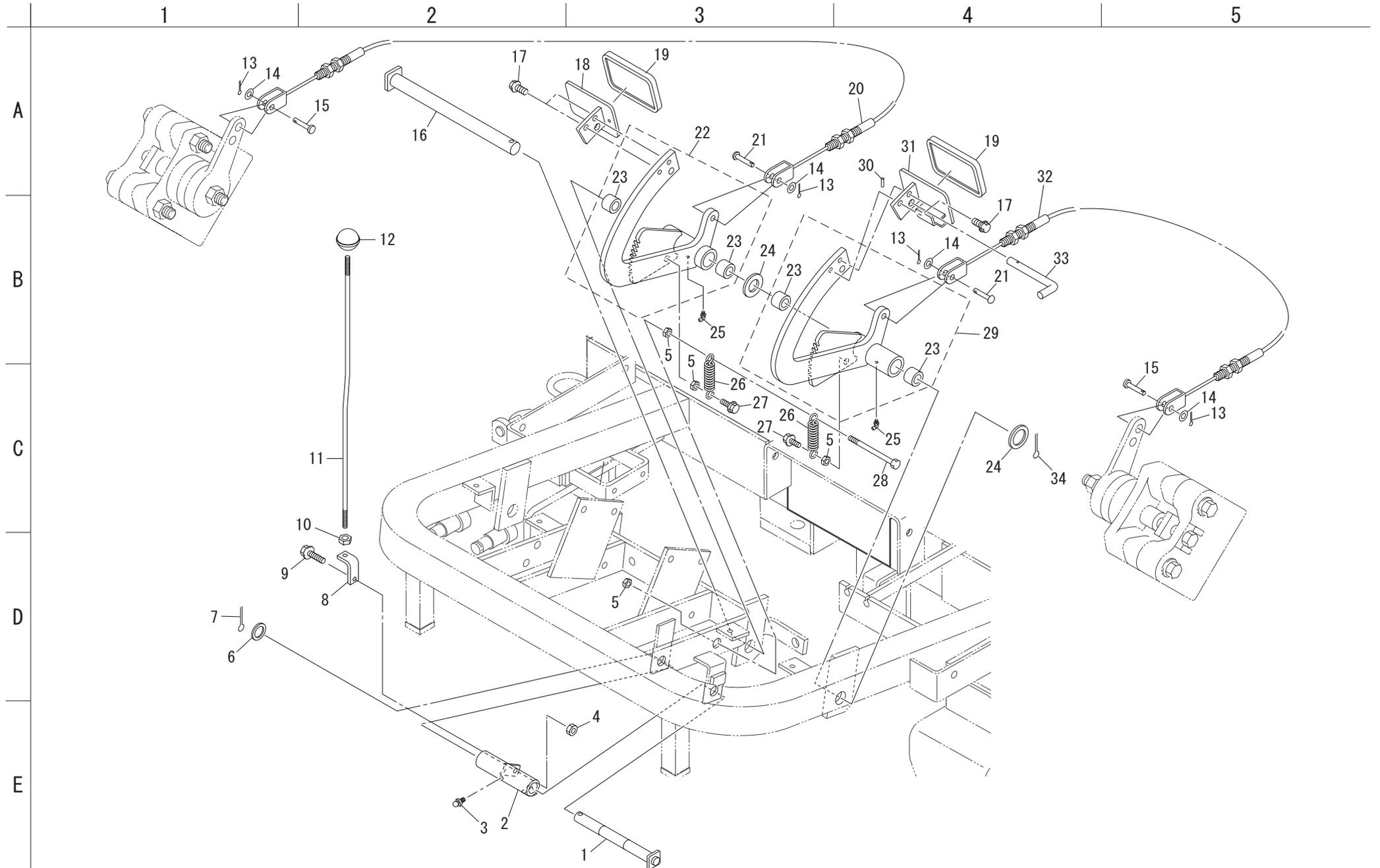
4. 前輪部



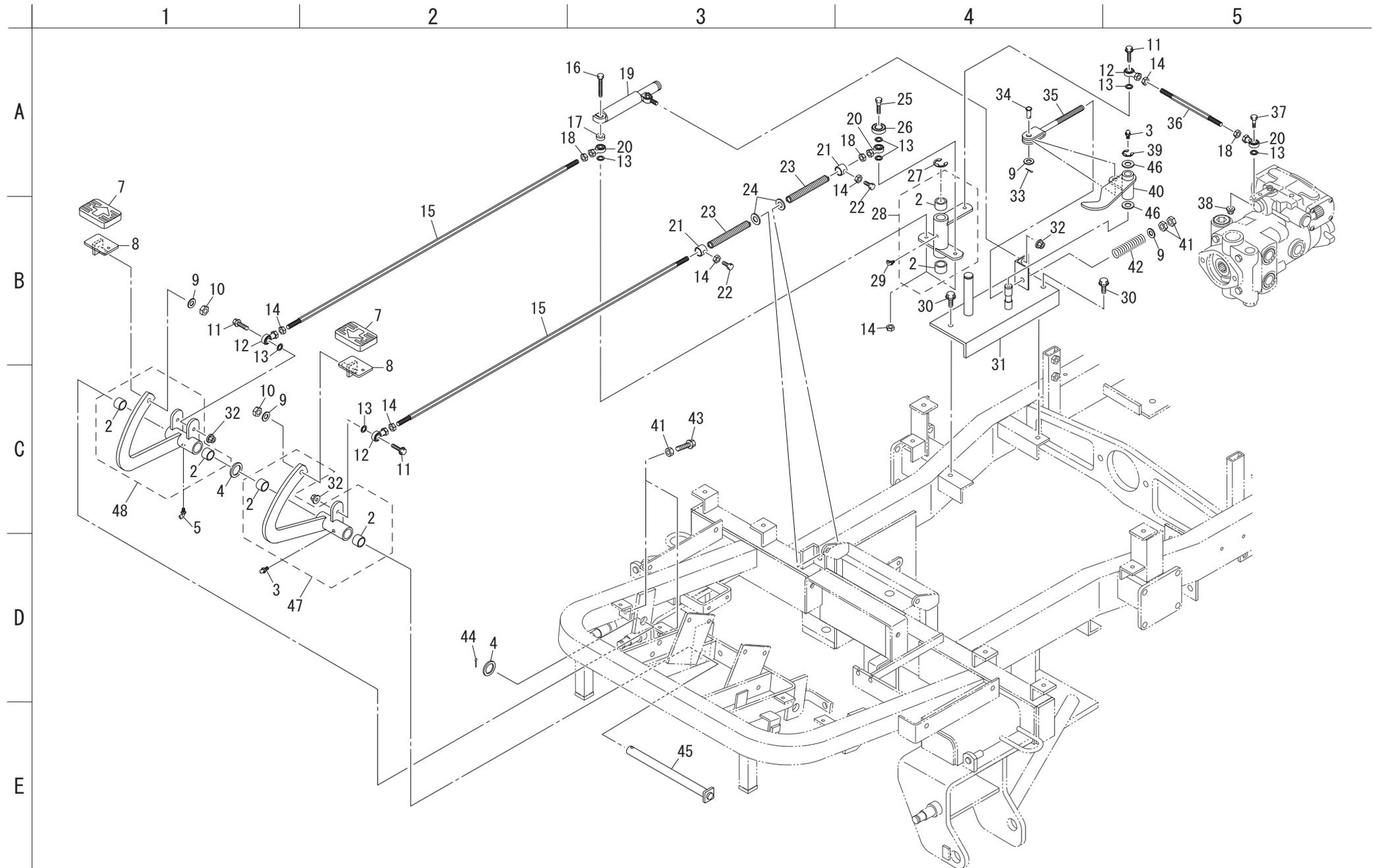
5. 後輪部



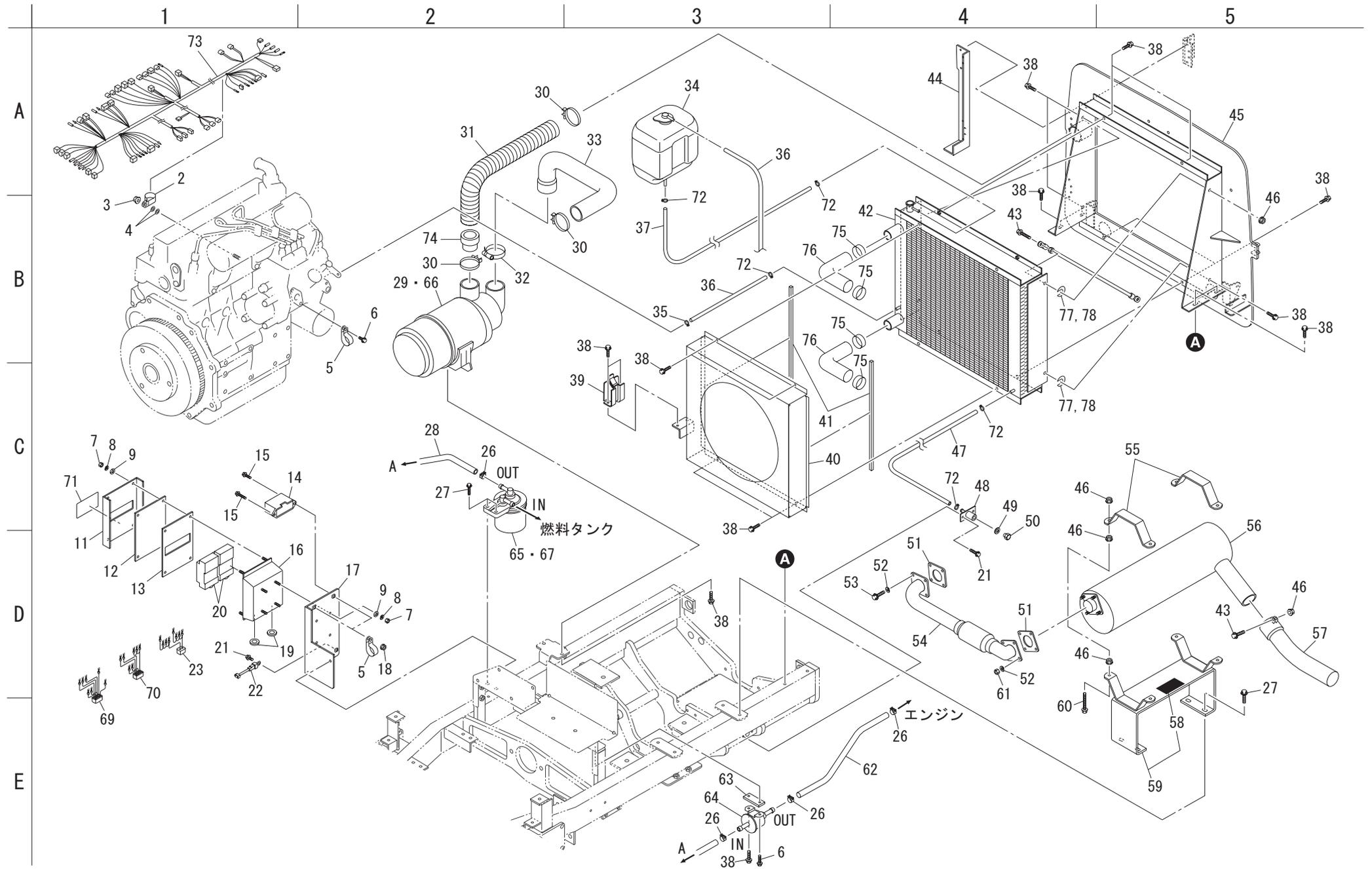
6. ブレーキ部



7. 前後進ペダル部



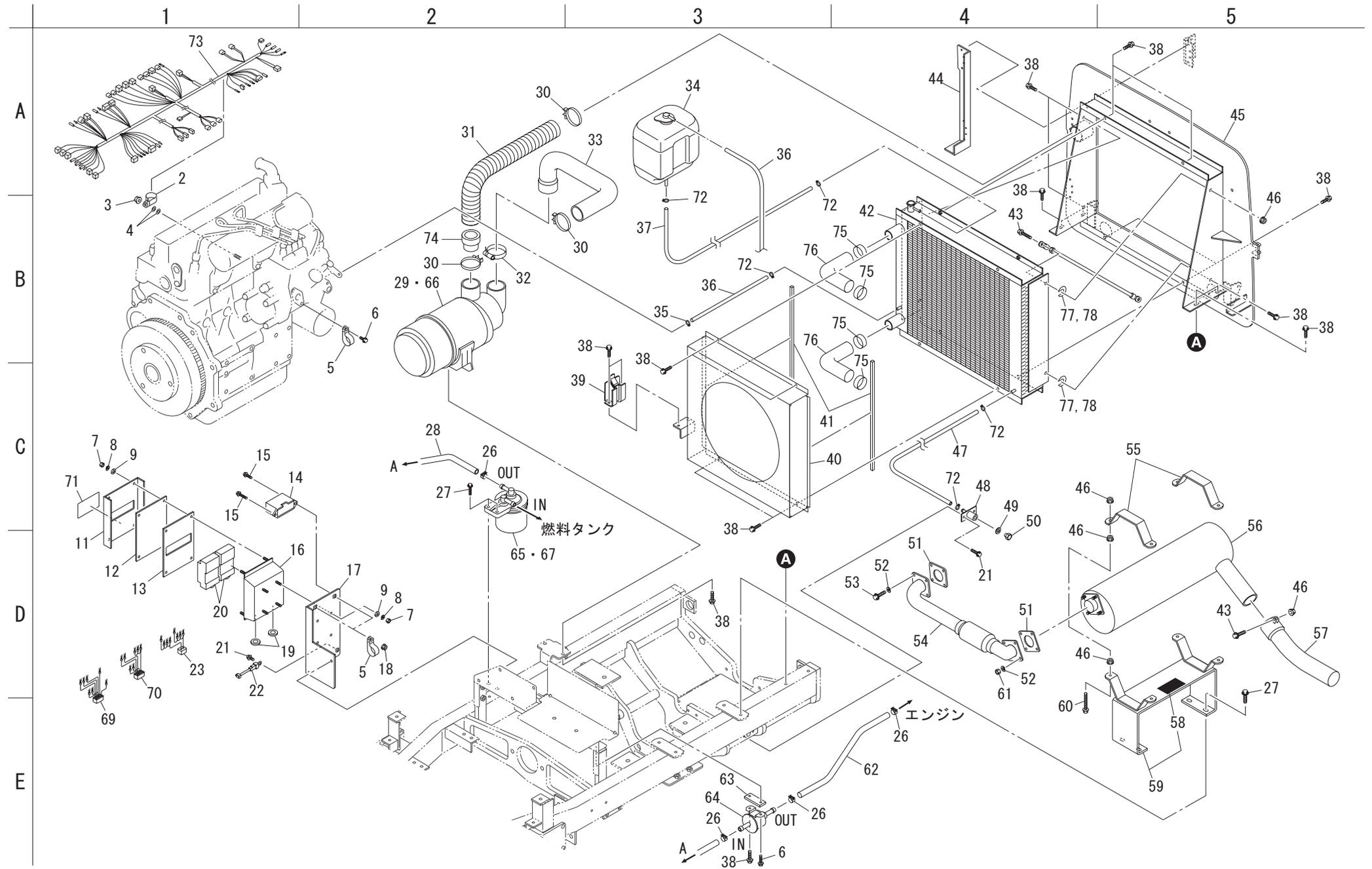
8. エンジン部 A



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
8-1				
8-2	K4281000020	8.5ハーネスクランプ 80	1	
8-3	K0151080002	8 フランジ付ナット	1	
8-4	K5000080002	8 ワッシャー	2	
8-5	K4270022060	22 ハーネスグリップ M6	3	
8-6	K0021060152	6 フランジ付ボルト 15	2	
8-7	K0100050002	5 ナット	8	
8-8	K0200050002	5S ワッシャー	8	
8-9	K5000050002	5 ワッシャー	8	
8-10	GM2800-0529Z0	ボックスフタラベル	1	
8-11	GM2800-0519ZD	ボックスフタ	1	
8-12	GM2800-0518Z0	1.5 アクリル板 134189	1	
8-13	GM2800-0517Z0	1 ゴムパッキン 134189	1	
8-14	K3630000090	ミニヒューズブロック 10P-A	1	
8-15	K0021060302	6 フランジ付ボルト 30	2	
8-16	GM2800-0516ZD	リレーボックス	1	
8-17	GM2800-0522AD	リレー取付金	1	
8-18	K0151060002	6 フランジ付ナット	2	
8-19	K0900300160	膜付グロメット C30SG16A	2	
8-20	K3680000030	ターミナルリレー G6B-4CB	2	
8-21	K0021060102	6 フランジ付ボルト 10	3	
8-22	K3630000150	ヒューズブルリンク	1	
8-23	GM2800-0511Z0	リレー配線 C	1	
8-24				
8-25				
8-26	K4260000172	ホースクランプ KS-11-19	4	
8-27	K0021080202	8 フランジ付ボルト 20	6	
8-28	K3180008000	燃料ホース FUEL8 × 1B800	1	
8-29	PF1G369-1101-1	エアークリーナ	1	
8-30	K4261036000	4669 クランプ	3	
8-31	K3170107500	65 バンナー A ホース 750	1	
8-32	K4261044000	パーカークランプ 29-76	1	
8-33	GM2800-0524Z0	エアクリーナーホース	1	
8-34	PF15501-7240-4	リザーブタンク	1	
8-35	K4260000130	ホースクランプ 14	1	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
8-36	GM2800-0528Z0	ドレンホース 700	2	
8-37	GM2800-0527Z0	ドレンホース 950	1	
8-38	K0021080152	8 フランジ付ボルト 15	20	
8-39	PF15521-7246-2	リザーブタンク ステア	1	
8-40	GM2800-0508AD	シュラウド	1	
8-41	K4220000230	10 ウレタンスポンジ 10500	2	
8-42	GM2800-0501Z0	ラジエータ	1	
8-43	K0021080302	8 フランジ付ボルト 30	2	
8-44	GM2800-0523ZD	ガイド板	1	
8-45	GM2800-0502BD	ラジエータ取付枠	1	
8-46	K0151080002	8 フランジ付ナット	14	
8-47	GM2800-0526Z0	ドレンホース 300	1	
8-48	LM2700-0561Z2	TER39280AB ジョイント	1	
8-49	LM2700-0562Z0	パッキン	1	
8-50	LM2700-0563Z0	ドレンプラグ	1	
8-51	PF17326-1223-1	マフラガスカート	2	
8-52	K0200080002	8S ワッシャー	8	
8-53	K0000080202	8 ボルト 20	4	
8-54	GM2800-0507ZU	マフラー排気管	1	
8-55	LM2700-0524ZU	マフラー取付板	2	
8-56	PF17234-1211-1	マフラ	1	
8-57	GM2800-0521ZU	テールパイプ	1	
8-58	K4205001540	高温部注意ラベル	1	
8-59	GM2800-0534Z0	マフラー取付台 COMP	1	
8-60	K0021080502	8 フランジ付ボルト 50	4	
8-61	K0100080002	8 ナット	4	
8-62	K3180005000	燃料ホース FUEL8 × 1B500	1	
8-63	PF66591-5456-3	ボウシンゴム	1	
8-64	PFR1401-5135-1	燃料送油ポンプ	1	
8-65	PF15224-4301-3	フューエルフィルタ	1	
8-66	PFR1401-4227-0	エアークリーナエレメント	1	
8-67	PF15221-4317-0	フィルタ, エレメント	1	
8-68				
8-69	GM2800-0536Z0	リレー配線 A	1	
8-70	GM2800-0537Z0	リレー配線 B	1	

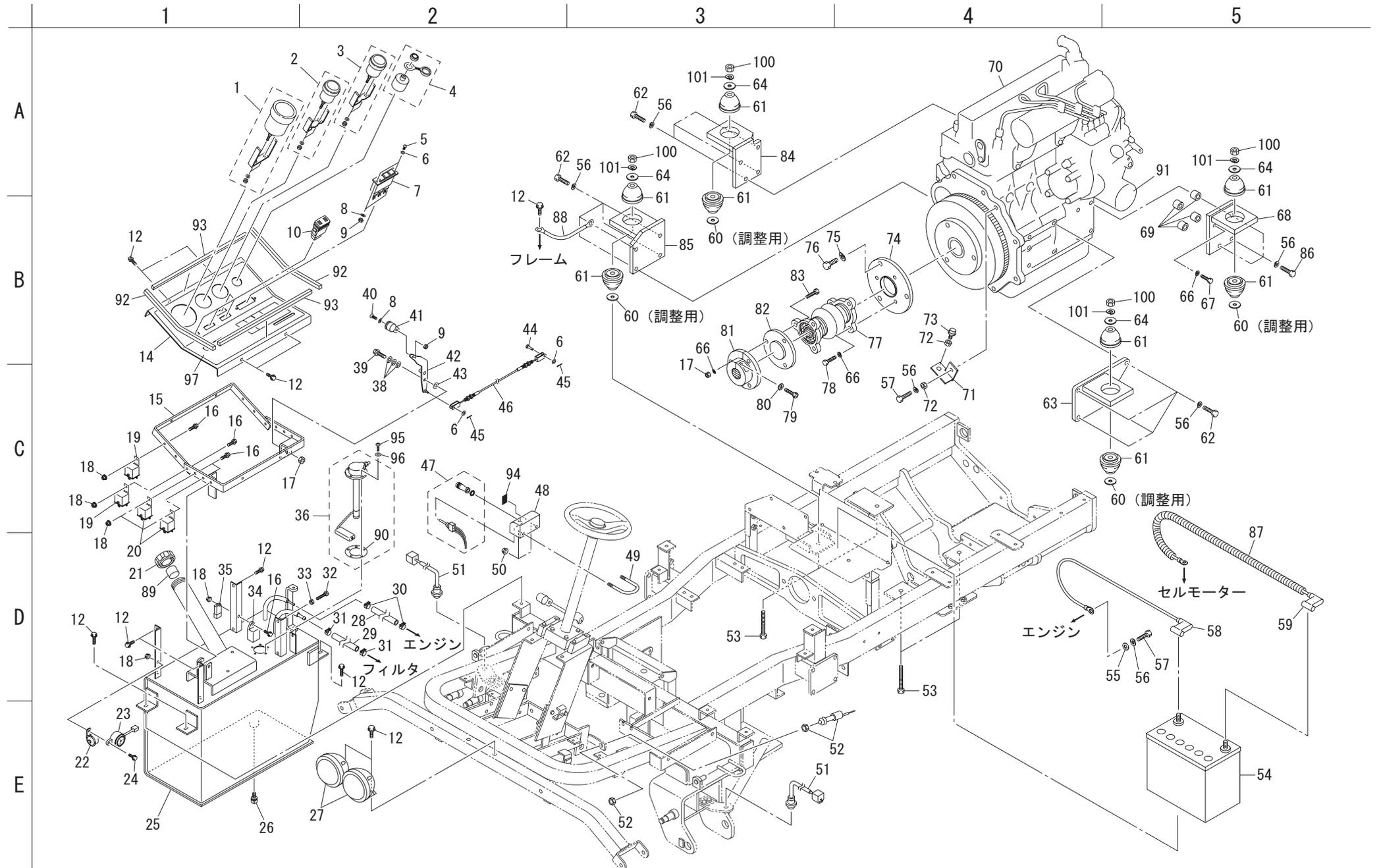
8. エンジン部 A



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
8-71	GM2800-0538Z0	ボックスフタラベル	1	
8-72	K4260000150	ホースクランプ12	5	
8-73	GM2800-0561Z0	メイン配線	1	
8-74	K3773000650	65 バンナー A 口元カフス	1	
8-75	K4260000200	ジュビリーバンド2A	4	
8-76	PFR1401-42363	ホース	2	
8-77	GM2800-0563Z2	1 スペーサー	2~4	
8-78	GM2800-0564Z2	0.4 スペーサー	2~4	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考

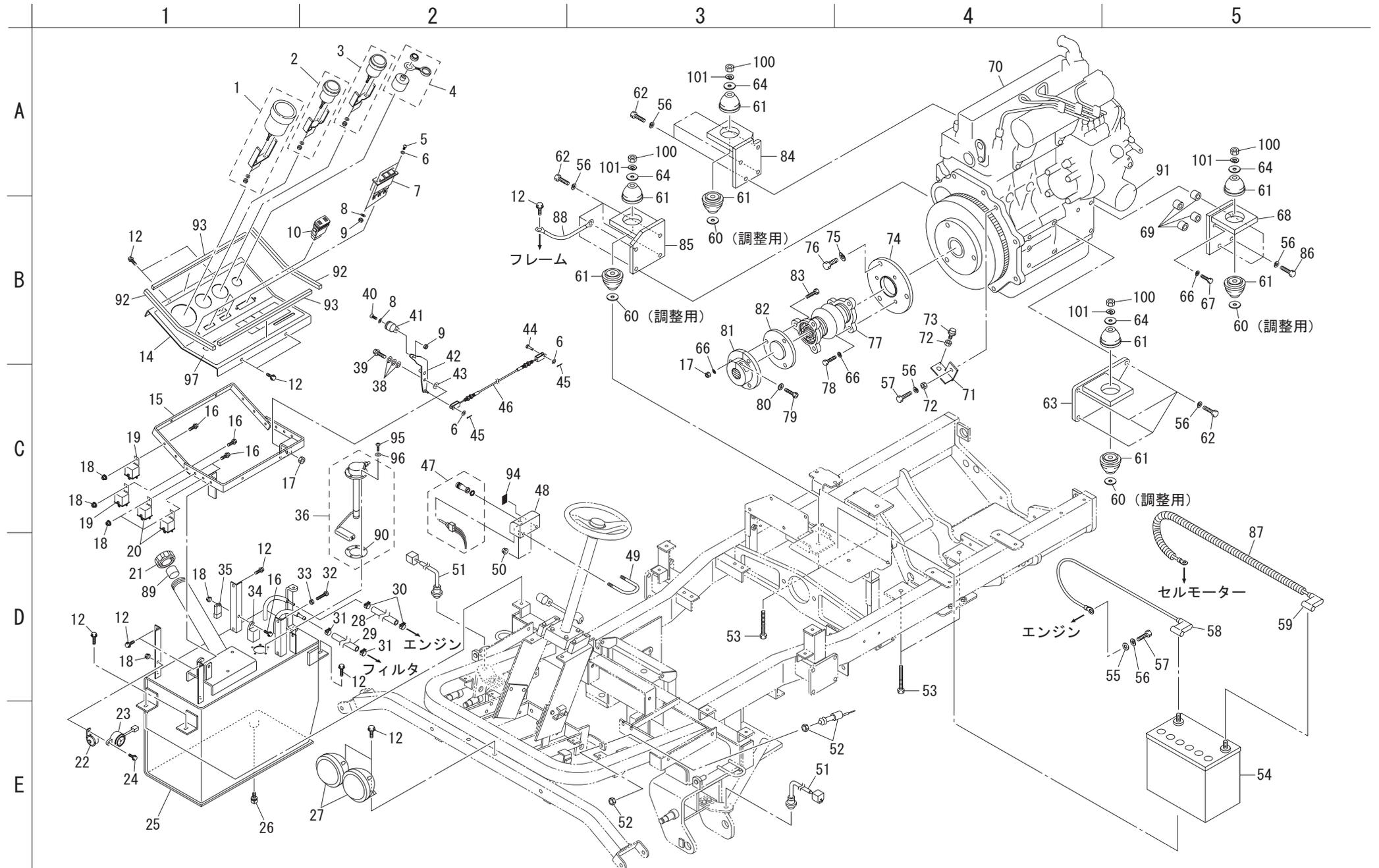
9. エンジン部 B



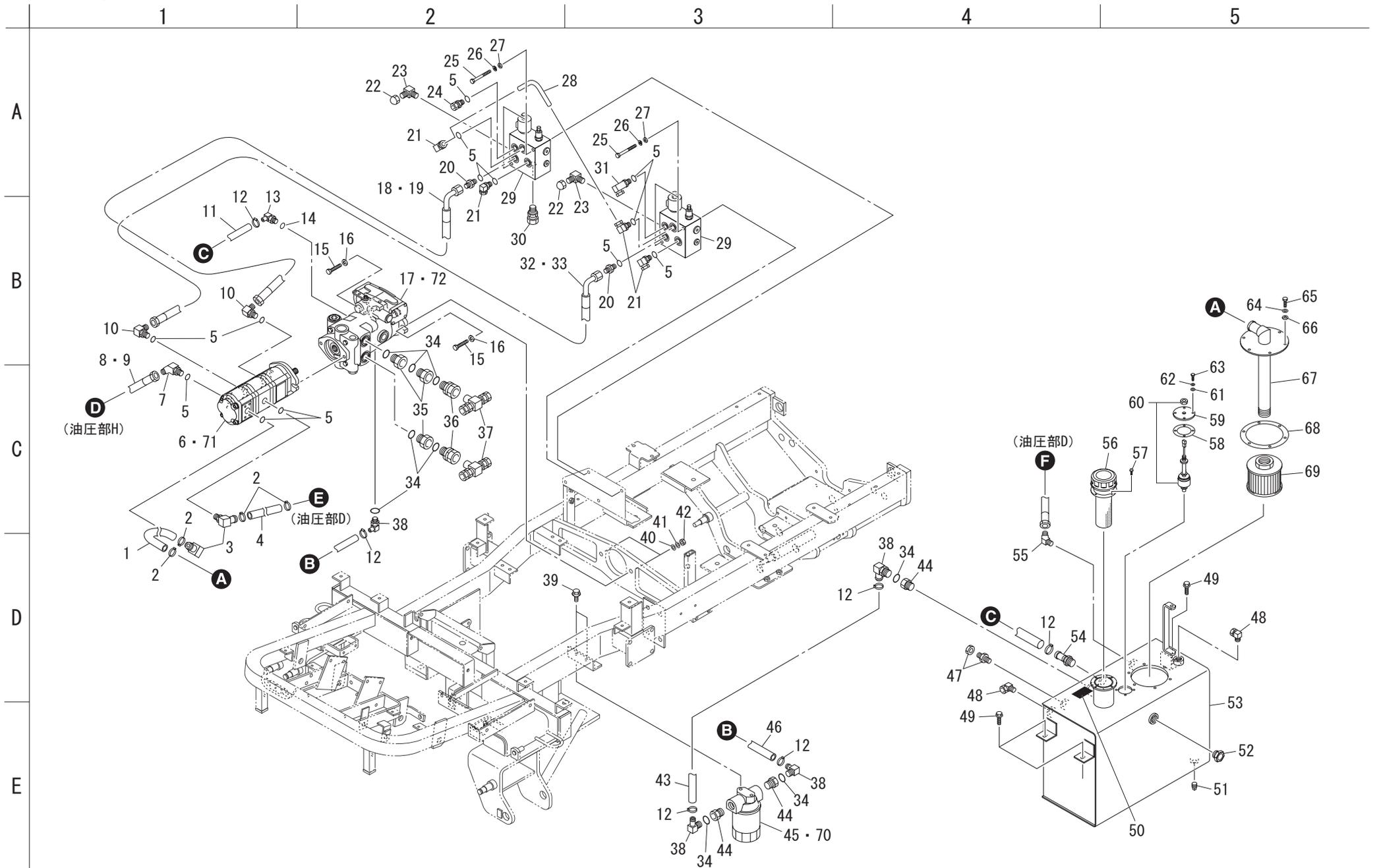
カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
9-1	PF17492-8301-2	アワメータ Ass'y	1	
9-2	PF19488-8303-2	水温計	1	
9-3	K3653000010	燃料計 52BG2	1	
9-4	PF15248-6359-2	スタータスイッチ	1	
9-5	K0042050122	5+丸小ねじ 12	2	
9-6	K5000050002	5 ワッシャー	4	
9-7	K3641000040	パイロットランプ	1	
9-8	K0200050002	5S ワッシャー	3	
9-9	K0100050002	5 ナット	3	
9-10	K3661000050	シーソースイッチ	4	
9-11				
9-12	K0021080152	8 フランジ付ボルト 15	13	
9-13				
9-14	LM2700-0938ZD	計器取付板	1	
9-15	LM2700-0937ZD	計器取付枠	1	
9-16	K0021060202	6 フランジ付ボルト 20	4	
9-17	K0100100002	10 ナット	3	
9-18	K0151060002	6 フランジ付ナット	5	
9-19	K3681000080	パワーリレー MR5A602A1K	2	
9-20	K3681000070	パワーリレー MR5A411A1K	2	
9-21	K1410000070-Y	フィラキャップ Ass'y	1	
9-22	K3700000030	ブザー EBS-12 型ステー付	1	
9-23	K3700000010	ブザー EBM-12 型	1	
9-24	K0021060302	6 フランジ付ボルト 30	1	
9-25	GM2800-0701AD-Y	フュエルタンク	1	
9-26	K1421060002-Y	四角頭付テーパプラグ PT3/8	1	
9-27	K3640000060	ワークランプ V31623A	2	
9-28	K3182019000	燃料ホース FUEL4 × 1B1900	1	
9-29	K3180008000	燃料ホース FUEL8 × 1B800	1	
9-30	K4260000150	ホースクランプ 12	2	
9-31	K4260000172	ホースクランプ KS-11-19	2	
9-32	K0000080402	8 ボルト 40	1	
9-33	K0100080002	8 ナット	1	
9-34	PF15694-6599-2	グローランプタイマ	1	
9-35	PF1K574-6022-1	リレーコンブ	1	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
9-36	K2721000090	タンクユニット 180 × 195	1	
9-37				
9-38	K0210100001	10 さらばね L	3	
9-39	K0001100302	10 ボルト 30P1.25	1	
9-40	K0042050082	5+丸小ねじ 8	1	
9-41	K1301000150	スロットルレバー握り	1	
9-42	LM2700-0560Z2	スロットルレバー	1	
9-43	K5000100002	10 ワッシャー	1	
9-44	K6030050152	5 平頭ピン 15	1	
9-45	K0300016102	1.6 割ピン 10	2	
9-46	K1110168020	スロットルワイヤー 1680	1	
9-47	K3662000030	オートリタン式スイッチ ET115G	1	
9-48	LM2700-0552ZD	スイッチ BOX	1	
9-49	K0073000052	U ボルト M8 × 40A	1	
9-50	K0151080002	8 フランジ付ナット	2	
9-51	K3720000120	近接センサー E2E-X5E2	2	
9-52	K3671000150	セーフティスイッチ V17680A	1	
9-53	K0013121102	12 調質ボルト 110	4	
9-54	K3600000180	バッテリー FX105D31R	1	
9-55	K5000120002	12 ワッシャー	1	
9-56	K0200120002	12S ワッシャー	17	
9-57	K0002120202	12 ボルト 20P1.25	2	
9-58	K3611000390	バッテリーアースコード 850	1	
9-59	K3610000320	+バッテリー配線 1400	1	
9-60	K5011613402	1.6SPCC 座金 1340	4	調整用
9-61	K4042000100	エンジンマウント	8	
9-62	K0012120352	12 調質ボルト 35P1.25	12	
9-63	LM2700-0504ZD	エンジンブラケット C	1	
9-64	K5076012402	6SPHC 座金 1240	4	
9-65				
9-66	K0200100002	10S ワッシャー	7	
9-67	K0011100502	10 調質ボルト 50P1.25	1	
9-68	GM2800-0525ZD	エンジンブラケット D	1	
9-69	K6212000542	12.8STKM カラー 2220	4	
9-70	GM2800-0530ZO	V2003-M-T-B-LMKY	1	

9. エンジン部 B



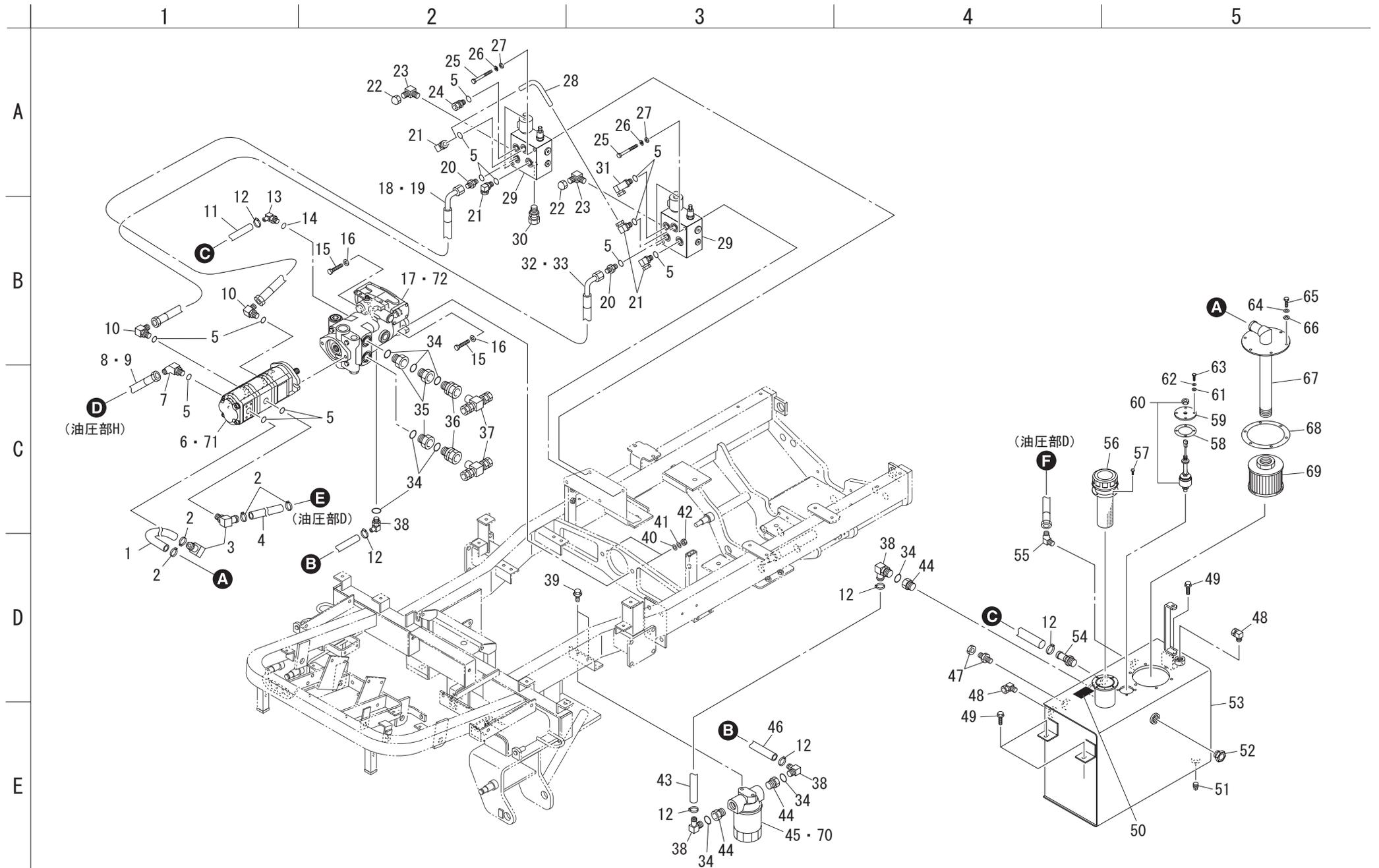
10. 油压部 A



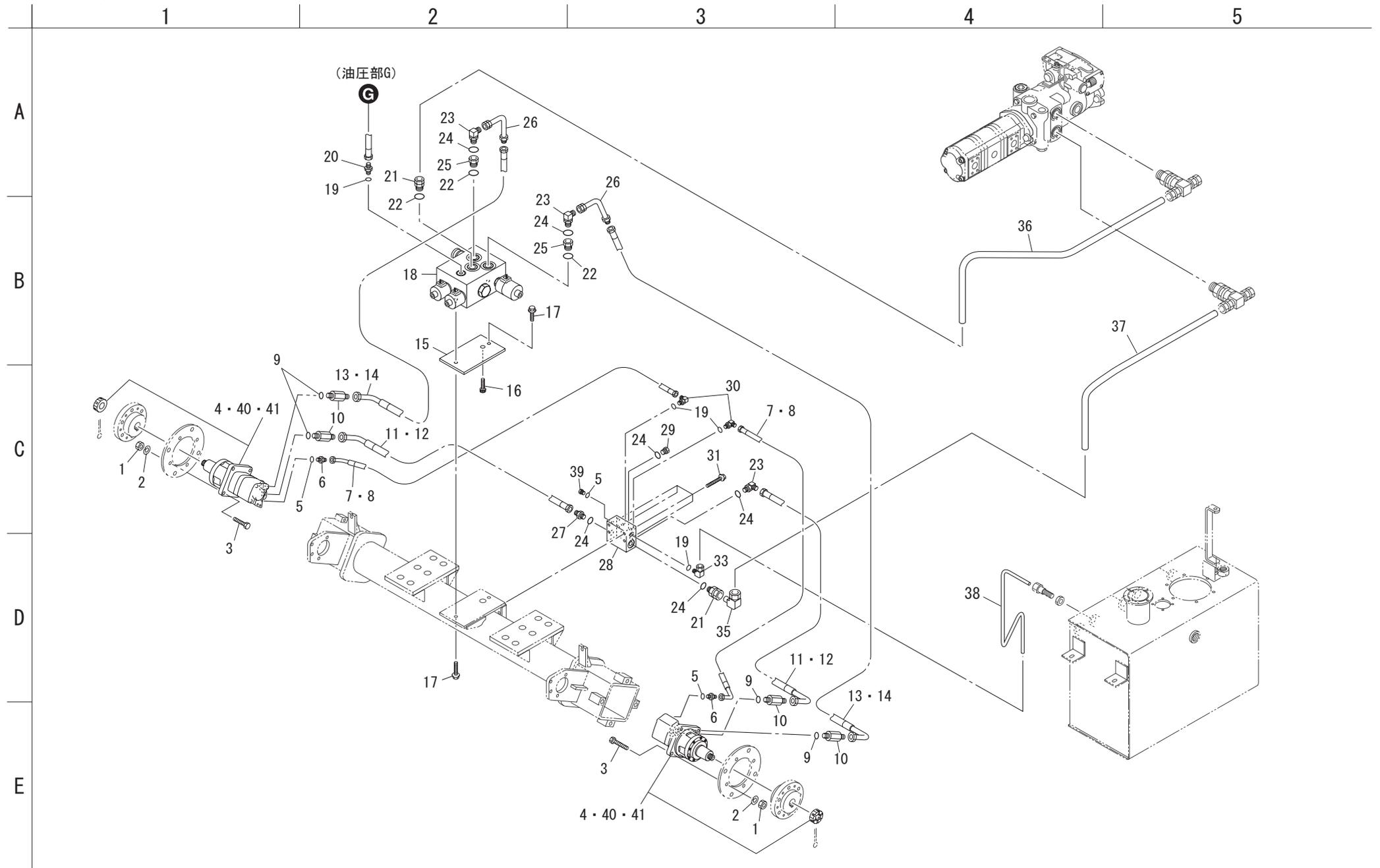
カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
10-1	GM2800-0843ZO	38 サクシオンホース 550	1	
10-2	K4260000200	ジュビリーバンド 2A	4	
10-3	K3008000212-Y	エルボニップル FPD2576	2	
10-4	GM2800-0844ZO	38 サクシオンホース 420	1	
10-5	K0881018000	0 リング P18B	13	
10-6	K3252000060	ギヤポンプ PBBBB442RK159	1	
10-7	K3008000412-Y	45 異径エルボ PF3/8PF1/2	1	
10-8	K3103311300	WP140-9 ホース 1-1300	1	
10-9	K3191012000	SP-15 コイルチューブ 1200	1	
10-10	K3008000042-Y	90 アジャスタエルボ 1086-12	2	
10-11	GM2800-0846ZO	25 サクシオンホース 750	1	
10-12	K4260000190	ジュビリーバンド 1	6	
10-13	K3008000302-Y	アジャスタブルエルボ FPD21941	1	
10-14	K0887009120	0 リング AS568-912	1	
10-15	K0013120502	12 調質ボルト 50	2	
10-16	K5073212302	3.2SPHC 座金 1230	2	
10-17	K3244000030	ピストンポンプ 72400	1	
10-18	K3105430540	WP210-12 ホース 3-540	1	
10-19	K3191004400	SP-15 コイルチューブ 440	1	
10-20	K3009000092-Y	特殊アダプター PF1/2PF1/2	2	
10-21	K3026416081-Y	エルボニップル KL016-040E	4	
10-22	K3008000482-Y	ネジキャップメス PF1/4	2	
10-23	K3008000442-Y	90 アジャスタエルボ-1086-6	2	
10-24	K3026316081-Y	コネクタ KC016-040E	1	
10-25	K0003101002	10 ボルト 100	4	
10-26	K0200100002	10S ワッシャー	4	
10-27	K5000100002	10 ワッシャー	4	
10-28	GM2800-0815Z2-Y	配管 G	1	
10-29	K3313000370	ソレノイドバルブ V5341COMP	2	
10-30	K3026325121-Y	コネクタ KC025-060E	1	
10-31	K3028416081-Y	ロングエルボニップル KLG16-040E	1	
10-32	K3105430410	WP210-12 ホース 3-410	1	
10-33	K3191003100	SP-15 コイルチューブ 310	1	
10-34	K0887009160	0 リング AS568-916	9	
10-35	K3008000632-Y	0 リングコネクタ 4043-1 5/16-0	3	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
10-36	K3008000622-Y	0 リングコネクタ 1202-25-1 5/16	2	
10-37	K3027025001-Y	ティー KTB25-000E	2	
10-38	K3008000312-Y	アジャスタブルエルボ FPD21939	4	
10-39	K0021100202	10 フランジ付ボルト 20	2	
10-40	K5000120002	12 ワッシャー	2	
10-41	K0200120002	12S ワッシャー	2	
10-42	K0100120002	12 ナット	2	
10-43	LM2700-0868ZO	25 サクシオンホース 210	1	
10-44	K3008000642-Y	0 リングコネクタ 4400-25-16	3	
10-45	K3410000020	カートリッジフィルター GF-08-10U	1	
10-46	GM2800-0845ZO	25 サクシオンホース 240	1	
10-47	K3026610081-Y	コネクタ KCT10-040E	1	
10-48	K3028010081-Y	エルボ KLN10-040E	2	
10-49	K0021080152	8 フランジ付ボルト 15	3	
10-50	K4209000980	油圧作動油マーク	1	
10-51	K1421060002-Y	四角頭付テーパプラグ PT3/8	1	
10-52	K1400000044-Y	PF3/4 油量栓 M 型	1	
10-53	GM2800-0840BD-Y	油圧タンク	1	
10-54	K3009000132-Y	特殊アダプター MO-JS-25	1	
10-55	K3003120002-Y	45 エルボ 1035-12	1	
10-56	K3400000030	給油口ブリーザ FAB-50	1	
10-57	K0044050102	5 + 丸小ねじ 10SW	4	
10-58	K4011000330	0.8 オイルシート 4575	1	
10-59	LM526--0809Z2-Y	油量センサ取付板	1	
10-60	K3720000130	レベルスイッチ	1	
10-61	K5000060002	6 ワッシャー	4	
10-62	K0200060002	6S ワッシャー	4	
10-63	K0000060202	6 ボルト 20	4	
10-64	K0200080002	8S ワッシャー	6	
10-65	K0000080202	8 ボルト 20	6	
10-66	K5000080002	8 ワッシャー	6	
10-67	LM2700-0802Z2-Y	吸入用ホース継ぎ金具	1	
10-68	LM535E-0434ZO	吸入口パッキン	1	
10-69	K3413000040	サクシオンフィルター SFT-10-150W	1	
10-70	K3410000030	交換用フィルター F-913-1	1	

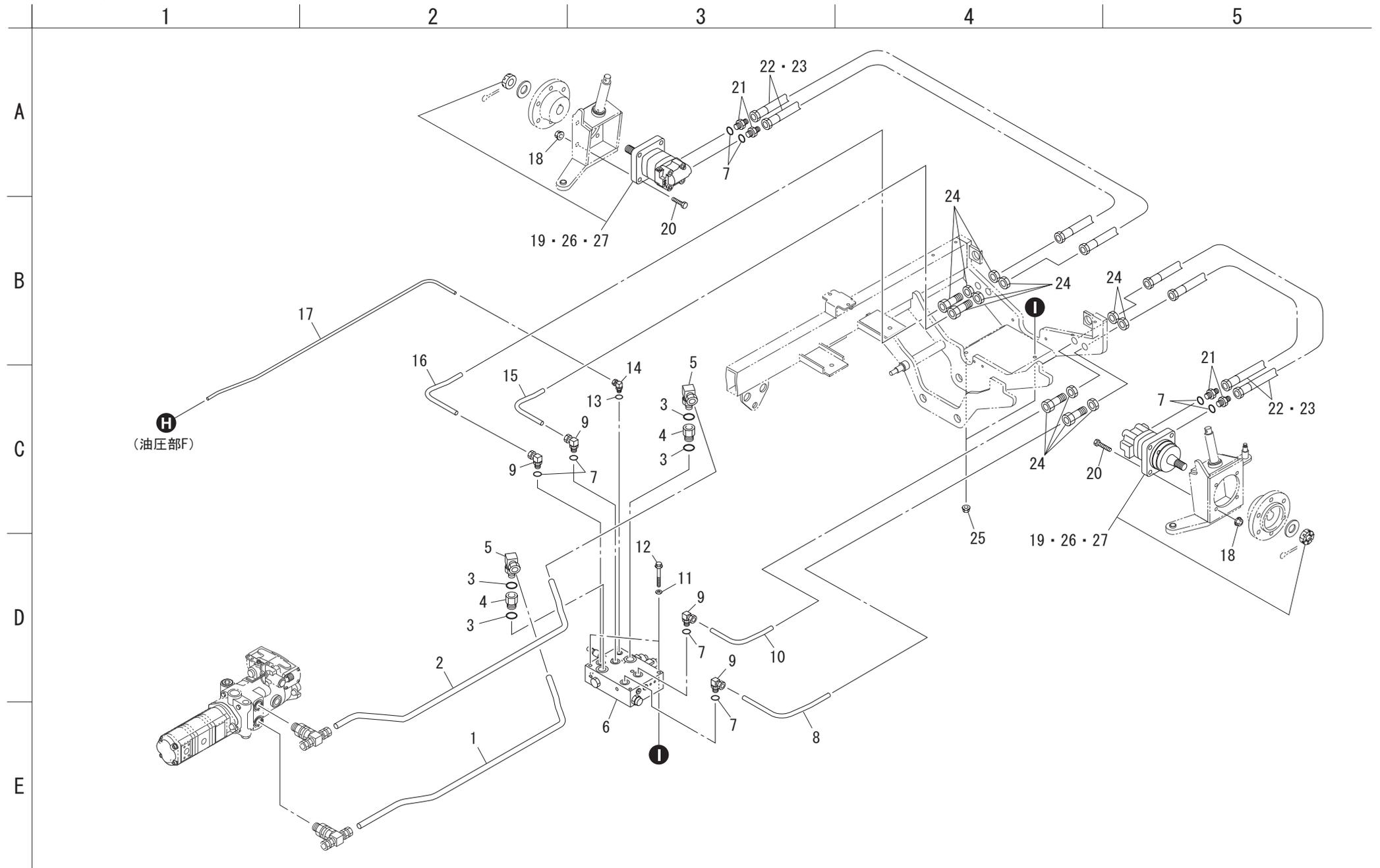
10. 油压部 A



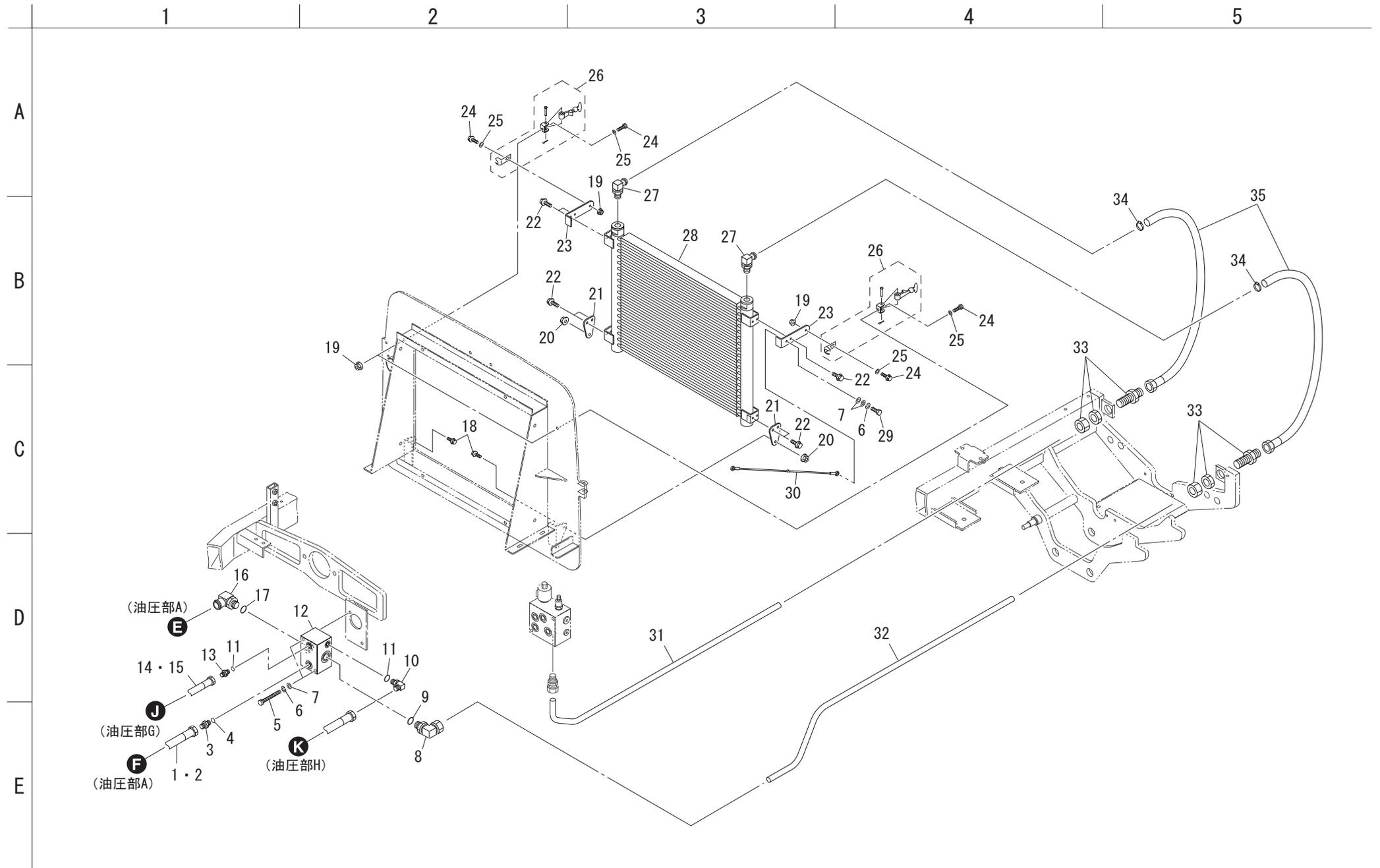
11. 油压部 B



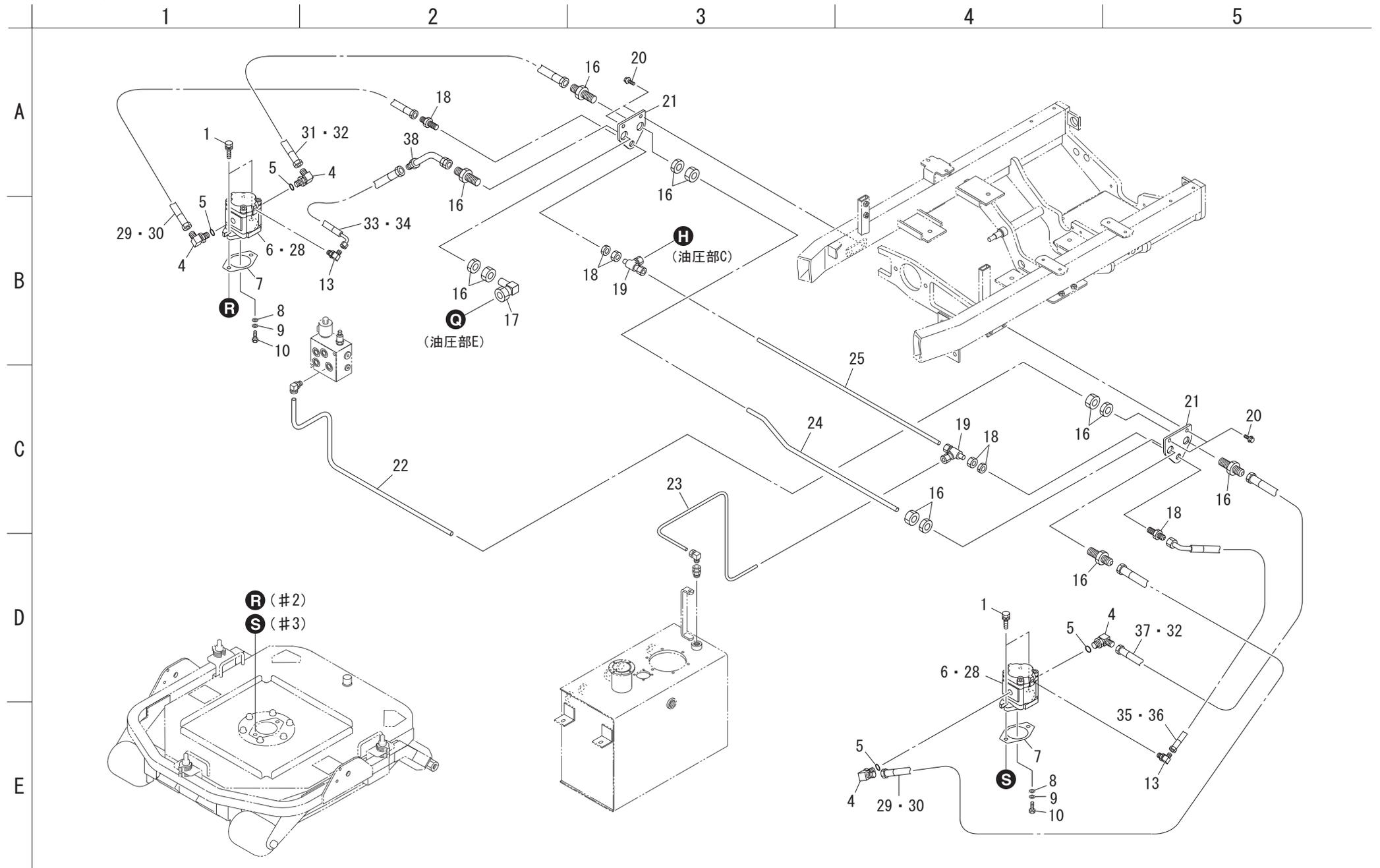
12. 油压部 C



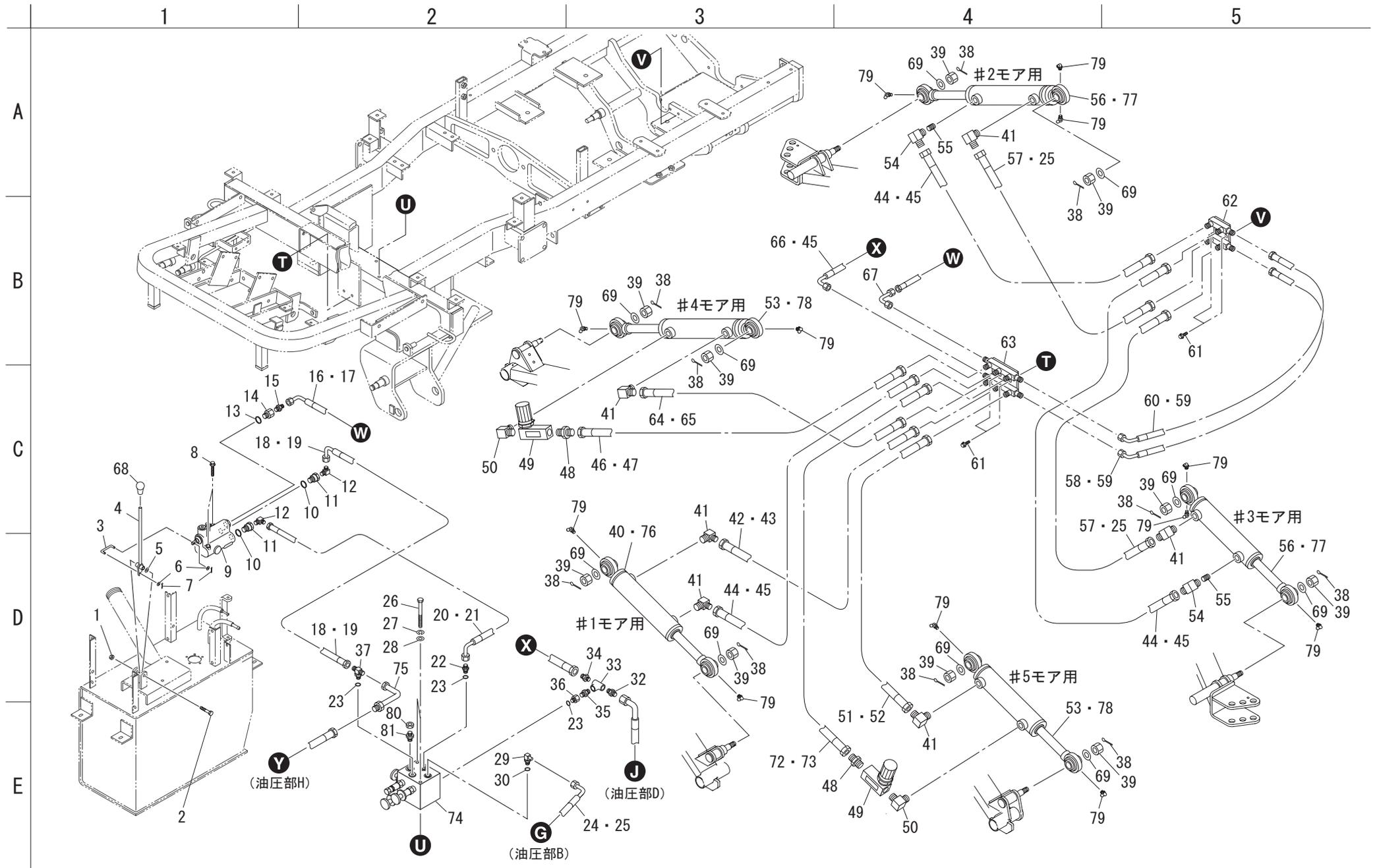
13. 油压部 D



15. 油圧部 F



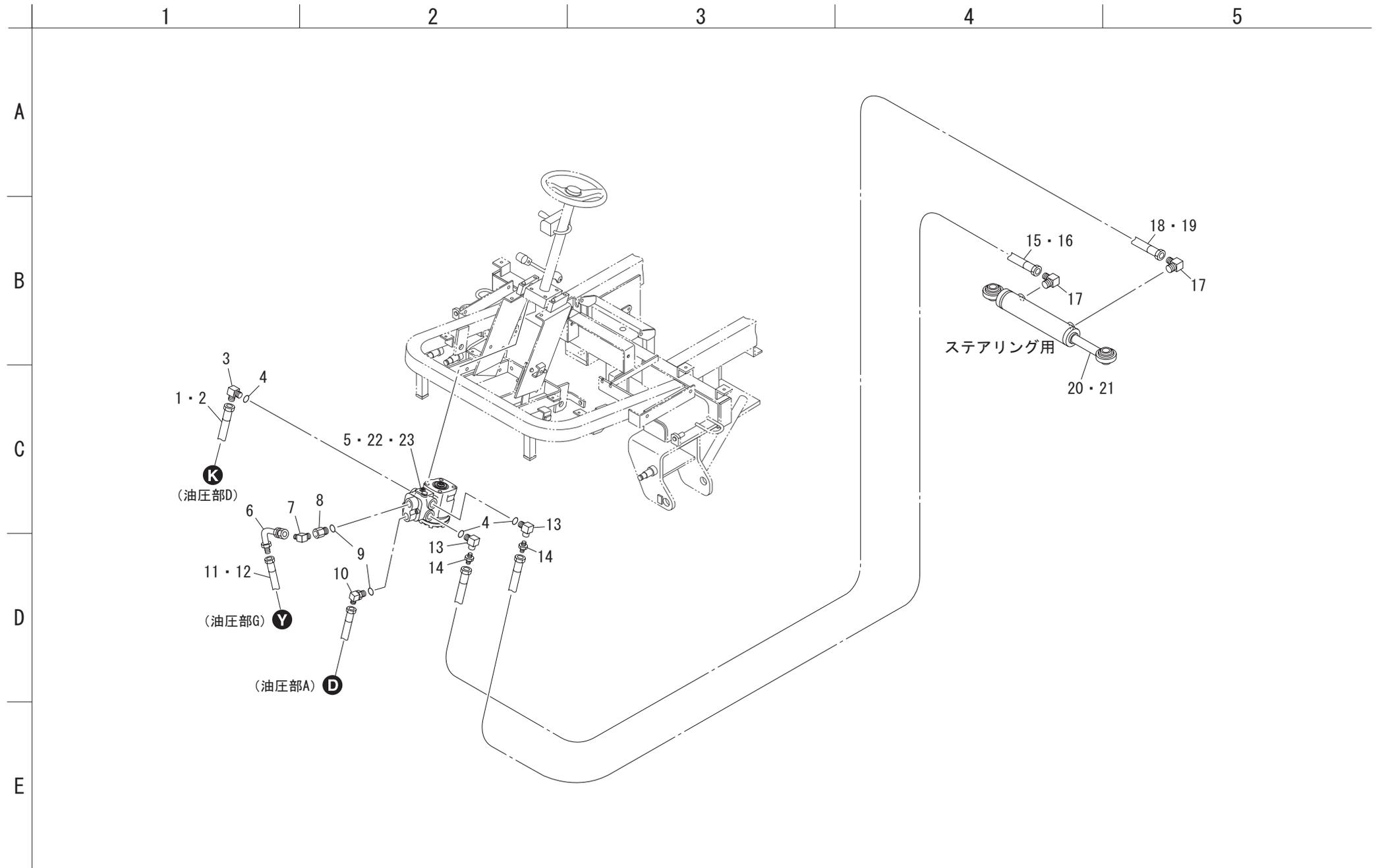
16. 油圧部 G



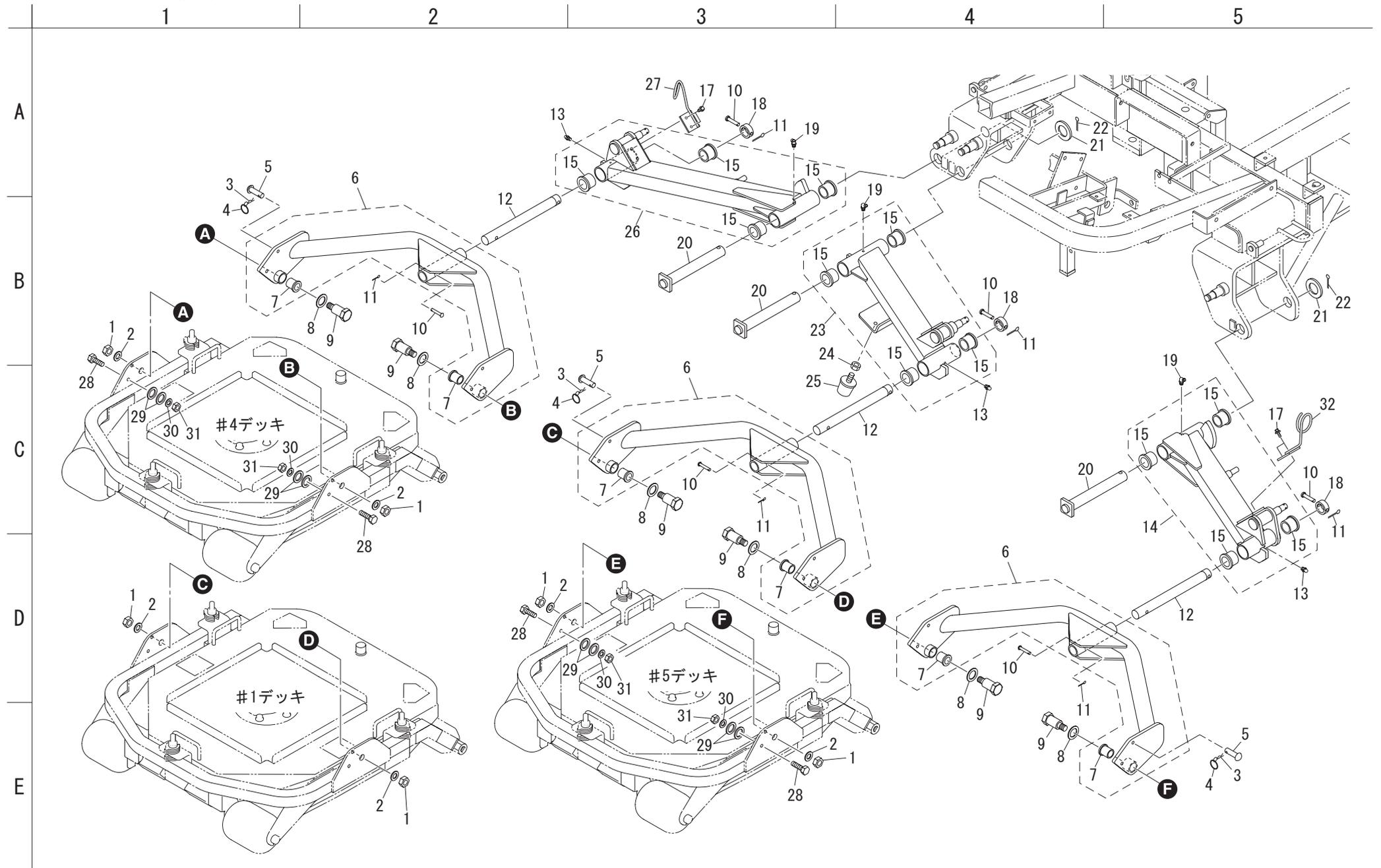
カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
16-1	K0144080002	8Uナット	1	
16-2	K0003080502	8ボルト 50	1	
16-3	GM2800-0805Z2	ロッド	1	
16-4	GM2800-0804Z2	昇降レバー	1	
16-5	K5000080002	8 ワッシャー	1	
16-6	K5000050002	5 ワッシャー	2	
16-7	K0300016102	1.6 割ピン 10	2	
16-8	K0021060402	6 フランジ付ボルト 40	2	
16-9	K3321000030	コントロールバルブ	1	
16-10	K0887009080	0 リング AS568-908	2	
16-11	K3008000692 - Y	0 リングコネクター 4043-8-8	2	
16-12	K3006000022 - Y	異径エルボ PT1/2PF3/8	2	
16-13	K0887009060	0 リング AS568-906	1	
16-14	K3008000242 - Y	9/16-18UNFPT3/8	1	
16-15	K3007000062 - Y	異径アダプタ PT3/8PF1/4	1	
16-16	K3103230700	WP140-6 ホース 3-700	1	
16-17	K3190006000	SP-12 コイルチューブ 600	1	
16-18	K3103330600	WP140-9 ホース 3-600	1	
16-19	K3191005000	SP-15 コイルチューブ 500	1	
16-20	K3103330400	WP140-9 ホース 3-400	1	
16-21	K3191003000	SP-15 コイルチューブ 300	1	
16-22	K3009000142 - Y	特殊アダプター PF3/8PF3/8	1	
16-23	K0881014000	0 リング P14B	3	
16-24	K3106230400	WP245-6 ホース 3-400	1	
16-25	K3190003000	SP-12 コイルチューブ 300	3	
16-26	K0003101202	10 ボルト 120	2	
16-27	K0200100002	10S ワッシャー	2	
16-28	K5000100002	10 ワッシャー	2	
16-29	K3008000442 - Y	90 アジャスタエルボ 1086-6	1	
16-30	K0881011000	0 リング P11B	1	
16-31				
16-32	K3000090002 - Y	アダプター 1013-9	1	
16-33	K3024000042 - Y	鋳鉄ねじ込みティー PT3/8	1	
16-34	K3009000042 - Y	特殊アダプター PF1/4PT3/8	1	
16-35	K3023060001 - Y	ニップル NSPT3/8	1	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
16-36	K3029000072 - Y	特殊ブッシング PF3/8PT3/8	1	
16-37	K3008000682 - Y	0 リングボスティー 1087-9	1	
16-38	K0300032402	3.2 割ピン 40	10	
16-39	K0122160002	16 溝付きナット高 P1.5	10	
16-40	K3212000470	40-138 シリンダー 359	1	
16-41	K3001060002 - Y	90 エルボ 1033-6	6	
16-42	K3101210600	WP70-6 ホース 1-600	1	
16-43	K3190005000	SP-12 コイルチューブ 500	1	
16-44	K3103210500	WP140-6 ホース 1-500	3	
16-45	K3190004000	SP-12 コイルチューブ 400	4	
16-46	K3103211000	WP140-6 ホース 1-1000	1	
16-47	K3190009000	SP-12 コイルチューブ 900	1	
16-48	K3000060002 - Y	アダプター 1013-6	2	
16-49	K3332000050	スローリタンバルブ HF02172	2	
16-50	K3006000042 - Y	同径エルボ PT1/4	2	
16-51	K3101210750	WP70-6 ホース 1-750	1	
16-52	K3190006500	SP-12 コイルチューブ 650	1	
16-53	K3212000490	45-195 シリンダー 397	2	
16-54	K3029000252 - Y	90 エルボ 1033-6M6	2	
16-55	K0023000011	6 ホーローセット 6-1	2	
16-56	K3212000480 - Y	45-110 シリンダー 270	2	
16-57	K3101210400	WP70-6 ホース 1-400	2	
16-58	K3101222000	WP70-6 ホース 2-2000	1	
16-59	K3190019000	SP-12 コイルチューブ 1900	2	
16-60	K3103222000	WP140-6 ホース 2-2000	1	
16-61	K0021080202	8 フランジ付ボルト 20	4	
16-62	GM2800-0803Z2 - Y	マニホールド	1	
16-63	GM2800-0802Z2 - Y	マニホールド	1	
16-64	K3101210850	WP70-6 ホース 1-850	1	
16-65	K3190007500	SP-12 コイルチューブ 750	1	
16-66	K3101230500	WP70-6 ホース 3-500	1	
16-67	K3025069042 - Y	パイプアダプター 069-04	1	
16-68	K1300000040	9 握り黒 35.5	1	
16-69	K0215160001	16 さらばね座金 2H	10	
16-70				

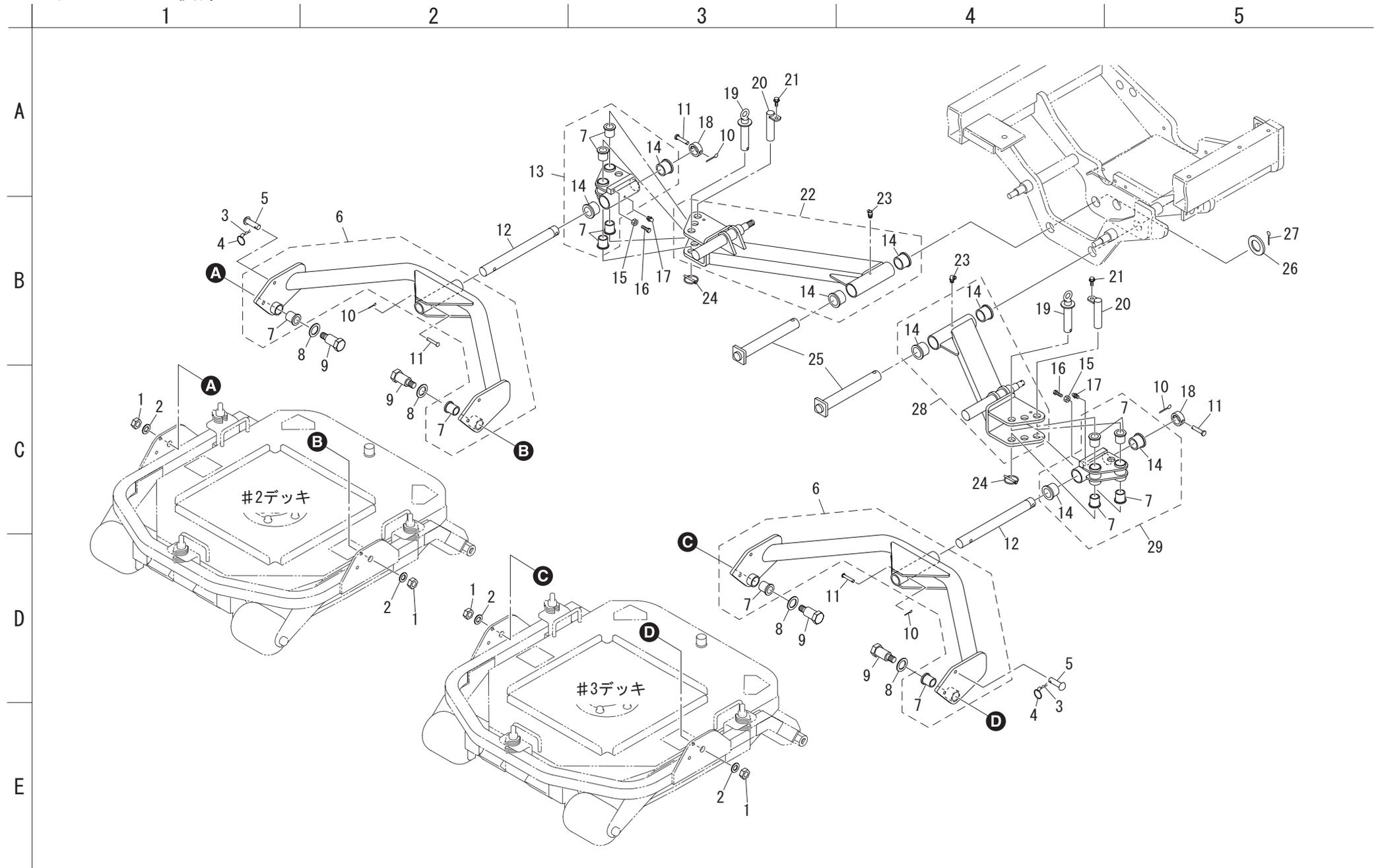
17. 油圧部 H



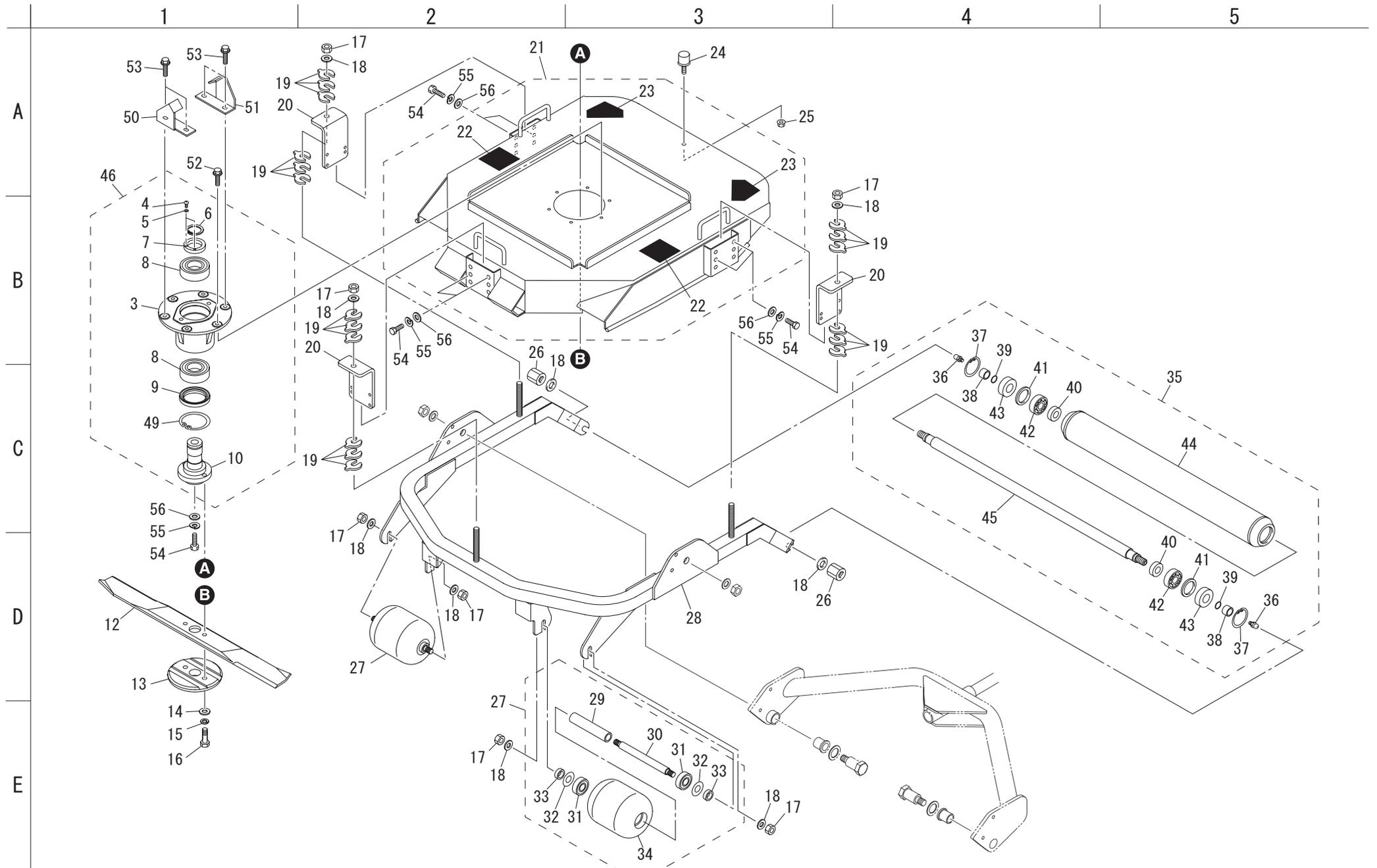
18. リフトアーム前部



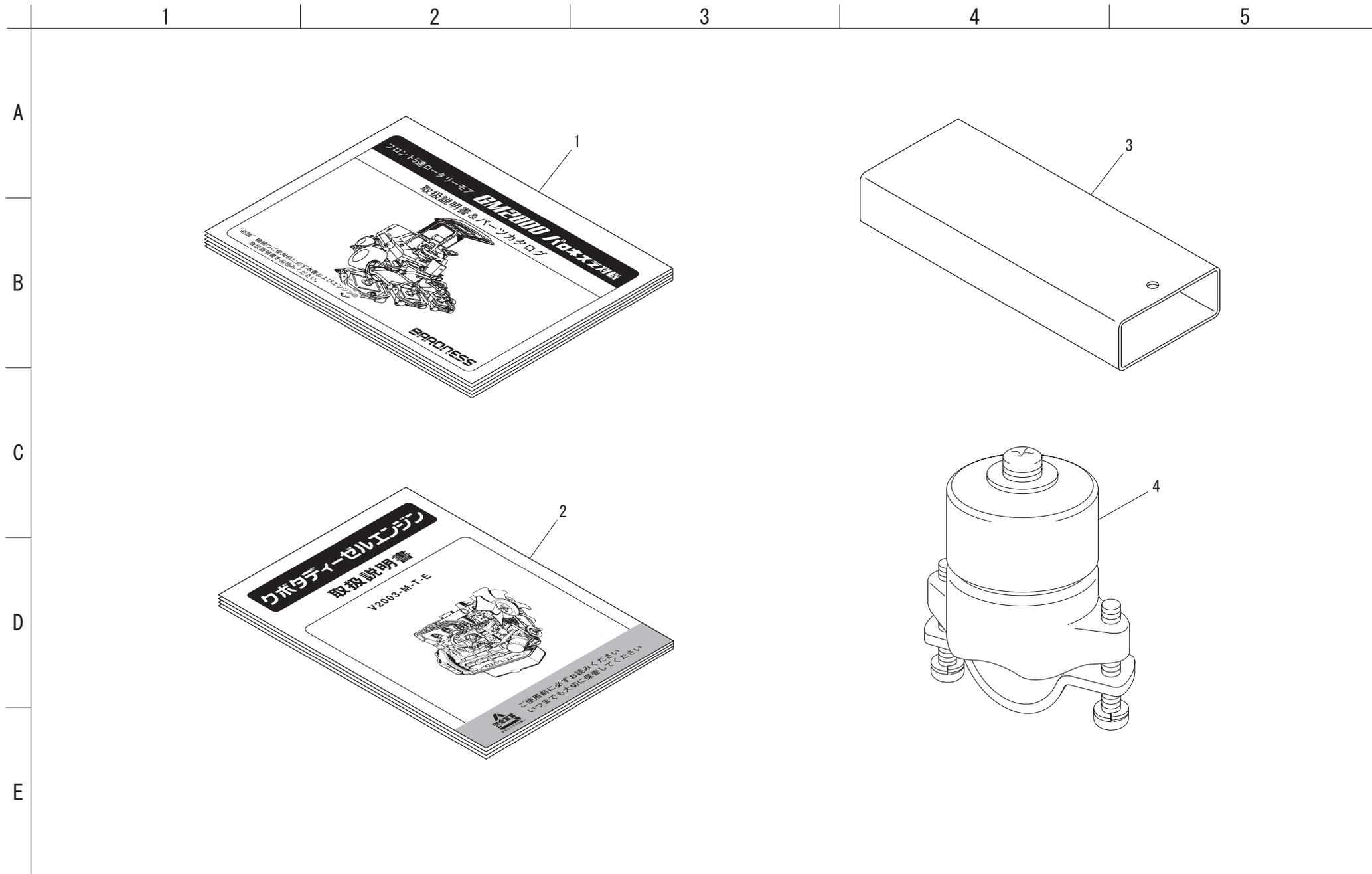
19. リフトアーム後部



20. デッキ部



21. 付属品部



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
21-1	PF1G174-8911-1	クボタ V2003 取扱説明書	1	
21-2	750102-39	GM2800 パーツカタログ	1	
21-3	GM2800-1002ZD	角パイプ	1	
21-4	K4802000050	バランス取り装置 Ass'y	1	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考



株式会社
〒442-8530
愛知県豊川市美幸町1-26

共栄社
TEL<0533>84-1221(代)
FAX<0533>84-1220